

和歌山県立近代美術館年報

二〇〇五（平成17）年度



年報の刊行にあたって

2005(平成17)年度の年報を刊行いたします。

和歌山県立近代美術館は、1963(昭和38)年に旧和歌山城二の丸跡に開館した和歌山県立美術館を前身として、1970(昭和45)年に開館しました。和歌山県民文化会館1階において、23年間の活動を続けたあと、1994(平成6)年7月、現在の場所に新築移転しました。

開館以来、当館は和歌山県にゆかりのある作家について調査、紹介を続ける一方、「和歌山版画ビエンナーレ」展や「関西の美術家シリーズ」など独自の展覧会を通じて、県民の皆さんに親しまれ、また日本国内はもとより海外に向けても、個性的な文化の発信地としての役割を果たしてまいりました。

また、本年度は和歌山県内の二つの美術館、田辺市立美術館、熊野古道なかへち美術館と当館とで、それぞれの美術館のコレクションを軸として「美術家たちの旅」をテーマに「夏休み わかやま美術探偵団」展を開催しました。これは、和歌山県内の美術館が協力したはじめての共同企画で、多くの美術家たちを育んできた郷土の魅力にあらためて関心を向ける機会となりました。

当館は、このような従来よりの実績の上に立ち、過去の近代美術の展示、収集活動にとどまらず、多様化する表現に対応し、幅広い美術の紹介に積極的に取り組んでいます。また、展覧会活動と平行して教育普及活動や収集活動も活発に展開しています。

当館の活動は、ご来館くださった方々をはじめ、多くの皆様のご協力によって成り立ってきたものです。ここで多くのご助力に感謝申し上げるとともに、その成果をご報告し、さらに充実した美術館活動を進める基礎として本年報を刊行いたします。

2006(平成18)年3月

和歌山県立近代美術館

目次

年報の刊行にあたって	1
沿革	2
展覧会事業	
企画展	5
常設展	39
普及事業	48
展覧会協力・作品貸付	53
調査・研究・発表活動および对外協力活動	57
収集事業	59
保存事業	65
管理運営	68
関係法規	71
建築概要	75
案内	78

沿革

■和歌山県立美術館

1963(昭和38)年
3月17日 旧和歌山城二の丸跡に開館
7月 川口軌外展
10月 第1回明治・大正・昭和名作美術展
11月 第17回和歌山県美術展
(1969年第23回展まで開催)

1964(昭和39)年
4月 紀州陶磁器展
10月 第2回明治・大正・昭和名作美術展

1965(昭和40)年
3月 祇園南海展
5月 長沢蘆雪名作展
7月 日高昌克展
10月 近代洋画名作展 特設・原勝四郎遺作展

1966(昭和41)年
3月 ダリ・シャガール・ビュッフェ版画展
6月 石垣栄太郎遺作展
6月 日本伝統工芸秀作展
7月 川端龍子展
10月 松方コレクション展

1967(昭和42)年
10月 富岡鉄斎展

1968(昭和43)年
3月 桑山玉洲展
9月 扇絵展
10月 明治100年記念郷土作家回顧展

1969(昭和44)年
4月 保田龍門展

1970(昭和45)年
11月2日 廃館

■和歌山県立近代美術館

1970(昭和45)年
11月2日 和歌山県民文化会館内に開館
第24回和歌山県美術展
(1993年第47回展まで開催)

1971(昭和46)年
3月 大夢・晩花展
8月 紀州の風景画展

1972(昭和47)年
3月 原勝四郎展
10月 アメリカにおける日本人作家回顧展

1973(昭和48)年
10月 川口軌外展

1974(昭和49)年
4月 吉田政次遺作展
10月 稲伊之助展

1975(昭和50)年
10月 木下孝則回顧展

1976(昭和51)年
2月 1910年代における京都日本画の新動向展
10月 木下義謙作品展

1977(昭和52)年
2月 田中恭吉展
10月 川端龍子展

1978(昭和53)年
10月 日高昌克展

1979(昭和54)年
2月 神中糸子と工部美術学校展
5月 村井正誠展
10月 高井貞二展

1980(昭和55)年
3月 川口軌外とその周辺
—和歌山の初期独立展系作家たち—展
10月 開館10周年記念 1930年協会の作家たち展

1981(昭和56)年
3月 恩地孝四郎・田中恭吉・逸見享版画展
10月 下村觀山—その人と芸術—

1982(昭和57)年
2月 建島寛造展
7月 イタリア美術の一世纪《1880-1990》展
10月 稲田一穂展

1983(昭和58)年
7月 関西の美術家シリーズ1
津高和一・泉茂・吉原英雄展

1984(昭和59)年
2月 和歌山の作家と県内洋画壇展
7月 関西の美術家シリーズ2
元永定正・白髮一雄展
10月 紀州の風景を描いた作家たち展

1985(昭和60)年
3月 第1回和歌山版画ビエンナーレ展
7月 関西の美術家シリーズ3 彫刻の4人
—清水九兵衛・山口牧生・森口宏一・福岡道雄展
10月 開館15周年記念 近代洋画の展開
—初期独立美術協会の作家たち展

1986(昭和61)年
7月 朝井闇右衛門の世界
10月 瑛九とその周辺展

1987(昭和62)年
3月 第2回和歌山版画ビエンナーレ展
7月 関西の美術家シリーズ4 日本画の4人
—大野倣嵩・下村良之介・星野真吾・三上誠展
9月 太平洋を越えた日本の画家たち展

1988(昭和63)年
3月 描かれた動物たち展
7月 関西の美術家シリーズ5 版画の4人
—井田照一・木村光佑・黒崎彰・船井裕展
10月 竹久夢二とその周辺展

1989(昭和64・平成元)年
3月 第3回和歌山版画ビエンナーレ展
7月 関西の美術家シリーズ6 現代の造形
—土と布と糸。荒木高子・前川強・濱谷明夫展
10月 親と子で見る世界の名画展

1990(平成2)年
7月 関西の美術家シリーズ7 美術の現在
—4つの試み 宮崎豊治・北山善夫・木村秀樹・野田裕示展
10月 現代の陶芸1980-1990 関西の作家を中心として

1991(平成3)年
3月 第4回和歌山版画ビエンナーレ展
7月 関西の美術家シリーズ8 美術の現在
—彫刻の変容 小清水漸・北辻良央・川島慶樹展
9月 ポスター芸術100年

1992(平成3)年
10月 版画芸術の饗宴
—ケネス・タイラーと巨匠たち：1963-1992

1993(平成4)年
3月 第5回和歌山版画ビエンナーレ展

1989(昭和64・平成元)年
4月 「和歌山県美術品取得基金条例」を設置
新美術館建設検討委員会より「和歌山県立新美術館の建設基本構想について」答申
8月 美術館の美術作品収集基本方針及び開館展等の開催に関する事項を検討、協議するため、「新美術館専門会議」を設置
美術館において収集する美術作品の選定に関し、審議するため「和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会」を設置
9月 新美術館専門会議において「新美術館の美術作品収集方針について」承認
1990(平成2)年
3月 新美術館の設計を「黒川紀章建築都市設計事務所」に委託
1991(平成3)年
7月 和歌山県美術品取得基金によりジョージ・シーガル《煉瓦の壁ぞいに歩く男》(1988)を購入
10月 施設着工式を挙行
11月 和歌山県美術品取得基金によりマーク・ロスコ《赤の上の黄褐色と黒》(1957)を購入
1992(平成4)年
8月 和歌山県美術品取得基金によりフランク・ステラ《ラッカIII》(1968)を購入
1993(平成5)年
9月 和歌山県美術品取得基金によりパブロ・ピカソ《ミノトーロマシー》(1935)、《泣く女》(1937)を購入
1994(平成6)年
2月 定礎式を挙行
3月 工事完了
4月 新美術館へ移転

■和歌山県立近代美術館 新館

1988(昭和63)年
2月 政策調整会議において、美術館及び博物館2館の建設を決定
3月 新美術館の建設計画に係る基本的事項についての指導、助言を得るため「新美術館建設懇談会」を設置
9月 新美術館に係る基本構想策定のため、「新美術館建設検討委員会」を設置

7月8日 新近代美術館開館
開館記念展1 美術館へ行こう
10月 開館記念展2 大正のまなざし
—若き保田龍門とその時代—
11月 ルオーの「ミゼレーレ」
1995(平成7)年
1月 恩地孝四郎—色と形の詩人—
2月 和歌山ゆかりの作家たち
4月 1994年度新収蔵作品展
4月 ヴィクトリア&アルバート美術館展

展覧会事業 企画展

	イギリス絵画の350年
7月	村井正誠展 色とかたちと心—人間の詩
8月	美術館に行ったよ！—風景ってなあに—
9月	保田春彦展
10月	野田裕示近作展
1996(平成8)年	
1月	線画の世界—かたりの表現—
2月	ひかる・うごく・おとがする
4月	「絵画」というしくみ
6月	紀伊半島を歩いて ロジャー・アックリング&ハミッシュ・フルトン
8月	モスクワ、プーシキン美術館名作展 —室内への視線—
9月	ホックニーのグリム童話
11月	日本のグラフィックデザイン
1997(平成9)年	
1月	和歌山の版画家10人
3月	新しい関西の美術家たち ものとあらわれ
4月	美術館へ行ったよ！ コレクションを見る東京
5月	美術館へ行ったよ！ コレクションを見るパリ
7月	アルザスとフランス近代美術の歩み —ストラスブール近代美術館展
8月	版画の技法・表現の手法
10月	マリノ・マリーニ展
11月	アメリカの中の日本 石垣栄太郎と戦前の渡米画家たち
1998(平成10)年	
1月	心のかたち
2月	泉茂 初期版画作品を中心に
4月	世紀末の華 オーブリー・ビアズリー展
5月	日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト1
6月	日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト2
8月	静けさの中から 星の贈りもの
9月	和歌山の日本画 コレクション・ダイジェスト3
10月	意味とイメージ
12月	フランス現代美術展 眼と精神
1999(平成11)年	
2月	関西の戦後美術 1950's～1990's
4月	めいさく根掘葉掘 アートと知り合い！
6月	デモクラート1951-1957
7月	日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト4
8月	熊野の音+熊野の色 増田感・北堅吉彦展
9月	サンフランシスコ近代美術館展
11月	川口軌外展 ある洋画家の軌跡
12月	越境する想像力 素材との出会い
2000(平成12)年	
2月	芸術と社会
4月	田中恭吉展
5月	定規とコンパス？幾何学图形と美術の表現
7月	印象派の巨匠 シスレー展 イル・ド・フランスの光を愛して
9月	東欧絵本の世界展 国境を越える子どものためのアート
11月	現代版画の軌跡 ゆめとめざめ
12月	日本の近代版画4 コレクション・ダイジェスト
2001(平成13)年	
2月	版画今昔
4月	夢の世界のおくりもの アンデルセン童話・絵本原画展
5月	うごけば、かわる。
8月	宇佐美圭司絵画宇宙
9月	浜口陽三へのオマージュ
10月	マックス・エルンスト展
12月	一期一会 であう めでる つたえる コレクションによる全館展示
2002(平成14)年	
4月	あたらしい画面をもとめて 関西の半世紀
5月	「生活」を「芸術」として 西村伊作の世界
7月	アンジェ美術館展
9月	山本容子の美術遊園地
11月	美術百科 「この人のこの一点」の巻 コレクションによる全館展示
2003(平成15)年	
4月	はじめての美術・絵本原画の世界展
6月	チャペック兄弟とチェコ・アヴァンギャルド展
7月	近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展
9月	たがやすように 熟す画面の4つのかたち展
12月	美術百科「七つの鍵」の巻
2004(平成16)年	
4月	和歌山県特別事業 日本に向けられたヨーロッパ人の眼・ ジャパン トウディ vol.6、atW vol.1
	永坂嘉光・鈴木理策 高野_熊野_聖地
6月	小野竹喬展
7月	ピノッキオ その誕生から現代まで展
11月	チャールズ&レイ・イームズ 創造の遺産展
2005(平成17)年	
1月	開館10周年記念 美術百科「版画」の巻

2005(平成17)年度 企画展一覧

1. 没後10年 遺業・泉茂
4月23日(土)～6月5日(日)
2. 世界の版画名品選
6月14日(火)～7月10日(日)
3. 夏休み わかやま美術探偵団
7月16日(土)～9月4日(日)
4. 版画家たちの表情
9月17日(土)～10月23日(日)
5. 佐伯祐三—芸術家への道—
11月3日(木・祝)～12月11日(日)
6. 美術百科「世界一周」の巻
2006(平成18)年1月15日(日)～4月9日(日)
前期：1月15日(日)～2月19日(日)
後期：2月28日(火)～4月9日(日)

1. 没後10年 遺業・泉茂

会期：2005(平成17)年4月23日(土)～6月5日(日)

休館日：月曜日

会場：展示室C(2階)

主催：和歌山県立近代美術館

観覧料：一般400(350)円、大学生250(200)円

()は20名以上の団体料金、高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生(外国人就学生を含む)は無料

旨：泉茂は、1922(大正11)年大阪に生まれ、1995(平成7)年、享年73で逝去した関西の現代美術を代表する画家の一人である。太平洋戦争終戦後、画家として活動を始め、「デモクラート美術家協会」の結成に参加、シュルレアリスムを通じた叙情的な作品が評価され、1957(昭和32)年には第1回東京国際版画ビエンナーレ展で新人奨励賞を受賞するなど版画家として高く評価された。

しかし新たな展開をめざして1959(昭和34)年に渡米、1963(昭和38)年にはパリに移り、1968(昭和43)年に帰国。常に新たな表現に挑むとともに、大阪芸術大学教授として多くの後進の育成にもあたった。その没後10年を機に、計画的に作風を展開させ制作を続けた画業を回顧した。

印刷物：・ちらし(A4判)

・パンフレット(A5判16頁)

・出品目録(B6判8頁)

・案内はがき

担当学芸員：奥村泰彦

関連事業：ミュージアム・トーク 4月23日(土)、29日(金・祝)、5月1日(日)、5月5日(木・祝)、6月5日(日)

関連記事：・「紙上ミュージアム 没後10年「遺業・泉茂」展《目》」『わかやま新報』2005年4月18日、1面

・「泉茂作品120点を展示」『産経新聞』2005年4月20日、25面

・「泉茂の代表作120点」『毎日新聞』2005年4月21日、24面

・「泉茂の回顧展 没後10年、業績しのぶ」『紀伊民報』2005年4月23日、5面

・「前衛画家 泉茂の足跡たどる」『讀賣新聞』2005年4月26日、34面

・「紙上ミュージアム 没後10年「遺業・泉茂」展《深夜のセロ弾き》」『わかやま新報』2005年4月27日、1面

・「没後10年、泉茂展始まる」『朝日新聞』2005年4月24日、30面

・「泉茂の業績しのぶ100点」『ニュース和歌山』2005年4月30日、4面

・「「没後10年 遺業・泉茂」展」「わかやま新報」2005年5月7日、1面

・「紙上ミュージアム 没後10年「遺業・泉茂」展《Painting (DF1005)》」『わかやま新報』2005年5月11日、1面

・「紙上ミュージアム 没後10年「遺業・泉茂」展《鎮魂歌》」『わかやま新報』2005年5月25日、1面

・岩本敏朗「純粹化「ゆるめる」流れ追う」『京都新聞』2005年5月28日、10面

・「学外通信・ミカミのアート・ランダム 第6回「和歌山近美の泉茂展」」「和光大学芸術学科」

<http://www.wako.ac.jp/art/index.htm>



ちらし



パンフレット

『没後10年 遺業・泉茂展』出品リスト

No.	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	所蔵者
■イントロダクション					
1	畠祥雄 画家・泉茂『ちょっと他所いきの自画像』	1980(昭和55)	Cプリント	40.5×50.5	当館
2	最初の神頬み	1993(平成5)	アクリル絵具、キャンバス	72.6×91	個人
3	雲形	1994(平成6)	アクリル絵具、キャンバス	181.8×452	個人
■画家としての出発：初期の油彩画					
4	孤屋	1948(昭和23)	油彩、キャンバス	31.5×40.9	個人
5	風景	1948(昭和23)	油彩、キャンバス	63.5×82.2	個人
6	崖	1949(昭和24)	油彩、キャンバス	52.5×80	個人
7	樹群	1950(昭和25)	油彩、キャンバス	72×99.8	個人
8	[樹]	1950(昭和25)頃	油彩、キャンバス	91×72.5	個人
9	樹	1951(昭和26)	油彩、キャンバス	40.8×31.8	個人
■夢想を追って：エッチング、リトグラフと同時代の絵画					
10	サーカス	1954(昭和29)	エッチング・アクアチント、紙	15.4×11.1	当館
11	深夜のセロ弾き	1954(昭和29)	エッチング、紙	18.3×10.6	当館
12	回想の幼年期	1954(昭和29)	エッチング・アクアチント、紙	27.5×21.5	当館
13	のろわれた者(異邦人)	1954(昭和29)	エッチング・アクアチント、紙	16.6×8.7	当館
14	ためいき／何処へ	1954(昭和29)	エッチング、紙	17.2×11.3	当館
15	ヴィナス空へ還る	1954(昭和29)	エッチング・アクアチント、紙	12×19.7	個人
16	ゲームの瞳	1955(昭和30)	エッチング・アクアチント、紙	11.1×21	当館
17	仲間	1955(昭和30)	エッチング、紙	18.9×28	当館
18	マダムオカリーナ	1954(昭和29)	エッティング・アクアチント、紙	17.5×12.1	個人
19	逃げたスペード	1955(昭和30)	エッティング、紙	18×13.7	個人
20	祈り	1955(昭和30)	エッティング、紙	18.4×11.9	当館
21	目	1955(昭和30)	油彩、キャンバス	60.5×72.5	当館
22	蝶	1957(昭和32)頃	油彩、キャンバス	32.8×24	個人
23	月と楽器	1957(昭和32)頃	油彩、キャンバス	41×31.8	個人
24	泡を喰う男	1957(昭和32)頃	油彩、キャンバス	33.5×24.5	個人
25	タイマー	1955(昭和30)	リトグラフ、紙	33.5×22	個人
26	リンゴの核	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	37×26.2	個人
27	ささやかな不安	1956(昭和31)	リトグラフ、紙	31.2×21	個人
28	トランプと煙	1956(昭和31)	リトグラフ、紙	31.2×22.5	個人
29	帰郷	1956(昭和31)	リトグラフ、紙	34.5×24.5	個人
30	泡を喰った男	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	51.5×40	個人
31	嘆きのセレナード	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	58.4×40	当館
32	月光の曲	1958(昭和33)	リトグラフ、紙	34×25	当館
33	なまけもの	1956(昭和31)	リトグラフ、紙	35×25.5	当館
34	インディアン	1956(昭和31)	リトグラフ、紙	48.8×39	当館
35	マダム・インディアン	1956(昭和31)	リトグラフ、紙	53.1×42	当館
36	セレナード	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	48.6×40	当館
37	左巻きの時計	1953(昭和28)	水彩・インク、紙	48.0×32	個人
38	海辺の歌	1954(昭和29)	水彩・インク、鉛筆、紙	22.1×30.3	個人
39	Circus	1954(昭和29)	墨、紙	42.3×27.6	個人
40	街のかげり	1954(昭和29)	グワッシュ、紙	19.4×26.4	個人
41	[題名不詳]	1956(昭和31)頃	インク・クレヨン、紙	32.6×25.7	個人
42	ささやかな不安	1955(昭和30)	鉛筆・色鉛筆、紙	38×27	個人
43	トランプと煙	1955(昭和30)	鉛筆・インク・コンテ、紙	35.9×25.8	個人
44	There is no smoke without fire	1958(昭和33)	水彩、紙	55×37.6	個人
■鳥の変容：闘鶏からピーコックへ					
45	とり	1954(昭和29)	エッティング、アクアチント、紙	36.4×29.7	個人
46	闘鶏	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	50×42	個人
47	月の中の鳥	1956(昭和31)	リトグラフ、紙	53×40.5	個人
48	しゃも	1957(昭和32)	油彩、キャンバス	65.2×48.5	個人
49	飛びさったセロ	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	25.5×38.5	個人
50	春	1956(昭和31)	リトグラフ、紙	43.9×24	当館
51~72	ニューヨーク	1959-60(昭和34-35)頃	写真	23.9×34.5/34.5×23.9/ 16.8×25.4/25.4×16.8 (22点)	個人
73	ピーコック	1959(昭和34)	リトグラフ、紙	39×53.5	個人
74	ピーコック	1959(昭和34)	エッティング・アクアチント、紙	60.7×45	個人
75	ピーコック	1960(昭和35)	リトグラフ、紙	29×36	個人
76	層	1961(昭和36)	エッティング、紙	45×51.9	当館
77	[頌ピーコック]	1961(昭和36)頃	油彩、キャンバス	195.7×147.2	個人

No.	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	所蔵者
-----	-----	-----	-------	--------	-----



「没後10年 遺業・泉茂」展示風景

78	Work/頌ピーコック	1961 (昭和36)	油彩、キャンバス	144.4×193	個人
■青と白の絵画					
79	AP301	1962 (昭和37)	油彩、キャンバス	88.4×63.1	個人
80	BS5011	1963 (昭和38)	油彩、キャンバス	106.7×91.5	個人
81	BS5013	1963 (昭和38)	油彩、キャンバス	98.5×99	個人
82	CF5024	1964 (昭和39)	油彩、キャンバス	88.7×115	個人
83	CP8036	1964 (昭和39)	油彩、キャンバス	96.4×144.5	個人
84	CF8035	1964 (昭和39)	油彩、キャンバス	111.5×144.5	個人
85	Painting (DF1005)	1965 (昭和40)	油彩、キャンバス	162×130	個人

86	EP408	1966 (昭和41)	油彩、キャンバス	72.7×100	個人
87	EF4025	1966 (昭和41)	油彩、キャンバス	80.4×99.9	個人
88	FS2008	1967 (昭和42)	油彩、キャンバス	154×249.5	個人
89	FGP2011	1968 (昭和43)	油彩、キャンバス	72.8×53	個人
90	FGP2012	1968 (昭和43)	油彩、キャンバス	72.5×53	個人
91	FGP2013	1968 (昭和43)	油彩、キャンバス	72.8×53	個人
92	FGP2015	1968 (昭和43)	油彩、キャンバス	72.5×53	個人
93	FGP2016	1968 (昭和43)	油彩、キャンバス	72.8×53	個人
94	FGP2030	1968 (昭和43)	油彩、キャンバス	72.8×53	個人
95	FGP2020	1968 (昭和43)	油彩、キャンバス	72.8×53	個人
96	FGP2022	1968 (昭和43)	油彩、キャンバス	72.5×53	個人
97	FGP2029	1968 (昭和43)	油彩、キャンバス	72.8×53	個人
98	ピッツバーグ	1970 (昭和45)	シルクスクリーン、アルミ板	54.5×39.5	個人
99	ペーピン	1970 (昭和45)	シルクスクリーン、紙	58×41.2	当館
100	IP204 (オオサカ)	1970 (昭和45)	シルクスクリーン、紙	53×67	個人
101	IF4013 (トーキョー)	1970 (昭和45)	油彩、キャンバス	99.9×80.2	個人
102	IF6014 (ストックホルム I)	1970 (昭和45)	油彩、キャンバス	130.2×97.2	個人
103	IF10016 (サンジェルマン)	1970 (昭和45)	油彩、キャンバス	130×162.1	個人

104	北の空	1970 (昭和45)	シルクスクリーン、紙	74.2×104.2	
105	KF307 (輝 I)	1972 (昭和47)	油彩、キャンバス	90.9×72.7	当館
106	KF308 (輝 II)	1972 (昭和47)	油彩、キャンバス	91×72.9	当館
107	KF309 (輝 III)	1972 (昭和47)	油彩、キャンバス	91×73	当館
108	KF310 (輝 IV)	1972 (昭和47)	油彩、キャンバス	91×73	当館
109~112	From Silver Foil (72×72cmシリーズ) No.2、4、13、15 (4点)	1972 (昭和47)	シルクスクリーン、紙	各72×72	個人
113	集合	1975 (昭和50)	油彩、キャンバス	92×71.5	個人
114	MP20020	1974 (昭和49)	油彩、キャンバス	259×186	個人
115	MF20021	1974 (昭和49)	油彩、キャンバス	259×194	個人
116	NF407	1975 (昭和50)	油彩、キャンバス	99.9×80.6	個人
117	OF4010	1976 (昭和51)	油彩、キャンバス	100×80.1	個人
118	OF4011	1976 (昭和51)	油彩、キャンバス	99.9×80.1	個人

No.	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	所蔵者
-----	-----	-----	-------	--------	-----

■幾何学的形態の戏れ					
119	凹む橢円	1981 (昭和56)	油彩、キャンバス	162×130.3	個人
120	伸びる三角	1981 (昭和56)	油彩、キャンバス	260×196	個人
121	皺三角	1982 (昭和57)	油彩、キャンバス	163×130.8	個人
122	正三角	1982 (昭和57)	油彩、キャンバス	162×130.3	個人
123	影のある四角	1984 (昭和59)	油彩、キャンバス	80×100	個人
124	影のある円	1984 (昭和59)	油彩、キャンバス	80.2×100	個人
125	割れる矩形	1983 (昭和58)	油彩、キャンバス	259×194	個人
126	割れる三角	1983 (昭和58)	油彩、キャンバス	259×194	個人
127	折る橢円	1985 (昭和60)	油彩、キャンバス	130.5×162.1	個人
128	丸と葉	1986 (昭和61)	アクリル絵具、キャンバス	130.4×97	個人

■雲形の展開					
129	ラプソディ・イン・オータム	1987 (昭和62)	アクリル絵具、キャンバス	130.4×194.1	個人
130	鎮魂歌	1988 (昭和63)	アクリル絵具、キャンバス	260×195.3	個人
131	月光	1987 (昭和62)	アクリル絵具、キャンバス	80.1×100	個人
132	点の箱	1988 (昭和63)	アクリル絵具、キャンバス	161.4×130.2	個人
133	森の唄	1988 (昭和63)	アクリル絵具、キャンバス	161.8×130.1	個人
134	聖城	1991 (平成3)	アクリル絵具、キャンバス	194.4×162.3	個人
135	晩祷	1992 (平成4)	アクリル絵具、キャンバス	194.2×162	個人
136	分裂	1992 (平成4)	アクリル絵具、キャンバス	194.3×162.2	個人
137	焦燥	1993 (平成5)	アクリル絵具、キャンバス	162.3×130.5	個人

2. 世界の版画名品選

会 期：2005(平成17)年6月14日(火)～7月10日(日)

休 館 日：月曜日

会 場：展示室C(2階)

主 催：和歌山県立近代美術館

観 覧 料：一般400(350)円、大学生250(200)円

()は20名以上の団体料金、高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生(外国人就学生を含む)は無料
趣 旨：「版」を介在させることによって生まれる独特の表現は多くの作家を魅了し、これまでにさまざまな表現が生まれてきた。特に19世紀後半以降、それは美術の分野で大きな役割を果たし、現在ではその重要な表現手段のひとつとして認められている。今回の展覧会では、近代の作家たちに大きな影響を与えたデューラーやレンブラントを始めとして、19世紀のドラクロア、ムンク、ルドン、そして20世紀のピカソ、クレー、マティス、ミロらによる版画の名品約100点を紹介した。ファン・ゴッホやルノワールの版画、『貧しき食事』を含むピカソのサルタンバンクシリーズなど、貴重な作品を見ることができるまたとない機会となった。

印 刷 物：・ちらし(A4判)

・出品目録兼パンフレット(A5判12頁)

・案内はがき

担当学芸員：宮本久宣

関連事業：ミュージアム・トーク 6月18日(土)、6月25日(土)

関連記事：・「紙上ミュージアム 世界の版画名品選 アルブレヒト・デューラー『書物を食べる聖ヨハネ』『ヨハネ黙示録』より」

『わかやま新報』2005年6月8日、1面

・「ムンク、マティス…版画の名品一堂に」『産経新聞』2005年6月9日、27面

・「世界の版画名品選」『毎日新聞』2005年6月16日、22面

・「世界の版画名品選展」「わかやま新報」2005年6月21日、4面

・「紙上ミュージアム 世界の版画名品選 フィンセント・ファン・ゴッホ『馬鈴薯を食べる人々』」『わかやま新報』
2005年6月22日、1面

・「世界の版画100点一堂に」『ニュース和歌山』2005年6月25日、6面

・「紙上ミュージアム 世界の版画名品選 パブロ・ピカソ『貧しき食事』」『わかやま新報』2005年7月6日、1面

・「世界の版画100点ずらり」『朝日新聞』2005年7月9日、34面

・「世界の版画名品選」『関西版NHKステラ』2005年6月18日～24日、70頁

・「たそがれピカソ」『和歌山時報』2005年8月1日



ちらし



出品目録兼パンフレット

『世界の版画名品展』出品リスト

No.	作者名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	所蔵者
■デューラー、レンブラントと19世紀末の表現						
1	デューラー、アルブレヒト	7つのトランペット『ヨハネ黙示録』より 書物を食べる聖ヨハネ『ヨハネ黙示録』より	1496-97(明応5-6)頃 1498(明応7)頃	木版、紙 木版、紙	39.3×28 39.3×28.4	受託作品 受託作品
2	デューラー、アルブレヒト	書齋の聖ヒエロニムス	1514(永正5)	エングレービング、紙	24.8×18.9	個人
3	デューラー、アルブレヒト	アブラハムとイサク	1645(正保2)	エッチング、ドライポイント、紙	15.9×13	個人
4	ファン・レイン、レンブラント	病人たちを癒すキリスト(100グルデン版画)	1648(慶安元)頃	エッチング・ドライポイント・ビラン、紙	28×39.3	個人
5	ファン・レイン、レンブラント	『ファウスト』より(5点)	1827(文政10)	リトグラフ、紙	39.3×28	受託作品
6~10	ドラクロア、ウジェーヌ	空を飛ぶメフィストフェレス(27.5×23)、7 ファウストの前に現れるメフィストフェレス(26×21.2)、 8 マルガレーテを誘惑するファウスト(28×21)、9 ファウストとヴァレンティンの決闘(22.8×29)、 10 ファウストの前に現れるマルガレーテの亡靈(26.6×35)				
11~14	ルドン、オディロン	『聖アントワーヌの誘惑』第3集より(4点) 11 聖アントワーヌ:主よ!助けたまえ!(22.7×13.2)、12 そして頭を持たない眼が軟体動物のように漂っていた(31×22.5)、 13 かれはまっさかさまに深淵へおちてゆく(27.7×21.2)、14 さまざまな住民が大洋の国々にすんでいる(31×23.2)	1896(明治29)	リトグラフ、紙	当館	
15	ファンタンニ=ラトゥール、アンリ	パレジナルと花園の乙女たち	1885(明治18)	リトグラフ、紙	45×31.2	受託作品
16	ファンタンニ=ラトゥール、アンリ	パルジフィール:第二幕 クンドリの覚醒	1886(明治19)	リトグラフ、紙	23×15.2	受託作品
17	ファンタンニ=ラトゥール、アンリ	リエンツイ:第五幕 神に祈るリエンツイ	1886(明治19)	リトグラフ、紙	22.8×14.7	受託作品
18	ファンタンニ=ラトゥール、アンリ	ジークフリート:第三幕 エルダの降臨	1886(明治19)	リトグラフ、紙	23.1×15.1	受託作品
19	ファンタンニ=ラトゥール、アンリ	トリスタンとイゾルデ:第二幕 夜の合戦	1886(明治19)	リトグラフ、紙	22.2×14.8	受託作品
20	ファンタンニ=ラトゥール、アンリ	幽霊船(さまよえるオランダ人) :第三幕 天に召されるゼンタとオランダ人 神々の黄昏	1886(明治19)	リトグラフ、紙	21.9×15	受託作品
21	ファンタンニ=ラトゥール、アンリ	神々の黄昏 :第三幕 ジークフリートとラインの乙女	1886(明治19)	リトグラフ	22.5×15	受託作品
22	ファンタンニ=ラトゥール、アンリ	目覚め	1886(明治19)	リトグラフ、紙	20.7×15.1	受託作品
23	ファンタンニ=ラトゥール、アンリ	神々の黄昏:ジークフリートとラインの乙女	1897(明治30)	リトグラフ、紙	47.8×37.8	受託作品
24	ファンタンニ=ラトゥール、アンリ	水浴する女たち	1898(明治31)	リトグラフ、紙	30.8×39.4	受託作品
25	ファン・ゴッホ、フィンセント	馬鈴薯を食べる人々	1885(明治18)	リトグラフ、紙	26.5×31.9	受託作品
26	ムンク、エドワルド	骸骨の腕のある自画像	1895(明治28)	リトグラフ、紙	45.6×32	当館
27	ムンク、エドワルド	月光(サン・クルーの夜)	1895(明治28)	エッチング・ドライポイント・バニッシャー、紙	30.7×25.4	個人
28	ムンク、エドワルド	病める子	1896(明治29)	リトグラフ、紙	42×52	当館
29	ムンク、エドワルド	接吻	1902(明治35)	木版、紙	47.7×48	個人
30	ムンク、エドワルド	サロメ	1903(明治36)	リトグラフ、紙	39.5×30.2	個人
31	ティソ、ジェームズ	二人でいられる幸せ	1877(明治10)	エッチング・ドライポイント、紙	24×35.4	受託作品
32	ティソ、ジェームズ	海辺にて	1880(明治13)	エッチング・ドライポイント、紙	38.1×13.9	受託作品
33	ティソ、ジェームズ	お姉さん	1881(明治14)	エッチング・ドライポイント、紙	29×15.5	受託作品
34	ティソ、ジェームズ	陽光のもと	1881(明治14)	エッチング・ドライポイント、紙	20×29.7	受託作品
35	ティソ、ジェームズ	ふたりの友	1882(明治15)	エッチング・ドライポイント、紙	55.5×25.9	受託作品
36	ティソ、ジェームズ	庭園のベンチ	1883(明治16)	メゾチント、紙	39.5×56.5	受託作品
37~38	ティソ、ジェームズ	『パリの女たち』より(2点)	1885(明治18)	エッチング・ドライポイント、紙	39.5×56.5	受託作品
37	ルノワール、ピエール =オーギュスト トゥールーズ =ロートレック。アンリ・ド	持参金なしの女(37.9×25.3)、38 馬車に乗る女たち(37.8×25.2)	1897-98(明治30-31)	リトグラフ、紙	61×50	個人蔵
38	アリストイド・ブリュアン	花飾りのついた帽子	1893(明治26)	リトグラフ、紙	127.3×95	受託作品
39	『ルヴュ・プランシュ』誌	アリストイド・ブリュアン	1895(明治28)	リトグラフ、紙	124×88.5	個人
■『貧しき食事』と20世紀版画のはじまり						
42	ピカソ、パブロ	貧しき食事	1904(明治37) [1913年、ヴォラール版]	エッチング、紙(和紙)	46.3×38	当館
43	ピカソ、パブロ	貧しき食事	1904(明治37) [1913年、ヴォラール版]	エッチング、紙(洋紙)	46.3×38	個人
44	ピカソ、パブロ	女の顔	1905(明治38) [1913年、ヴォラール版]	エッチング、紙	12×9	個人
45	ピカソ、パブロ	貧しい人々	1905(明治38) [1913年、ヴォラール版]	エッチング、紙	23.7×18	個人
46	ピカソ、パブロ	男の胸像	1905(明治38) [1913年、ヴォラール版]	ドライポイント、紙	12×9	個人
47	ピカソ、パブロ	ふたりのサルタンバンク	1905(明治38) [1913年、ヴォラール版]	ドライポイント、紙	12×9	個人
48	ピカソ、パブロ	女の横顔	1905(明治38) [1913年、ヴォラール版]	ドライポイント、紙	29.1×25	個人
49	ピカソ、パブロ	サルタンバンクたち	1905(明治38) [1913年、ヴォラール版]	ドライポイント、紙	28.8×32.8	個人

No.	作者名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	所蔵者
-----	-----	-----	-----	-------	--------	-----



「世界の版画名品選」展示風景

50	ピカソ、パブロ	水飼い場	1905(明治38) [1913年、ヴォラール版]	ドライポイント、紙	12×18.8	個人
51	ピカソ、パブロ	サーカス	1905(明治38) [1913年、ヴォラール版]	ドライポイント、紙	22×14	個人
52	ピカソ、パブロ	休息するサルタンバンク	1905 [1913年、ヴォラール版]	ドライポイント、紙	12.1×8.7	個人
53	ピカソ、パブロ	湯浴み	1905 [1913年、ヴォラール版]	ドライポイント、紙	34.2×28.7	個人
54	ピカソ、パブロ	母親の化粧	1905(明治38) [1913年、ヴォラール版]	エッチング、紙	23.4×17.8	個人
55	ピカソ、パブロ	サロメ	1905(明治38) [1913年、ヴォラール版]	ドライポイント、紙	40×34.7	個人
56	ピカソ、パブロ	ダンス	1905(明治38) [1913年、ヴォラール版]	ドライポイント、紙	18.5×23.2	個人
57~63	ルオー、ジョルジュ	『ミセレーレ』より7点	1922~27(大正11~昭和2) [1948年刊行]		当館	
57	神よ、われを憐れみたまえ、 あなたのいなる慈しみによつて		1923(大正12)	エリオグラヴュール・シュガーアクアチント、アクアチント、 ドライポイント、バーニッシャー、紙	57.5×42	
58	自分の顔を作らぬ者があろうか?		1923(大正12)	エリオグラヴュール・シュガーアクアチント、アクアチント、 ルーレット、ドライポイント、バーニッシャー、紙	56.4×42.9	
59	孤独者通り		1922(大正11)	エリオグラヴュール・シュガーアクアチント、ルーレット、ド ライポイント、紙	36.2×50.4	
60	人は人とりて狼なり		1926(大正15・昭和元)	エリオグラヴュール・シュガーアクアチント、ドライポイント、 スクリイバー、バーニッシャー、紙	58×41.5	
61	中国人が火薬を発明し、 われらに贈ってくれたという		1926(大正15・昭和元)	エリオグラヴュール・シュガーアクアチント、アクアチント、 ルーレット、ドライポイント、スクリイバー、バーニッシャー、紙	57.1×40.5	
62	母親に忌み嫌われる戦争		1927(昭和2)	エリオグラヴュール・シュガーアクアチント、アクアチント、 ルーレット、ドライポイント、スクリイバー、バーニッシャー、紙	58.5×44.1	
63	「死に至るまで、しかも 十字架の死に至るまで従順なれば」		1926(大正15・昭和元)	エリオグラヴュール・シュガーアクアチント、ルーレット、ス クリイバー、バーニッシャー、紙	58.2×42.4	
64	ブラック、ジョルジュ	コンポジション(静物I)	1911(明治44) [1950年、再刊]	エッチング、紙	34.7×21.8	当館
65	ピカソ、パブロ	『聖マトレル』(マックス・ジャコブ著)	1910~11(明治43~44)	エッチング・ドライポイント、紙(冊子)	27×23×1.5	当館
66	カンディンスキイ、ワシリー	『響き』	1911(明治44)	木版、紙(冊子)	28.5×28×1.5	当館
67	クレー、パウル	情熱の園	1913(大正2)	エッチング、紙	9.3×14.2	当館
68	クレー、パウル	内なる光の聖女	1921(大正10)	リトグラフ、紙	30×17.5	当館
69	クレー、パウル	綱渡り	1923(大正12)	リトグラフ、紙	43.8×26.9	当館
70	クレー、パウル	高い、高い!	1928(昭和3)	エッチング、紙	23×22.8	当館
71	マティス、アンリ	果物入れとオグリスク	1925(大正14)	リトグラフ、紙	33.2×25.5	受託作品
72	マティス、アンリ	『10人の踊り子』より第2番	1927(昭和2)	リトグラフ、紙	45.5×27.7	受託作品

■第二次世界大戦をはさんで

73	ピカソ、パブロ	『女の平和』(アリストバーネス著)	1934(昭和9)	エッチング、紙(冊子)	29.9×23.9×1.5	当館
74	ピカソ、パブロ	ミノトーロマシー	1935(昭和10)	エッチング・ビュラン、紙	49.5×69	当館
75	ミロ、ジョアン	月の前の女と犬	1935(昭和10)	ステンシル、紙	50.8×45.3	当館
76	ピカソ、パブロ	泣く女	1937(昭和12)	エッチング・アクアチント・ドライポイント、紙	69×49.2	当館
77	デュフィ、ラウル	電気の精(10点組)	1953(昭和28)	リトグラフ、紙	各100×62	受託作品

No.	作者名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	所蔵者
-----	-----	-----	-----	-------	--------	-----

78	フォートリエ、ジャン	人質たちの習作	1942(昭和17)	エリオグラヴュール・エッチング、紙	30.2×28.2	当館
79	フォートリエ、ジャン	銃殺された人々	1943(昭和18)	エリオグラヴュール・エッチング、紙	34×27.1	当館
80	レジエ、フェルナン	軽業師マリー	1948(昭和23)	リトグラフ、紙	55.2×42.9	当館
81	ピカソ、パブロ	バッカス祭	1959(昭和33)	リノカット、紙	53.2×64.4	個人
82~91	マティス、アンリ	(フルート奏者とシンバルを持ったダンサー) 『ジャズ』より(10点)	1947(昭和22)	ステンシル、紙	当館	
82	道化師(41.3×31.3)、83 サーカス(36.1×54.9)、84 白い象の悪夢(41.6×63.8)、85 馬、曲馬師、道化師(42×65)、86 ハート(38×61.2)、87 イカルス(40.9×27.5)、88 ピエロの葬式(42×65)、89 水槽を泳ぐ女(40.8×62.9)、90 剣を呑みこむ男(39.2×30)、91 ナイフ投げの男(41.5×65)	82 道化師(41.3×31.3)、83 サーカス(36.1×54.9)、84 白い象の悪夢(41.6×63.8)、85 馬、曲馬師、道化師(42×65)、86 ハート(38×61.2)、87 イカルス(40.9×27.5)、88 ピエロの葬式(42×65)、89 水槽を泳ぐ女(40.8×62.9)、90 剣を呑みこむ男(39.2×30)、91 ナイフ投げの男(41.5×65)	1947(昭和22)	ステンシル、紙	当館	

■戦後、ミロの世界

92	ミロ、ジョアン	『シリーズIII』よりNo.6	1953(昭和28)	エッチング・手彩色、羊皮紙	29.4×22.5	受託作品
93	ミロ、ジョアン	森の番人たち(青)	1958(昭和33)	アクアチント、紙	49.3×32.4	受託作品
94	ミロ、ジョアン	『あらゆる試練に耐えて』 (ボーラー・エリュアル詩)	1958(昭和33)	木版、紙(冊子)	33.3×55.3×3.5	当館
95	ミロ、ジョアン	マーク画廊における展覧会のための ポスター(別刷り)	1961(昭和36)	リトグラフ、紙	62×43	受託作品
96	ミロ、ジョアン	『アルバム19』より13番	1961(昭和36)	リトグラフ、紙	66.8×51.4	受託作品
97	ミロ、ジョアン	ふたつの星の間の鳥	1967(昭和42)	エッチング・アクアチント・カーボランダム、紙	64×52.5	受託作品
98	ミロ、ジョアン	岩壁の軌跡 III	1967(昭和42)	エッチング・アクアチント・カーボランダム、紙	58.4×92.5	当館
99	ミロ、ジョアン	矢じり	1968(昭和43)	アクアチント・カーボランダム、紙	39.5×29.7	受託作品
100	ミロ、ジョアン	『ひびわれ』より13番(ミシェル・レリス詩)	1969(昭和44)	アクアチント、紙	48.6×58.2	受託作品
101	ミロ、ジョアン	日曜日の招待客 I	1969(昭和44)	エッチング・アクアチント、紙	60×99	受託作品
102	ミロ、ジョアン	黒貂の毛皮をまとった女	1969(昭和44)	エッチング・アクアチント・カーボランダム、紙	105×63.8	当館
103	ミロ、ジョアン	老アイルランド人	1969(昭和44)	エッチング・アクアチント・カーボランダム、紙	106.5×70.4	当館
104	ミロ、ジョアン	権力のある思想家	1969(昭和44)	エッチング・アクアチント・ドライポイント・カーボランダム、紙	105.3×66.8	当館
105	ミロ、ジョアン	『デリエール・ル・ミロワール』203	1973(昭和48)	リトグラフ、紙(冊子)	37.9×28×0.4	当館
106	ミロ、ジョアン	ガルガンチュア	1978(昭和53)	アクリント、紙	159.5×120	当館

当館

3. 夏休み わかやま美術探偵団

会期：2005(平成17)年7月16日(土)～9月4日(日)
【前期：7月16日～8月7日・後期：8月11日～9月4日 ※田辺市立美術館のみ7月2日(土)～】

休館日：月曜日 [7月18日(月・祝)開館、7月19日(火)休館]、展示替え期間(8月8日～10日)

会場：展示室B(1階)、C(2階)

主催：「夏休み わかやま美術探偵団」展実行委員会、和歌山県立近代美術館、田辺市立美術館、田辺市立美術館分館
熊野古道なかへち美術館

助成：財地域創造

協力：カメラの西本

会場：展示室B(1階)+C(2階)

観覧料：一般：500円(400円)、大学生：300円(250円)
()は20名以上の団体料金、なお、高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内在学中の外国人留学生(外国人就学生を含む)は無料

趣旨：「紀伊山地の靈場と参詣道」の世界遺産登録一周年を記念して、和歌山県立近代美術館、田辺市立美術館、熊野古道なかへち美術館が共同で同時期に開催した。展覧会のテーマを「美術家たちの旅」として、作品と遺品、資料などをとおして、美術家たちが旅によせた想いを辿った。約200点の作品を11の章で紹介した。

印刷物：
・ポスター(B2判)
・ちらし(B4判二つ折り)
・11の章ごとの解説リーフレット(B5判14種、B4判二つ折り1種)
・鈴木昭男 点音 in 和歌山 ちらし(B5判)
・点音ガイドマップ(A3判変形四つ折り)
・DVD「85年の時を越えて…～川口軌外13点の作品とドクター中村松之助」
・記録集「鈴木昭男 点音 in 和歌山」(B5判変形86頁、CD付)
・池田諒遺稿「原勝四郎のフランス放浪日記」(文字データ)
・報告書「夏休み わかやま美術探偵団 報告書」(A4版105頁)

担当芸員：浜田拓志、奥村一郎

備考：11の章のうち4つの章、「E. こんなところがあったらなあ。文人たちのこころの絵」、「F. いろんな画家のいろんな旅」は田辺市立美術館、「G. 14歳でふるさとを離れて—野長瀬晩花の箸折峠」、「H. ふるさと熊野へ帰ろう—渡瀬凌雲、心の原風景」は熊野古道なかへち美術館のみの展示。

関連企画：
・「鈴木昭男 点音(おとだて) in 和歌山」
鈴木昭男が、戸外に耳を澄ますのによい「点音ポイント」を探し18ヶ所設置。なかへち美術館周辺には2ヶ所設置。そこに立ってまちなかや野山の音に耳を澄まし、和歌山の音を再発見する。《一本の竹から》《パンプー・ハーブ》公開制作および展示などもおこなった。後援：和歌山市、協力：株ぶらくり
和歌山県立近代美術館：公開制作 7月3日(日)～15日(金)
「点音」+《一本の竹から》《パンプー・ハーブ》展示 7月16日(土)～9月4日(日)
「点音ウォーク」 7月17日(日)、18日(月・祝)午前・午後
パフォーマンス「和歌山・音のたどり」 7月17日(日)
田辺市立美術館：パフォーマンス「田辺・音のたどり」 8月13日(土)
熊野古道なかへち美術館：《パンプー・ハーブ 近露》展示 7月16日(土)～9月4日(日)
パフォーマンス「なかへち・音のたどり」 8月21日(日)
・ワークショップ「ためしてみよう メゾチント」橋爪玲子氏(版画家)
和歌山県立近代美術館：7月24日(日)、8月7日(日)



ポスター



リーフレット



ガイドマップ

田辺市立美術館：8月14日(日)、20日(土)、28日(日)

・ワークショップ「ドキドキ少年撮影隊－まちなか編－大亦新治郎くんと歩く」徳永直季(写真家)、中西重裕(建築家)
和歌山県立近代美術館：7月31日(日)

共催：NPO和歌山芸術文化支援協会、和歌山県立近代美術館、協力：カメラの西本、オリンパスイメージング株式会社

関連記事：
・「企画展「夏休み わかやま美術探偵団」2日、田辺市立美術館で開幕」「紀伊民報」2005年7月2日、紀伊文化欄
・「県立近代、田辺市立、熊野古道なかへち 3美術館が共同企画展」「鈴木昭男 点音 in 和歌山 耳を澄ませて」「毎日新聞」2005年7月5日、24面
・「郷土画家の旅にまつわる作品 近代美術館「わかやま美術探偵団」展」「ニュース和歌山」2005年7月9日、6面
・「夏休みわかやま美術探偵団」展」「わかやま新報」2005年7月12日、1面
・「ドキドキ少年撮影隊ワークショップまちなか編 大亦新治郎くんと歩く」「わかやま新報」2005年7月14日、5面
・「なかへち美術館「野長瀬晩花の箸折峠」近代美術館も開幕」「紀伊民報」2005年7月16日
・「県立近代、田辺市立、熊野古道なかへち 3美術館が共同企画展」「白浜新聞」2005年7月16日
・「何ができるの？鈴木昭男さん『音響的な彫刻』」「わかやま新報」2005年7月19日、1面
・「紙上ミュージアム「夏休みわかやま美術探偵団」展 浜地清松《暖炉》」「わかやま新報」2005年7月20日、1面
・「おかえりなさい『ふる里の名画』浜地清松画伯」「南紀州新聞」2005年7月21日、2面
・「夏休みわかやま美術探偵団」展」「朝日新聞」2005年7月21日(夕刊)、5面
・「原勝四郎「ふるさとの海のほとりへ」夏休み わかやま美術探偵団」「紀伊民報」2005年7月23日
・「夏休み わかやま美術探偵団展 田辺市立美術館、県立近代美術館、熊野古道なかへち美術館 共同で」「黒潮タイムス」2005年7月25日
・「夏休みわかやま美術探偵団」展 県立近代美術館 親子連れでにぎわう」「わかやま新報」2005年7月31日、7面
・「紙上ミュージアム「夏休みわかやま美術探偵団」展 浜口陽三《青いぶどう》」「わかやま新報」2005年8月3日、1面
・「ドキドキ少年撮影隊ワークショップまちなか編 大亦新治郎くんと歩く」「わかやま新報」2005年8月3日、7面
・「絵と写真を見比べよう 原勝四郎が描いた白浜」「紀伊民報」2005年8月6日
・「11日から新たな展示 夏休み わかやま美術探偵団・音を楽しむイベント 鈴木昭男さんの点音」「紀伊民報」2005年8月10日
・「ふるさと熊野へ帰ろう」渡瀬凌雲、心の原風景」「紀伊民報」2005年8月13日
・「紙上ミュージアム「夏休みわかやま美術探偵団」展 原勝四郎《海辺》」「わかやま新報」2005年8月17日、1面
・岸桂子「和歌山の3美術館連携し郷土作家を紹介 所蔵品を融通し合い企画展共催」「毎日新聞」2005年8月19日(夕刊)、5面
・「和歌山の音新発見に驚き サウンドアーティスト・鈴木さん招き「点音」「朝日新聞」2005年8月20日、25面
・「メゾチント技法(銅版画)を体験 田辺市立美術館(夏休みわかやま美術探偵団)」「紀伊民報」2005年8月20日
・「県ゆかりの3画家紹介「夏休み わかやま美術探偵団」県立近代美術館 大亦新治郎、村井正誠など」「紀伊民報」2005年8月24日
・「県ゆかりの画家一堂 保田龍門、原勝四郎など95点」「産経新聞」2005年8月30日、27面
・「シエスタ的、PICK UP 和歌山 点音」「siesta」2005.夏号、23-24頁
・「鈴木昭男 点音 in 和歌山」「gallery」244、2005年8月、32頁
・Christopher Stephens「ART focus」「KANSAI TIME OUT」342、2005年8月、24頁
・「夏休みわかやま美術探偵団」展「Lmagazine」366、2005年9月、114-115頁
・岡山拓「鈴木昭男「点音」」「SAVVY」21-9、2005年9月、127頁
・「美術館・博物館事業レポート44 夏休みわかやま美術探偵団展」「文化庁月報」446、2005年11月、22頁
・「全国のおもしろ「カタログ+セルフガイド+ドキュメント+広報」大集合 夏休みわかやま美術探偵団展」ワークシート
『DOME』83、2005年12月1日、26-27頁

『夏休み わかやま美術探偵団展』出品リスト

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵者
A. 保田龍門の旅行トランク海を渡った芸術家の夢【後期のみ展示・3館巡回:田辺市立美術館、熊野古道なかへち美術館、当館】						
1	保田 龍門	コオニユリのある風景	1912 (明治45・大正元)頃	油彩、キャンバス	38.2×46	当館
2	保田 龍門	潮風にもまれた椿	1914-16 (大正3-5)頃	油彩、キャンバス	60.9×46.1	当館
3	保田 龍門	自画像	1915 (大正4)頃	油彩、キャンバス	60.9×50.2	当館
4	保田 龍門	老婦(母の像)	1915 (大正4)	ペン・墨、紙	28.8×25.1	当館
5	保田 龍門	母の像	1915 (大正4)	油彩、キャンバス	73×60.9	当館
6	保田 龍門	風景	1915 (大正4)	ペン、紙	32.7×23.4	当館
7	保田 龍門	父の像	1915 (大正4)	油彩、キャンバス	73.5×61	当館
8	保田 龍門	母と子	1917 (大正6)	油彩、キャンバス	172×90	個人
9	保田 龍門	島村翁像	1920 (大正9)	ブロンズ	h.56	個人
10	島村 安三郎(逢紅)撮影	「荻原碌山作《女の銅》(新宿・碌山館)」	1913 (大正2)	写真	15×11.4	当館
11	島村 安三郎(逢紅)撮影	「荻原碌山作《女》(新宿・碌山館)」	1913 (大正2)	写真	10×8	当館
12	保田 龍門	K婦人の像	1920 (大正9)	油彩、キャンバス	60.6×46	当館
13	保田 龍門	風景	1920 (大正9)	鉛筆、紙	24.1×31.6	当館
14	保田 龍門	風景	1920 (大正9)	鉛筆、紙	24.9×32.8	当館
15	保田 龍門	宿の窓より(オングルール風景)	1922 (大正11)頃	油彩、キャンバス	46×54	当館
16	保田 龍門	ティソイアーノ《キューピットの教育》部分模写	1922 (大正11)春	油彩、キャンバス	99.3×99.3	当館
17	エミール=アントワーヌ・ブルデル	アポロンの頭	1900-09 (明治33-42)	ブロンズに鍍金	67×25×29.5	徳島県立近代美術館
18	保田 龍門	クリスティヌの首	1922 (大正11)	ブロンズ	h.34	当館
資料 保田龍門の旅行トランク						
B. 原勝四郎、ふるさとの海のほとりへ【後期のみ展示・2館巡回:田辺市立美術館、当館】						
1	原 勝四郎	風景(高尾山)	1931 (昭和6)	油彩、紙	53×65.5	田辺市立美術館寄託
2	原 勝四郎	病院への坂道	制作年不詳	油彩、板	16.2×21.7	田辺市立美術館寄託
3	原 勝四郎	病院への坂道	1947 (昭和22)	油彩、板	12.7×16.2	田辺市立美術館寄託
4	原 勝四郎	瀬戸風景	1935 (昭和10)	油彩、紙	65.1×53.0	田辺市立美術館
5	原 勝四郎	風景	1947-48 (昭和22-24)頃	油彩、板	15.7×21.7	田辺市立美術館
6	原 勝四郎	円月島	1950 (昭和25)	油彩、板	45.5×52.5	田辺市立美術館寄託
7	原 勝四郎	風景(番所鼻)	1941 (昭和16)	油彩、板	72.7×91	田辺市立美術館
8	原 勝四郎	風景	1934 (昭和9)	油彩、紙	53.5×65.3	田辺市立美術館
9	原 勝四郎	風景	制作年不詳	油彩、板	22.8×33	田辺市立美術館
10	原 勝四郎	海辺	1957 (昭和32)	油彩、板	53×65	田辺市立美術館
11	原 勝四郎	江津良の風	1951 (昭和26)	油彩、板	37.8×45.5	田辺市立美術館寄託
12	原 勝四郎	風景	制作年不詳	油彩、板	31.7×40.9	田辺市立美術館
13	原 勝四郎	坂田風景	制作年不詳	油彩、板	22×27.5	田辺市立美術館寄託
14	原 勝四郎	坂田風景	制作年不詳	油彩、板	22.5×27.5	田辺市立美術館寄託
15	原 勝四郎	風景	制作年不詳	油彩、板	52.6×65.2	田辺市立美術館
16	原 勝四郎	江津良の道	制作年不詳	油彩、板	31.8×41	田辺市立美術館寄託
17	原 勝四郎	緑陰読書	制作年不詳	油彩、板	45.2×37.7	田辺市立美術館寄託
18	原 勝四郎	小湾	1940 (昭和15)	油彩、紙	58×70.5	和歌山県立近代美術館
19	原 勝四郎	朝焼け	1945 (昭和20)	油彩、紙	58×70.5	個人
20	原 勝四郎	綱不知	制作年不詳	油彩、板	16.2×21.7	田辺市立美術館寄託
C. 川口軌外が残したパリの時代の写真から【前期のみ展示・2館巡回:当館、熊野古道なかへち美術館】						
1	川口 軌外	風景	1918 (大正7)	油彩、板	23.1×32.4	当館
2	川口 軌外	ノートルダム教会	1920 (大正9)頃	油彩、キャンバス	45.7×54.5	当館
3	川口 軌外	セーヌ川	1920 (大正9)頃	油彩、キャンバス	46×55	当館
4	川口 軌外	女の彫像	1920 (大正9)頃	油彩、キャンバス	54×45.6	当館
5	川口 軌外	ベニスの舟	1920 (大正9)頃	油彩、キャンバス	45.3×55.2	当館
6	川口 軌外	ベニスの舟とドーム	1920 (大正9)頃	油彩、キャンバス	45.7×54.5	当館
7	川口 軌外	テーブルの上の野菜	1920 (大正9)頃	油彩、キャンバス	40.5×53	当館
8	川口 軌外	つる下がる雉	1923 (大正12)頃	油彩、キャンバス	54.5×45.5	当館
9	川口 軌外	レモン、花とワイン瓶	1920 (大正9)頃	油彩、キャンバス	37.5×45.5	当館
10	川口 軌外	本を読む女	1920 (大正9)頃	油彩、キャンバス	38×60	当館
11	川口 軌外	青色の花	1920 (大正9)頃	油彩、キャンバス	45.6×54.5	当館
12	川口 軌外	テーブルの上の食物	1920 (大正9)頃	油彩、キャンバス	37.6×60.5	当館
13	川口 軌外	果物とワイン	1920 (大正9)頃	油彩、キャンバス	37.4×60.6	当館
14	川口 軌外	六個の果物	1920 (大正9)頃	油彩、キャンバス	36.8×60.8	当館
15	川口 軌外	窓辺の静物	1924-26 (大正13-大正15・昭和元)	油彩、キャンバス	80×65	当館
16	川口 軌外	風景	1925 (大正14)頃	油彩、キャンバス	65.5×80.5	当館

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵者
D. 「糞むらの火」と浜口陽三の《パリの屋根》【前期のみ展示・2館巡回:当館、田辺市立美術館】						
1	浜口 陽三	大川端	1951 (昭和26)	メゾチント、紙	8.8×10.7	当館
2	浜口 陽三	魚河岸の汽車	1951 (昭和26)	メゾチント、紙	8.8×10.8	当館
3	浜口 陽三	スペイン風油入れ	1954 (昭和29)	メゾチント、紙	28.8×28.5	当館
4	浜口 陽三	ジブシー	1954 (昭和29)	メゾチント、紙	28.7×28.7	当館
5	浜口 陽三	うさぎ	1954 (昭和29)	カラーメゾチント、紙	29.4×29.2	当館
6	浜口 陽三	西瓜	1954 (昭和29)	カラーメゾチント、紙	8.5×13.5	当館
7	浜口 陽三	青いぶどう	1956 (昭和31)	カラーメゾチント、紙	14.6×19.5	当館
8	浜口 陽三	魚とさくらんぼ	1956 (昭和31)	カラーメゾチント、紙	14.5×19.5	当館
9	浜口 陽三	水差しとぶどうとレモン	1957 (昭和32)	メゾチント、紙	29.4×34.4	当館
10	浜口 陽三	アスピラガス	1957 (昭和32)	メゾチント、紙	29.5×44.1	当館
11	浜口 陽三	パリの屋根	1957 (昭和32)	カラーメゾチント、紙	14.4×19.3	当館
12	浜口 陽三	朝食	1957 (昭和32)	メゾチント、紙	29.2×36.2	当館
13	浜口 陽三	ういきょう	1958 (昭和33)	メゾチント、紙	29.2×43.6	当館
14	浜口 陽三	緑のぶどう	1958 (昭和33)	カラーメゾチント、紙	24.4×19.4	当館
15	浜口 陽三	魚とレモン	1958 (昭和33)	メゾチント、紙	26.6×49	当館
16	浜口 陽三	とうもろこし	1959 (昭和34)	メゾチント、紙	23.4×54	当館
17	浜口 陽三	毛糸と編棒	1964 (昭和39)	メゾチント、紙	23.3×53.7	当館
18	浜口 陽三	19と1つのさくらんぼ	1965 (昭和30)	カラーメゾチント、紙	23.4×53.7	当館
19	浜口 陽三	赤い鉢と黒いさくらんぼ	1968 (昭和43)	カラーメゾチント、紙	47×62	当館
20	浜口 陽三	てんとう虫	1984 (昭和59)	メゾチント、紙	各5.8×3.9	当館
E. こんなところあつたらなあ。文人たちのこころの絵【当館での展示なし:田辺市立美術館のみ】						
1	祇園 南海	墨梅図	1741 (寛保元)	紙本墨画、軸装	117.3×50.2	田辺市立美術館寄託
2	祇園 南海	墨竹図	制作年不詳	紙本墨画、軸装	106×42.9	田辺市立美術館寄託
3	高 芙蓉	萬竿輕煙	制作年不詳	紙本著色、軸装	20×17.8	田辺市立美術館寄託
4	池 大雅	幽溪釣艇	制作年不詳	紙本墨画淡彩、軸装	135.2×55.2	田辺市立美術館寄託
5	桑山 玉洲	雪渓訪隱図	1798 (寛政10)	紙本著色、軸装	130.2×28.2	田辺市立美術館寄託
6	岡田 米山人	歲寒三友	1818 (文政元)	紙本墨画、軸装	125.3×53.2	田辺市立美術館寄託
7	田能村 竹田	山人閑適図	制作年不詳	紙本墨画淡彩、軸装	24.0×18.3	田辺市立美術館寄託
8	高橋 草坪	山水悟帖	1831 (天保2)	絹本著色、折帖	13.1×8.5	田辺市立美術

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵者
-----	-----	-----	-----	-------	--------	-----

16	十時 梅崖	山水図	1801(享和元)	紙本墨画淡彩、軸装	29×53.9	田辺市立美術館寄託
17	木村 兼葭堂	秋山訪友図	制作年不詳	絹本著色、軸装	105.3×48.4	田辺市立美術館
18	桑山 玉洲	富嶽登攀図巻	制作年不詳	紙本著色、巻子装	29×1427	田辺市立美術館寄託
19	野呂 介石	熊野三瀬之図	1812(文化9)	絹本淡彩、軸装	100×42	田辺市立美術館
20	野呂 介石	紅玉芙蓉峰図	1821(文政4)	絹本著色、軸装	56.3×41.6	田辺市立美術館寄託
21	祇園 南海	五老峰	制作年不詳	紙本墨画、軸装	31.9×57.6	田辺市立美術館
22	池 大雅	楓林停車図	制作年不詳	紙本著色、軸装	29×68	田辺市立美術館寄託
23	池 大雅	東坡雪行図	制作年不詳	紙本墨画、軸装	107.8×27.7	田辺市立美術館寄託
24	桑山 玉洲	山水図	制作年不詳	紙本淡彩、軸装	72.8×28.1	田辺市立美術館寄託
25	野呂 介石	春景山水図	制作年不詳	紙本淡彩、軸装	118.3×49.7	田辺市立美術館寄託
26	野呂 介石	那智群山図	1819(文政2)	紙本淡彩、軸装	135.4×70.3	田辺市立美術館寄託
27	山本 梅逸	赤壁之賦	1854(安政元)	絹本淡彩、軸装	38×71.5	田辺市立美術館寄託

F. いろんな画家のいろんな旅【当館での展示なし・田辺市立美術館のみ】

1	浅井 忠	諫訪風景	1894(明治27)	水彩、紙	23.5×30.8	田辺市立美術館【前期】
2	大下 藤次郎	秋の海(小豆島)	1910(明治43)	水彩、紙	28×43.3	田辺市立美術館【後期】
3	中西 利雄	風景	1929(昭和4)	水彩、紙	32.7×43.9	田辺市立美術館【前期】
4	河合 新蔵	大沼公園より駒ヶ岳遠望	1935(昭和10)	水彩、紙	32×49	田辺市立美術館【後期】
5	三宅 克己	信州松本郊外	制作年不詳	水彩、紙	53×72.3	田辺市立美術館【前期】
6	石川 鈴一郎	蓮華岳(信州大町郊外)	1935(昭和10)	水彩、紙	60.3×72.6	田辺市立美術館【後期】
7	鍋井 克之	熊野灘のみえる丘	1963(昭和11)	油彩、キャンバス	73×91	田辺市立美術館
8	鍋井 克之	南紀の春	制作年不詳	油彩、キャンバス	45×60	田辺市立美術館
9	稗田 一穂	春巡る熊野	1995(平成7)	紙本著色	146.5×207	田辺市立美術館
10	麻田 鷹司	東山風景(三十六峰全図)	1986(昭和61)	紙本著色	50×163.5	田辺市立美術館寄託
11	麻田 鷹司	一力(祇園町雪色)	1986(昭和61)	紙本著色	65.1×80.3	田辺市立美術館寄託
12	前田 青邨	南の街(広州)	1960(昭和35)	紙本著色	61×80.5	田辺市立美術館寄託
13	守屋 多々志	咸臨丸(アメリカ到着)	1992(平成4)	紙本著色	91×117	田辺市立美術館寄託
14	村上 華岳	月ヶ瀬	1915(大正4)頃	紙本著色、軸装	127.4×30.5	田辺市立美術館
15	前田 青邨	熊野詣	制作年不詳	紙本著色、軸装	46.8×63.7	田辺市立美術館寄託
16	日高 昌克	初夏山莊図	1940(昭和15)	紙本墨画著色	37.2×52.4	田辺市立美術館
17	日高 昌克	湯川の春	1950(昭和25)	紙本墨画、軸装	33.8×40.6	田辺市立美術館
18	日高 昌克	ゆかし渴印象	1950(昭和25)頃	紙本墨画、軸装	30.2×42.6	当館
19	日高 昌克	山光清澄図	1954(昭和29)	紙本墨画著色、軸装	31.3×59.2	当館
20	日高 昌克	秋の山	1957(昭和32)	紙本墨画著色	22.2×31.4	田辺市立美術館
21	日高 昌克	夏山烟雨図	1958(昭和33)	紙本墨画	35.4×50.2	田辺市立美術館
22	日高 昌克	春山皴皴図	1955-59(昭和30-34)	紙本墨画著色、軸装	67×40	当館
23	麻田 鷹司	那智(那智C)	1960(昭和35)	紙本著色	88.6×47.8	田辺市立美術館寄託
24	麻田 鷹司	那智	制作年不詳	パステル、紙	57.2×35.6	田辺市立美術館寄託
25	野口 弥太郎	那智の滝	1972(昭和47)	油彩、キャンバス	91×73	田辺市立美術館
26	稗田 一穂	幻想那智	1979(昭和54)	紙本著色	212×170	当館
27	稗田 一穂	神瀑・那智	1994(平成6)	紙本著色	130.3×91.5	田辺市立美術館
28	渡瀬 凌雲	那智瀑底	1963(昭和38)	紙本墨画淡彩	144.2×180	熊野古道なかへち美術館蔵
29	野村 仁	自転と重力・補陀洛の海へ	1982-84(昭和57-59)	Cプリント	180×123	当館

G. 14歳でふるさとを離れて—野長瀬晚花の箸折【当館での展示なし・熊野古道なかへち美術館のみ】

1	野長瀬 晚花	近露全景	1909(明治42)頃	絹本著色、額装	40×84	個人
2	野長瀬 晚花	秋の頃	1917(大正6)頃	紙本著色、二曲一隻	165.4×183	当館
3	野長瀬 晚花	新芽ふく頃	1918(大正7)頃	絹本著色、軸装	148.2×51	熊野古道なかへち美術館
4	野長瀬 晚花	スペインの田舎の子供	1924(大正13)	寒冷紗著色、二曲一隻	110×136	当館
5	野長瀬 晚花	水汲みに行く女	1925(大正14)	木綿著色、二曲一隻	167×185	京都市美術館
6	野長瀬 晚花	夢ばかりみてゐる男	1950(昭和25)	紙本著色、額装	48.3×36.2	当館
7	野長瀬 晚花	五月の花	1956(昭和31)	紙本著色、額装	77×137.5	近野振興会

資料 関連小作品、資料、晩花がカイロで買って来た壺(h.37.5) 野長瀬家

H. ふるさと熊野へ帰ろう—渡瀬凌雲、心の原風景【当館での展示なし・熊野古道なかへち美術館のみ】

1	渡瀬 凌雲	河口(新宮・熊野川冬の景)	1932(昭和7)	紙本墨画、額装	152×184.2	熊野古道なかへち美術館
2	渡瀬 凌雲	芳山花咲図	1972(昭和47)	紙本著色、四曲一隻	170×238	個人
3	渡瀬 凌雲	熊野三山図	1940(昭和15)	絹本墨画、軸装三幅対	各132×42	個人
4	渡瀬 凌雲	雪原(ミシシッピ源流)	1976(昭和51)	紙本墨画、四曲一隻	172×240	熊野古道なかへち美術館
5	渡瀬 凌雲	熊野古道近露野中春望図	1978(昭和53)	紙本著色、額装	79.4×99.2	近野小学校

資料《芳山花咲図》木箱(190×67.4×15.3)、スケッチ、参考資料

I. 津荷小学校でみつけた浜地清松とアメリカ【前期、後期ともに展示・当館のみ】

1	浜地 清松	暖炉	1911(明治44)	油彩、キャンバス	102.4×81.7	当館
---	-------	----	------------	----------	------------	----

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵者
-----	-----	-----	-----	-------	--------	-----

J. 歩こう。明治・大正の和歌山のまち一大亦新治郎の描いたわしたちの知らない和歌山【前期、後期ともに展示・当館のみ】

資料	渥美 友諒編	『和歌山市街地図』	1913(大正2)	印刷、紙	48×39	和歌山大学紀州経済史文化研究所
2	石垣 栄太郎	街	1925(大正14)	油彩、キャンバス	123.2×87.5	当館
3	大亦 新治郎	扇之芝	大正初期頃	水彩、紙	23.7×31.9	当館
4	大亦 新治郎	岡公園内ニテ	制作年不詳	鉛筆、紙	36.4×25.5	当館
5	大亦 新治郎	岡ノ宮境内	1912(明治45・大正元)	鉛筆、紙	36.1×22.5	当館
6	大亦 新治郎	片岡町	1913(大正2)	鉛筆、紙	32.5×22.7	当館
7	大亦 新治郎	松生院	1912(明治45・大正元)	鉛筆、紙	36×25.5	当館
8	大亦 新治郎	珊瑚寺	1912(明治45・大正元)	鉛筆、紙	36×25.4	当館
9	大亦 新治郎	岡町	1912(明治45・大正元)	鉛筆、紙	36.4×25.6	当館
10	大亦 新治郎</td					

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵者
-----	-----	-----	-----	-------	---------	-----

「サン・ジャンヌ」「ヴェンティミリア」、作品メモ《アラブの店》《マルセイユの午前の丘》《春 セーヌの河畔》《サンマメの夏》《セーヌ河畔》《アルジャントゥイユの河船》《コルシカ島の海》《サン・ポールの夕の光》《パンチミールのなかめ》《ビレネーの青き塔》、スケッチブック断片【モレーの橋】】《【アルジャントゥイユの河船】》《【サン・ジャンヌ風景】》《【ビレネーの山を描く添田知】》、写真「エトルタの浜でのスケッチ（1928年7月）」「ルノワールの家・カニュの「レ・コレット」を訪ねる（1928年7月）」「サン・マリの庭にて（1928年）」「アトリエ引越の記念撮影（1928年秋）」

資料 「探偵ファイル開封2:イタリア旅行の記録」
村井正義「イタリア旅行日記」1929年5月10日～6月2日、美術館などのチケット、写真「トリノ行きの列車の窓から（1929年5月11日）」「ピサにて、大聖堂と添田君の頭像、絵はがき「トリノの街、モンテ・カブッチーニからの眺め」「ポライオロ《天使とトビア》絵画館（トリノ）」「ボッティチェリ《天使とトビア》絵画館（トリノ）」「フランチェスコ・アンジェリコ《受胎告知》サン・マルコ修道院の壁画（フレンツェ）」「ボッティチェリ《春》より、ウフィツィ美術館（フレンツェ）」「ジョット《聖フランチェスコ・アントニオの死》サン・ミケーレ修道院の壁画（フレンツェ）」「モナ・リザ《アラ・コンシエグロ》ルネサンス美術館（フレンツェ）」「モナ・リザ《アラ・コンシエグロ》ルネサンス美術館（フレンツェ）」「タオルミナのテアトロ・グレコ全景（シチリア島）」「モダナ壁画」より、聖フランチェスコ聖堂（アッシジ）」「チマブーエ《莊嚴の聖母》ウフィツィ美術館（フレンツェ）」「タオルミナのテアトロ・グレコ全景（シチリア島）」「モダナ壁画」より、聖フランチェスコ聖堂（アッシジ）」「チマブーエ《莊嚴の聖母》ウフィツィ美術館（フレンツェ）」「タオルミナのテアトロ・グレコ全景（シチリア島）」「セジェスタのギリシア神殿（シチリア島）」「シラクサのテアトロ・シレアーレ大聖堂モザイク壁画（シチリア島）」「パレルモのバラッソ・レアレモザイク壁画（シチリア島）」「セジェスタのギリシア神殿（シチリア島）」「シラクサのテアトロ・シレアーレ大聖堂モザイク壁画（シチリア島）」「シラクサの荒れ野風景（シチリア島）」

資料 「探偵ファイル開封3:マチスを学ぶ」
図版「ロンバルディア」X線写真「マチス『緑のサイドボードの静物』1928年作の模写」(修復研究所21提供)、写真「マチス『花飾りの帽子の婦人』1919年」「マチス『描かれた額縁のなかのなすびのある室内』1916年」「マチス『室内の2人の婦人』1919年頃」「マチス『モロッコ人たち』1916年」「村井正誠『アンテリウールチス』」「クレヨン画『アンテリウールブルウ』1930年代」、水彩画「『アンテリウールブルウ』1930年代」、作品メモ「『裸婦の居るアトリエ風ブルウ』1930年、個展図録より」、クレヨン画「『アトリエの窓』(1930年頃)」「『アトリエ風景』(1930年頃)」「『パンチュール No.3』」のあるアトリエ風景(1934年頃)」

資料 「探偵ファイル開封4:新しい絵を作る」 『ムックライター』No.1 1929年 [1930年頃]「アーティストの恋」(1930年頃)「アーティストの恋」(1930年頃)

写真「1930年 第41回サロン・アンデパンダン出品作《パンチュールNo.1》1929年」「1931年 第42回サロン・アンデパンダン出品作《水浴するニンフ》1929年」、絵はがき「《水浴するニンフ》17世紀」、切り抜き「《コンポジション》1929年」
写真「《水浴する人たち》14世紀 アヴィニヨン教皇宮壁画」、写真「《磔刑図》12世紀」、図版「俵屋宗達《源氏物語閑屋瀧標図屏風》」自由模写「《南蛮屏風》部分」、「《磔刑図》ほか」《狩野長信「花下遊楽園屏風」部分》

△資料は注記のあるもの以外は村井正誠記念美術館蔵

關連企画・鈴木昭里「卓犖 in 和歌山」

【前期・後期ともに展示・和歌山県立近代美術館】

【前期、後期ともに展示】和歌山県立近代美術館
1~2 鈴木 昭男 バンパー・ハープ (2点)
— 鈴木 昭男 木の竹かご

卷之二十一 附錄一 論點上進九上：大善街鎮】

【前期、後期ともに展示・熊野古道なかへち美術館】

1 鈴木 昭男 バンブー・ハーブ近路

2005 (平成17)
2005 (平成17)

コンクリート、竹 h.113 個人
コンクリート、竹 サイズ可変 個人

2005 (平成17)

コンクリート、竹 h.113 個人



「卓音」展示風景

4. 版画家たちの表情

会 休 主 会 觀	期：2005(平成17)年9月17日(土)～10月23日(日)
館	日：月曜日 [9月19日(敬老の日)、10月10日(体育の日)は開館、翌日9月20日(火)、10月11日(火)休館]
催	和歌山県立近代美術館
場	展示室C(2階)
覧	料：一般400(350)円、大学生250(200)円 ()は20名以上の団体料金、なお、高校生以下、障害者の方、65歳以上の方、県内在学中の外国人留学生(外国人就学生を含む)は無料
趣	旨：紙の上に表現される版画には、作者と鑑賞者のあいだに親密で特別な関係を結ぶ特質がある。静謐な作品を生みだした版画家たち7人の表現世界を楽しむとともに、心の内面を多様な題材によって表そうとする象徴主義的な表現について、その系譜とひろがりを辿った。
印 刷	物：・目録(B4判8頁) ・案内はがき
担当学芸員	井上芳子
関連事業	ミュージアム・トーク 9月19日(月・祝)、10月9日(日)
関連記事	・「紙上ミュージアム 版画家たちの表情展 オディロン・ルドン『聖アントワーヌの誘惑 第3集』より」『わかやま新報』2005年9月14日、1面 ・「近現代の版画家7人 近代美術館で企画展」『ニュース和歌山』2005年9月21日、4面 ・「紙上ミュージアム 版画家たちの表情展 長谷川潔『時・静物画』」『わかやま新報』2005年9月28日、1面 ・「版画家たちの表情展 心の内面表現した象徴主義的作品」『毎日新聞』2005年9月16日、22面 ・「神秘的な版画の世界 県立近代美術館きょうから企画展」『産経新聞』2005年9月17日、26面 ・「心の内を幻想的に 版画家たちの表情 県立近代美術館で」『朝日新聞』2005年9月18日、29面 ・「企画展 版画家たちの表情 23日まで県立近代美術館」『わかやま新報』2005年10月1日、6面 ・「版画家たちの表情展」『Let's』2005年9月号 VOL.114 ・「版画家たちの表情展」『WACA-P』2005年9・10月号 vol.3 ・「版画家たちの表情展」『NATTS』2005年10月 60号 ・「紙上ミュージアム 版画家たちの表情展 駒井哲郎『月の夜』」2005年10月12日、2面



案内はがき



出呈目錄

『版画家たちの表情』出品リスト

No.	作者名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	所蔵者
■オディロン・ルドン (Odilon Redon 1840-1916)						
1 ~24	ルドン、オディロン	『聖アントワーヌの誘惑 第3集』(24点) ギュスター・ヴ・フローベールによる、刷り:クロとプランシャール	1896 (明治29)	リトグラフ、紙	当館	
1	[屏]	56.5×39.8				
2	聖アントワーヌ:主よ!助けたまえ!	22.7×13.2				
3	そしていたるところに玄武岩の円柱がある……光線が丸天井から射してくる	24.2×19				
4	わたしの接吻には、おまえの心のなかでとろける果実の味わいがある!……私を馬鹿にするのだね!さようなら!	20×16.5				
5	花々が散り落ちる。そして一匹の錦蛇の頭が現われる	26×19.7				
6	ものかげでは、人々が泣いたり祈禱したりしている。その周囲を取巻いて、彼らを激励する人々がいる……	26.5×21.5				
7	……そして彼は、不毛の起伏の多い原野を認める	25.1×19.9				
8	彼女は懐から真黒な海綿をとり出して、それを接吻で覆う	19.2×15.3				
9	……わたしは孤独のうちに沈んだ。わたしはうしろの木に住んでいたのだ	30×22.6				
10	ヘレーナ (エンノイヤ)	9.3×8.3				
11	たちまち三人の女神がおどり出る	21.8×16.5				
12	大智はわがものとなった! 私は仏陀になった!	32×22				
13	……そして頭を持たない眼が軟体動物のように漂っていた	31×22				
14	オアンヌス:混沌の最初の意識であるわたしは、物質を固くし、形体を定めるために、深淵からおどりでてきた	28×21.8				
15	ここにいますお恵み深い女神様、山にいますイダの女神だ	15×13				
16	私はいつまでも偉大なイシス!まだ誰も私のペールをかけたものはいない!私の果実が太陽なのだ!	28.4×20.5				
17	彼はまっさかさまに深淵へおちてゆく	27.7×21.2				
18	アントワーヌ:これらすべての目的は何だろう? 悪魔: 目的などはないのだ!	31×25				
19	老婆: 何か怖いのだ? 大きな暗い穴じゃないか! 中はからっぽさ、きっと	16.5×10.8				
20	死神: わたしのおかげで、お前も本気になることができるのだ。さあ抱きあおう	30.3×21.4				
21	……私は、時おり、空に精霊の形のようなものをみとめたことがあった	26.5×18.1				
22	革袋のようにまるい、海の獣たち	31×23.2				
23	さまざまな住民が大洋の国々にすんでいる	22.3×19.3				
24	ついに太陽が現われる……そしてまるい太陽のただなかに、イエス・キリストの顔が光りかがやく	27.5×20				
■モーリス・ドニ (Maurice Denis 1870-1943)						
25	モーリス・ドニ画	『キリストに倣いて』(トマス・ア・ケンピス著、訳者不詳、木版彫刻: モーリス・ドニとトニー・ベルトランの指揮により木版彫刻家組合、 印刷: 国立印刷所、刊行: アンプロワーズ・ヴォラール出版、パリ)	1903 (明治36)	木版・紙 (冊子)	個人	
26	モーリス・ドニ画	『新生』(ダンテ・アリギエリ著、アンリ・コッシュサン訳、 木版彫刻: ジャック・カミュー、ジョルジュのベルトラン3兄弟、 印刷: フランス国立印刷所、刊行: 現代書協会、パリ)	1907 (明治40)	木版・紙 (冊子)	個人	
27	モーリス・ドニ画	『叡智』(ポール・ヴェルレーヌ著、木版彫刻: ベルトラン、印刷: ジャック・ベルトラン、刊行: アンプロワーズ・ヴォラール出版、パリ)	1911 (明治44)	木版・紙 (冊子)	個人	
28	モーリス・ドニ口絵	『ラテン神秘学 中世先唱句・象徴詩集』(レミ・ド・グールモン著、 装画: ロジェ・ドヴァラン、印刷: E. アロー社、刊行: ジョルジ・クレ出版 社)	1913 (大正2)	リトグラフ・手彩色、紙	個人	
29	モーリス・ドニ画	詩集『聖テレーズ』 (ポール・クローデル著、木版彫刻: ジャック・ベルトラン)	1916 (大正5)	木版、紙 (冊子)	個人	
30	モーリス・ドニ画	聖史劇『エロア』(アルフレッド・ド・ヴィニー著、木版彫刻: ジャック、 カミュー、ジョルジのベルトラン3兄弟、刷り:M. デュモン、 O. ライヒエルト、刊行: 現代書協会、パリ)	1917 (大正6)	木版、紙 (冊子)	個人	
31	モーリス・ドニ画	『詩集』(フランス・トムソン著、エリザベス・M・ドニ・グラトロル訳、 印刷: アンドレ・クロ、ルシアン・ヴォラールとマルタン・ファビアニの監督、 刊行: アンプロワーズ・ヴォラール出版、パリ)	1936-42 (昭和11-17)	リトグラフ・紙 (冊子)	個人	
32~44	モーリス・ドニ画	『詩集』(フランス・トムソン著) より別刷挿絵 (13点)	1942 (昭和17)	リトグラフ、紙	個人	
■長谷川潔 (Hasegawa, Kiyoshi 1891-1980)						
45	長谷川潔	牧神の午後 (ステファン・マラルメの牧歌)	1916 (大正5)	木版、紙	21.5×18.2	個人
46	長谷川潔画	詩集『水の面に書きて』(堀口大學著、印刷: 国井五郎、印刷所: 国光印刷株式会社、発行所: 深山書店)	1921 (大正10)	木口木版、紙 (冊子)	個人	
47	長谷川潔画	詩集『砂の枕』(堀口大學著、印刷: 国井五郎、印刷所: 国光印刷株式会社、発行所: 深山書店)	1926 (大正15 · 昭和元)	木口木版、紙	個人	
48	長谷川潔画	『日夏耿之介定本詩集 第一卷 転身の頃』 (発行者: 長谷川巳之吉、発行所: 第一書房)	1927 (昭和2)	木口木版、紙	個人	
49	長谷川潔画	『日夏耿之介定本詩集 第二卷 黒衣聖母』 (発行者: 長谷川巳之吉、発行所: 第一書房)	1926 (大正15 · 昭和元)	木口木版、紙	個人	
50	長谷川潔画	『日夏耿之介定本詩集 第三卷 黄眼帖』 (印刷: 萩原芳雄、発行者: 長谷川巳之吉、発行所: 第一書房)	1927 (昭和2)	木口木版、紙	個人	
51	長谷川潔	南仏古村 (ムーーン・サルトゥー)	1925 (大正14)	メゾチント、紙	13.4×37.9	個人
52	長谷川潔	ヴォルクスの村	1927 (昭和2)	メゾチント、紙	20×28.1	当館

No.	作者名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	所蔵者
■長谷川潔 (Hasegawa, Kiyoshi 1891-1980)						
53	長谷川潔	金魚鉢の中の小鳥	1927 (昭和2)	ドライポイント、紙	27.8×20.4	当館
54	長谷川潔	フローラ	1928 (昭和3)	ドライポイント、紙	27.8×18.3	当館
55	長谷川潔	農家と雲	1929 (昭和4)	ドライポイント、紙	15.7×29.4	個人
56	長谷川潔	アレクサンドル三世橋とフランスの飛行船	1930 (昭和5)	メゾチント、紙	16.8×30.5	個人
57	長谷川潔	野の枯草	1931 (昭和6)	ドライポイント、紙	28.1×22.4	当館
58	長谷川潔	エッフェル塔と雲	1933 (昭和8)	ピュラン、紙	17.5×30.1	当館
59~104	長谷川潔 画	『竹取物語』(本野盛一訳、印刷:E. ドラトール、編集: ロベール、ビ リーおよびフェルナンド・ジョスラン、刊行: 芸術書協会)	1933 (昭和8)	ピュラン、紙 (46点組)	各17.5×30.1	個人
105	長谷川潔	花 (クリア)	1935 (昭和10)	メゾチント、紙	24.1×19.1	当館
106	長谷川潔	せんじゅ菊と草花	1938 (昭和13)	ドライポイント、紙	21.4×29	当館
107	長谷川潔	レ・ボウの風景	1941 (昭和16)	ドライポイント、紙	21.8×29.7	当館
108	長谷川潔	ヴェヌスの丘上の古い農家	1942 (昭和17)	ドライポイント、紙	22.2×31.3	当館
109	長谷川潔	切子ガラスに挿したアネモネと草花	1944 (昭和19)	アクアチント、紙	25.7×19	当館
110	長谷川潔	宝石と香水	1946 (昭和21)	エッチング、紙	24.2×18.3	当館
111	長谷川潔	コップに挿した枯れた野花	1950 (昭和25)	ピュラン、紙	28.5×22.8	当館
112	長谷川潔	木の葉の上の魚 (鮎)	1950 (昭和25)	ピュラン、紙	17.9×29.2	当館
113	長谷川潔	彫像のある静物	1951 (昭和26)	ピュラン、紙	28.5×21.5	当館
114	長谷川潔	古代羅馬の燈台 (フレジュス村、アウグストゥスの角燈)	1952 (昭和27)	メゾチント、紙	20.4×30.3	当館
115	長谷川潔	アカシヤの老樹	1954 (昭和29)	エッチング、紙	34.9×22.9	個人
116	長谷川潔	木と村の小寺院	1959 (昭和34)	エッチング、紙	57.9×47.3×1.6	当館
117	長谷川潔	飼い馴らされた小鳥 (西洋将棋など)	1962 (昭和37)	メゾチント、紙	35.7×26.6	当館
118	長谷川潔	小鳥と二つの枯葉	1964 (昭和39)	メゾチント、紙	26.3×35.5	個人
119	長谷川潔	静物画 仮装したる狐 (フィンランド童話)	1965 (昭和40)	メゾチント、紙	36×26.7	当館
120	長谷川潔	アカリヨムの前の草花	1969 (昭和44)	メゾチント、紙	26.6×35.5	当館
121	長谷川潔	時 静物画	1969 (昭和44)	メゾチント、紙	26.5×35.8	当館
■駒井哲郎 (Komai, Tetsuro 1920-1978)						
122	駒井 哲郎	月の兔	1951 (昭和26)	エッチング、紙	11.6×7.9	当館
123	駒井 哲郎	足場	1942 (昭和17)	エッチング、紙	15.5×19.5	当館
124	駒井 哲郎	孤独な鳥	1948 (昭和23)	メゾチント・ソフトグランドエッチング、紙	12.2×8.4	当館
125	駒井 哲郎	肖像ジルドレ	1948 (昭和23)	ドライポイント、紙	11.3×7.5	当館
126	駒井 哲郎	夢の始まり	1949 (昭和24)	アクアチント・ドライポイント、紙	9.4×12.8	当館
127	駒井 哲郎	夢の場と閃光現象	1949 (昭和24)	アクアチント、紙	12×14.6	当館
128	駒井 哲郎	夢の推移	1950 (昭和25)	メゾチント、紙	12.5×15.5	当館
129	駒井 哲郎	夜の魚 (夢 No.5)	1951 (昭和26)	アクアチント、紙	12.0×15.1	個人
130	駒井 哲郎	小さな魚	1950 (昭和25)	ソフトグランドエッチング、紙	5.0×12.1	個人
131	駒井 哲郎	束の間の幻影	1951 (昭和26)	アクアチント、紙	18×29	個人
132	駒井 哲郎	海底の祭	1951 (昭和26)	メゾチント・ソフトグランドエッチング、紙	23.8×17.2	当館
133	駒井 哲郎	人形と小動物	1951 (昭和26)	アクアチント、紙	18.1×10.6	個人
134	駒井 哲郎 画	『マルドロオルの歌』(ロートレアモン著、青柳瑞穂訳、発行: 木馬社)	1951 (昭和26)	アクアチント・エッチング、紙 (冊子)	26.2×18.2×1.9	当館
135	駒井 哲郎	不吉な港	1953 (昭和28)	アクアチント、紙	13.	

No.	作者名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	所蔵者
156	恩地 孝四郎	抒情 わかれとのぞみと（公刊『月映』VIIより）	1915（大正4）	木版機械刷、紙	14.2×9.8	当館
157	恩地 孝四郎	抒情 相信するところ（公刊『月映』VIより）	1915（大正4）	木版機械刷、紙	13.4×9.7	当館
158	恩地 孝四郎	抒情 慈に泪す（公刊『月映』VIより）	1915（大正4）	木版機械刷、紙	13.8×9.5	当館
159	恩地 孝四郎	失題【人体】	1927（昭和2）頃	木版、紙	28.4×21.7	当館
160	恩地 孝四郎	失題	1931（昭和6）頃	木版、紙	20.6×14.4	当館
161	恩地 孝四郎	Lyrique No.2 楽曲によせる抒情 ドビュッシイ〈金色の魚〉	1931（昭和6）頃	木版、紙	28.2×18.6	個人
162	恩地 孝四郎	失題【海】	1930年代（昭和初期）	木版、紙	28.2×18.6	個人
163	恩地 孝四郎	音楽	1944（昭和19）	木版、紙	34.5×25	当館
164	恩地 孝四郎	Poém No.7 五月の風景	1948（昭和23）	木版、紙	35.4×40.4	当館
165	恩地 孝四郎	失題	1950（昭和25）	紙版、紙	43.1×29.5	当館
166	恩地 孝四郎	Image No.5 生体トルソ	1947（昭和22）	紙版、紙	84×54.5	当館
167	恩地 孝四郎	南海への思念	1942（昭和17）	木版、紙	84.2×51.8	当館
168	恩地 孝四郎	Lyrique No.8 春	1950（昭和25）頃	マルチブロック、紙	65.5×55.7	当館
169	恩地 孝四郎	コンポジション	1953（昭和28）	石版、紙	46×30.1	当館
170	恩地 孝四郎	Poém 白い花	1954（昭和29）	リトグラフ、紙	45.5×29.7	当館
171	恩地 孝四郎	Form No.14 グロテスク（II）	1952（昭和27）	マルチブロック、紙	45.8×35.2	当館
172	恩地 孝四郎	Poém No.22 葉っぱと雲	1953（昭和28）	マルチブロック、紙	43.5×34	当館
173	恩地 孝四郎	『飛行官能』（写真：北原鐵雄、日本航空輸送会社、東京朝日新聞社、大阪朝日新聞社、発行：版画荘）	1934（昭和9）	凸版、紙	26.7×19.7×0.5	個人
174	恩地 孝四郎	『海の童話』（発行：版画荘）	1934（昭和9）	木版、紙（冊子）	29×21.9×0.5	当館
175	恩地 孝四郎編集	『書窓』創刊号（発行：アオイ書房）	1935（昭和10）	木版、紙（冊子）	22.1×15×0.5	当館
176	恩地 孝四郎編集	『書窓』第1巻第2号（発行：アオイ書房）	1935（昭和10）	木版、紙（冊子）	29×21.9×0.5	当館
177	恩地 孝四郎編集	『書窓』第2巻第5号（発行：アオイ書房）	1936（昭和11）	木版、紙（冊子）	29×21.9×0.5	当館
178	恩地 孝四郎編集	『書窓』第3巻第5号（発行：アオイ書房）	1936（昭和11）	木版、紙（冊子）	29×21.9×0.5	当館
179	恩地 孝四郎編集	『書窓』第4巻第5号（発行：アオイ書房）	1937（昭和12）	木版、紙（冊子）	29×21.9×0.5	当館
180	恩地 孝四郎・北園 克衛編集	『書窓』第7巻第1号（発行：アオイ書房）	1939（昭和14）	木版、紙（冊子）	29×21.9×0.5	当館
181	恩地 孝四郎	『季節標』（木版摺刷：市川憲次、発行：アオイ書房）	1935（昭和10）	木版、紙（冊子）	29×21.9×0.5	個人
182	恩地 孝四郎	『夏の手紙』（北園克衛著、発行：アオイ書房）	1937（昭和12）	木版、紙（冊子）	29×21.9×0.5	個人
183	恩地 孝四郎	『虫・魚・介』（発行：アオイ書房）	1943（昭和18）	木版、紙（冊子）	27.3×21.3×0.5	当館
■福井 良之助（Fukui, Ryunosuke 1923-1986）						
184	福井 良之助	静物	1955（昭和30）	孔版、紙	27.4×30.1	当館
185~189	福井 良之助	『福井良之助孔版画集第1集』より（5点）	1957（昭和33）	孔版、紙		当館
		185 こわれた家（やせはてた青春の思い出）(8.7×10.7)、				
		186 建設（8.7×10.7）、187 いちじく（12×14.6）、188 枯木（6.1×14）、189 教会（9.5×11）				
190	福井 良之助	けし（2）	1959（昭和34）	孔版、紙	26.7×39.3	当館
191	福井 良之助	縞模様のある魚	1960（昭和35）	孔版、紙	26.8×32	当館
192	福井 良之助	紫陽花のある静物	1962（昭和37）	孔版、紙	19×37.9	当館
193	福井 良之助	カレイ	1962（昭和37）	孔版・銅版、紙	16.6×35.4	当館
194	福井 良之助	二匹の魚	制作年不詳	孔版、紙	22.1×34.5	当館
195	福井 良之助	静物	制作年不詳	孔版、紙	21.6×40.7	当館
196	福井 良之助	少女像	1962（昭和37）	孔版、紙	28.1×14.2	当館
197	福井 良之助	裸婦 1	制作年不詳	孔版、紙	35.9×26	当館
198	福井 良之助	裸婦 2	制作年不詳	孔版、紙	43.3×27.4	当館
199	福井 良之助	葡萄	制作年不詳	孔版、紙	21×33.9	当館
200	福井 良之助	紫陽花	1962（昭和37）頃	孔版・銅版、紙	18.1×18.2	当館
201	福井 良之助	日と花【蝶とミレ】	1963（昭和38）	孔版、紙	29.8×17.9	当館



「版画家たちの表情」展示風景

No.	作者名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	所蔵者
202	福井 良之助	開花	1964（昭和39）	孔版、紙	24×24.1	当館
■浜口 陽三（Hamaguchi, Yozo 1909-2000）						
203	浜口 陽三	猫	1950（昭和25）頃	ドライポイント、紙	5.7×4.2	当館
204	浜口 陽三	裸婦	1950（昭和25）頃	ドライポイント、紙	2.2×4.5	当館
205	浜口 陽三	手	1951（昭和26）	ドライポイント、紙	5.5×4.9	当館
206	浜口 陽三	猫	1952（昭和27）	ドライポイント・ルーレット、紙	6.5×9	当館
207	浜口 陽三	桜草	1952（昭和27）	ドライポイント、紙	10.4×8	当館
208	浜口 陽三	レダ	1952（昭和27）	ドライポイント、紙	18.2×24.2	当館
209	浜口 陽三	顔	1952（昭和27）	メゾチント、紙	23.6×17.5	当館
210	浜口 陽三	女達	1953（昭和28）	メゾチント、紙	17.8×23.7	当館
211	浜口 陽三	秋の女	1953（昭和28）	メゾチント、紙	18×24	当館
212	浜口 陽三	スペイン風油入れ	1954（昭和29）	メゾチント、紙	28.8×28.5	当館
213	浜口 陽三	うさぎ	1954（昭和29）	カラーメゾチント、紙	29.4×29.2	当館
214	浜口 陽三	西瓜二切	1954（昭和29）	メゾチント、紙	29.4×39.1	当館
215	浜口 陽三	したびらめ	1955（昭和30）	メゾチント、紙	29.2×34	当館
216	浜口 陽三	西瓜	1955（昭和30）	カラーメゾチント、紙	8.5×13.5	当館
217	浜口 陽三	魚とさくらんば	1956（昭和31）	カラーメゾチント、紙	14.5×19.5	当館
218	浜口 陽三	バの屋根	1956（昭和31）	カラーメゾチント、紙	18.5×18.5	当館
219	浜口 陽三	バの屋根	1957（昭和32）	カラーメゾチント、紙	14.4×19.3	当館
220	浜口 陽三	青いぶどう	1956（昭和31）	カラーメゾチント、紙	14.6×19.5	当館
221	浜口 陽三	ぶどうとナイフ	1956（昭和31）	メゾチント、紙	10.1×18.4	当館
222	浜口 陽三	青いガラス	1957（昭和32）	カラーメゾチント、紙	11.6×11.6	当館
223	浜口 陽三	ボブラー	1960（昭和35）	カラーメゾチント、紙	19.5×26.7	当館
224	浜口 陽三	黒いさくらんば	1963（昭和38）	カラーメゾチント、紙	34.3×29.4	当館
225	浜口 陽三	19と1つのさくらんば	1965（昭和40）	カラーメゾチント、紙	23.4×53.7	当館
226	浜口 陽三	突堤	1965（昭和40）	カラーメゾチント、紙	28.2×28.5	当館
227	浜口 陽三	トリコット	1965（昭和40）	メゾチント、紙	24.5×52	当館
228	浜口 陽三	14のさくらんば	1966（昭和41）	カラーメゾチント、紙	51.3×24.5	当館
229	浜口 陽三	赤い鉢と黒いさくらんば	1968（昭和43）	カラーメゾチント、紙	47×62	当館
230	浜口 陽三	蝶と太陽	1969（昭和44）	カラーメゾチント、紙	19.6×19.4	当館
231	浜口 陽三	2匹の蝶	1977（昭和52）	カラーメゾチント、紙	15.5×15.3	当館

5. 佐伯祐三－芸術家への道－

会期：2005(平成17)年11月3日(木・祝)～12月11日(日)

休館日：月曜日

主催：和歌山県立近代美術館・練馬区立美術館

会場：展示室C(2階)

観覧料：一般800(650)円、大学生500(400)円

()は20名以上の団体料金、高校生以下、障害者の方、65歳以上の方、県内在学中の外国人留学生(就学生を含む)は無料

趣旨：佐伯祐三(1898-1928)の短期間の凝縮し、燃焼した芸術家としての人生は、近代の日本人画家の一つの典型として今なお共感を呼ぶものである。その生涯を、美術学校時代、第一次滞欧時代、一時帰国した下落合時代、第二次滞欧時代と順にたどりながら、その芸術家としての生涯を振り返る。特に、画家としての自己確立を、画風の変遷、同一モチーフ作品の比較などにより、自らの存在と対峙する物や自然との関係から考察した。

印刷物：・図録(A4判変形、217頁)

熊田 司「佐伯祐三－いくつもの出発－」

横山勝彦「佐伯祐三論のための覚書」

寺口淳治「〈扉〉について」

「佐伯祐三の歩いたパリ」

「年譜」

「写真資料」

『一九三〇年叢書(一)画集 佐伯祐三』

『山本發次郎氏蔵集佐伯祐三画集』

『佐伯祐三作品出品歴および画集掲載一覧』

『文献目録補遺および採録』

・ポスター(B2判)

・ちらし(A4判)

担当学芸員：寺口淳治

備考：練馬区立美術館での会期は、9月10日～10月23日

関連事業：・講演会 11月6日(日) 「佐伯祐三の芸術」 橋爪節也氏(大阪市立近代美術館建設準備室主任学芸員)

・講演会 11月19日(土) 「佐伯祐三の歩いたパリ」 寺口淳治

・ミュージアムトーク 12月3日(土)、4日(日)



ポスター



図録

関連記事：・栗津則雄「佐伯祐三展によせて」『東京新聞』2005年10月1日、25面

・横山勝彦「佐伯祐三－芸術家への道－展」『新美術新聞』2005年10月1日、1面

・「文化往来 佐伯祐三の風景画、自画像に通じる精神」『日本経済新聞』2005年10月6日、44面

・「紙上ミュージアム 佐伯祐三－芸術家への道－展 〈パリの街角(Av. Villemain)〉」『わかやま新報』2005年10月26日、1面

・「天才画家 佐伯祐三展」『わかやま特報』2005年11月1日、21面

・「会と催し 佐伯祐三展」『中外日報』2005年11月1日、3面

・辻加奈子「佐伯祐三の軌跡たどる」『毎日新聞』2005年11月2日、24面

・「佐伯祐三芸術家への道 あすから県立近代美術館」『ニュース和歌山』2005年11月2日、5面

・「県立近代美術館 佐伯祐三展」「代表作、関連資料等140点を展示中」『2・1紀州』2005年11月4日、1・3面

・「佐伯祐三展 12月11日まで県立近代美術館」『2・1紀州』2005年11月4日、1面

・「画風や表現の変化 眺めて」『朝日新聞』2005年11月4日、24面

・「ART 佐伯祐三－芸術家への道－展」『毎日新聞』2005年11月4日、20面

・「佐伯作品一堂に 県立近代美術館で特別展開幕」『産経新聞』2005年11月4日、24面

・「美術館便り 佐伯祐三－芸術家への道－展」『和歌山政治経済新聞』2005年11月5日、2面

・「佐伯祐三－芸術家への道－展」『リビング和歌山』2005年11月5日、2面

・「佐伯祐三展 始まる」「佐伯芸術の核心に迫る」『わかやま新報』2005年11月5日、1・7面

・「佐伯祐三の作品一堂 郵便配達夫など140点」『読売新聞』2005年11月6日、37面

・「紙上ミュージアム 佐伯祐三－芸術家への道－展 〈カフェ・レストラン〉」『わかやま新報』2005年11月9日、1面

・「佐伯祐三－芸術家への道－展」『読売新聞』2005年11月22日、6面

・「紙上ミュージアム 佐伯祐三－芸術家への道－展 〈郵便配達夫〉」『わかやま新報』2005年11月23日、1面

・「佐伯祐三－芸術家への道－展」『黒潮タイムス』2005年11月25日、2面

・「紙上ミュージアム 佐伯祐三－芸術家への道－展 〈扉〉」『わかやま新報』2005年12月7日、1面

・河崎晃一「芸術大好き 激しい生きざまを投影した異邦人にしか描けないパリ」『家庭画報』48-10、2005年10月1日、114頁

・高木陽子「ひとつの美の物語 日本人のパリへの憧れを描いた「佐伯祐三 芸術家への道」展」『ミセス』609、2005年10月7日、331頁

・「ミュージアムガイド 特別企画展 佐伯祐三－芸術家への道－」『紀州浪漫』14、2005年9月1日、17頁

・「カルチャー・インフォメーション 佐伯祐三－芸術家への道－」『WACA-P』4、2005年11月、裏表紙

・白鳥正夫「アートの周辺」を考える 第51回 天折の画家、佐伯祐三の足跡」『Art City「展』2005年12月1日、<http://21st.c-art-city.com>

・三浦篤「EXHIBITION INVITATION 線の画家 YUZO SAEKIの凄さ」『芸術新潮』57-1、2006年1月1日、195頁

・高畠勲「一枚の絵」から 35 佐伯祐三 〈下落合風景〉『熱風』3-12、2005年12月10日、31-36頁

『佐伯祐三ー芸術家への道』出品リスト

No.	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	所蔵者	(カタログ番号)【注記】
■東京美術学校卒業まで～1923(大正12)年						
1	自画像	1919(大正8)頃	鉛筆、紙	29.4×19.5	個人	(127)
2	自画像	1919(大正8)頃	インク・水彩、紙	23×16.4	個人	(128)
3	自画像	1919(大正8)頃	水彩、紙	19.5×14.8	個人	(129)
4	自画像	1917(大正8)頃	油彩、キャンバス	45.5×37.9	愛知県美術館	(1)
5	石膏デッサン	1920(大正8)頃	木炭、紙	62×47	個人	(124)
6	静物(りんご)	1921(大正10)頃	油彩、紙	45.5×33.3	個人	(8)
7	自画像	1919(大正8)頃	コンテ、紙	28.5×18	東京都現代美術館	(125)
8	自画像	1917(大正6)	油彩、キャンバス	45.5×33.4	三重県立美術館	(2)
9	自画像	1917(大正6)頃	油彩、キャンバス	46×32.5	個人	(3)
10	自画像	1922(大正11)頃	油彩、キャンバス	45×33.3	東京国立近代美術館	(4)
11	自画像	1923(大正12)	油彩、キャンバス	60.3×45.2	東京藝術大学	(6)
12	帽子をかぶる自画像	1922(大正11)	油彩、キャンバス	73×53.4	当館	(5)
13	裸婦	1923(大正12)頃	油彩、キャンバス	73×116.6	西宮市大谷記念美術館	(10)
14	ベッドに坐る裸婦	1923(大正12)	油彩、キャンバス	91.2×65.6	当館	(9)
15	彌智子像	1923(大正12)頃	油彩、キャンバス	45×45.2	大阪市立近代美術館建設準備室	(11)
■第一次滞仏期 1924(大正13)年～1926(大正15・昭和元)年						
16	パリ遠望	1924(大正13)	油彩、キャンバス	55.3×72.7	大阪市立近代美術館建設準備室	(12)
17	森と広場	1924(大正13)頃	油彩、キャンバス	37.5×45.5	当館	(13)
18	教会堂	1925(大正14)	油彩、キャンバス	40.9×53.2	個人	(21)
19	クラマールの午後	1924(大正13)	油彩、キャンバス	53×64.5	個人	(18)
20	オニー風景	1924(大正13)頃	油彩、キャンバス	50×60.6	個人	(20)
21	オーヴェールの教会	1924(大正13)	油彩	59.5×71.5	鳥取県立博物館	(16)
22	クラマール	1925(大正14)	油彩、キャンバス	59.7×71.4	山種美術館	(27)
23	オーヴェール風景	1924(大正13)9月3日	油彩、キャンバス	58×70.5	個人	(17)
24	オニー牧場	1924(大正13)	油彩、キャンバス	60×80.3	下関市立美術館	(19)
25	オワーズ河周辺風景	1924(大正13)	油彩、キャンバス	38.5×45.5	個人	(22)
26	オワーズ河周辺風景	1924(大正13)	油彩、キャンバス	45.5×53	当館	(23)
27	風景	1925(大正14)	油彩、キャンバス	60×72	ひろしま美術館	(15)【裏面に《裸婦》1925年】
28	パリ雪景	1925(大正14)頃	油彩、キャンバス	65×80	個人	(24)【裏面に《ブランジュリー》1925年】
29	パリ郊外風景	1924(大正13)頃	油彩、キャンバス	60.5×72.8	群馬県立近代美術館	(25)
30	レストラン	1925(大正14)3月	油彩、キャンバス	53×65	個人	(26)
31	サクレ・クール	1925(大正14)	油彩、キャンバス	65.4×54.4	個人	(39)【裏面に《セーヌ河》1925年】
32	リュ・デュ・シャトー通り	1925年頃	油彩、キャンバス	50.2×61.2	個人	(35)
33	パリ風景	1925(大正14)頃	油彩、キャンバス	50.3×60.9	ポーラ美術館	(34)
34	パリの街角(Av.Villemain)	1925(大正14)	油彩、キャンバス	64×90	個人	(33)
35	アントレ・ド・リュ・デュ・シャトー	1925(大正14)頃	油彩、キャンバス	72.7×59.2	ポーラ美術館【ポーラ・コレクション】	(36)
36	ラコルデール街	1925(大正14)頃	油彩、キャンバス	73×60	個人	(42)
37	村の教会堂	1925(大正14)	油彩、キャンバス	45.5×61	大阪市立近代美術館建設準備室	(32)
38	ノートル・ダム (マント・ラ・ジョリ)	1925(大正14)	油彩、キャンバス	78.7×52.5	大阪府立北野高等学校	(29)
39	ノートル・ダム (マント・ラ・ジョリ)	1925(大正14)	油彩、キャンバス	79.5×59	個人	(28)【裏面に《オワーズ河周辺風景》1921(大正13)】
40	夜のノートル・ダム (マント・ラ・ジョリ)	1925(大正14)	油彩、キャンバス	80.5×54.5	大阪市立近代美術館建設準備室	(30)【裏面に《立てる自画像》1924(大正13)】
41	ノートル・ダム・ド・パリ	制作年不詳	油彩、キャンバス	60.5×50.1	個人	(31)
42	街角	1925(大正14)	油彩、キャンバス	45.5×38	個人	(49)
43	パリの街角	1925(大正14)	油彩、キャンバス	64.5×41	当館	(37)
44	街角(モロ・ジャフェリ広場)	1925(大正14)頃	油彩、キャンバス	65×80	ポーラ美術館【ポーラ・コレクション】	(38)
45	リュ・ブランシオン	1925(大正14)10月	油彩、キャンバス	59.8×73	個人	(41)
46	運送屋(カミオン)	1925(大正14)	油彩、キャンバス	60.2×72.1	大阪市立近代美術館建設準備室	(40)
47	リュ・デュ・シャトーの歩道	1925(大正14)	油彩、キャンバス	60.5×73.3	当館	(56)
48	壁	1925(大正14)10月5日	油彩、キャンバス	73.1×60.8	大阪市立近代美術館建設準備室	(50)【裏面に《裸婦》1924(大正13)】
49	酒場(オ・カーヴ・ブルー)	1925(大正14)	油彩、キャンバス	72.2×60.1	大阪市立近代美術館建設準備室	(45)
50	レ・ジュ・ド・ノエル	1925(大正14)	油彩、キャンバス	71.7×59.4	大阪市立近代美術館建設準備室	(43)
51	レ・ジュ・ド・ノエル	1925(大正14)	油彩、キャンバス	72.3×60.8	当館	(44)
52	靴屋(コルドヌリ)	1925(大正14)	油彩、キャンバス	72.5×59	石橋財團石橋美術館	(51)
53	窓のある建物(パリ風景)	1925(大正14)	油彩、キャンバス	65.2×80.3	横須賀市美術館準備室	(46)
54	ビエール・デュメニル 絵具屋 (クルール・エ・ヴェルニ)	1925(大正14)	油彩、キャンバス	53×73	個人	(47)
55	アネモネ (クルール・エ・ヴェルニ)	1925(大正14)	油彩、キャンバス	45×53	信越放送株式会社	(48)
56	アネモネ	1925(大正14)頃	油彩、キャンバス	60.2×50	個人	(59)
57	アネモネ	1925(大正14)頃	油彩、キャンバス	38×45.3	個人	(60)

* () カタログ番号

No.	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	所蔵者	(カタログ番号)【注記】
■第一次滞仏期 1924(大正13)年～1926(大正15・昭和元)年						
58	テレビン油のある静物	1925(大正14)頃	油彩、キャンバス	54×65	大阪市立近代美術館建設準備室	(62)
59	ポスターとローソク立て	1925(大正14)頃	油彩、キャンバス	46×54	当館	(61)
60	広告のある門	1925(大正14)	油彩、キャンバス	60×73.3	当館	(53)
61	門と広告	1925(大正14)	油彩、キャンバス	60×72.5	埼玉県立近代美術館	(54)
62	ロカション・ド・ウォワチュール	1925(大正14)	油彩、キャンバス	63.5×79	ひろしま美術館	(57)
63	バストゥールのガード	1925(大正14)	油彩、キャンバス	52.5×63.3	個人	(55)
64	ヴェネツィア風景	1926(大正15・昭和元)	水彩、紙	23.9×27	個人	(132)
65	アッシジの聖堂	1926(大正15・昭和元)1月	水彩、紙	31.3×23.7	茨城県近代美術館	(131)
■一時帰国期 1926(大正15・昭和元)年～1927(昭和2)年						
66	下落合風景	1926(大正15・昭和元)頃	油彩、キャンバス	80.5×65	個人	(64)
67	下落合風景	1926(大正15・昭和元)頃	油彩、キャンバス	50×60.5	当館	(63)
68	下落合風景	1926(大正15・昭和元)頃	油彩、キャンバス	31×40	個人	(65)
69	下落合風景	1926(大正15・昭和元)	油彩、キャンバス	31×40.8	個人	(66)
70	下落合風景	1926(大正15・昭和元)頃	油彩、キャンバス	50.5×61	個人	
71	下落合風景	1926(大正15・昭和元)頃	油彩、キャンバス	52.5×70.5	個人	
72	下落合風景	1927(昭和2)年	油彩、キャンバス	36.3×45.5	個人	(71)
73	下落合風景	1926(大正15・昭和元)	油彩、キャンバス	60.9×73	学校法人甲南学園甲南小学校	(69)
74	テニス(下落合風景)	1926(大正15・昭和元)頃	油彩、キャンバス	73×117.5	新宿区立落合第一小学校	(68)
75	上板橋の橋の附近	1926(大正15・昭和元)頃	油彩、キャンバス	52.4×72	個人	(73)
76	下落合風景	1926(大正15・昭和元)頃	油彩、キャンバス	60.5×72.8	ポーラ美術館	(72)
77	ガード風景	1926(大正15・昭和元)頃	油彩、キャンバス	61.3×72.3	個人	(74)
78	白い壁の家(下落合風景)	1926(大正15・昭和元)頃	油彩、キャンバス	45.8×61.2	個人	(70)
79	肥後橋風景	1926-27(大正15・昭和元-昭和2)	油彩、キャンバス	60.7×90.7	朝日新聞社	(75)
80	滞船	1926(大正15・昭和元)頃	油彩、キャンバス	59.6×72	個人	(78)
81	滞船	1926-27(大正15・昭和元-昭和2)	油彩、キャンバス	53.2×65.3	ポーラ美術館【ポーラ・コレクション】	(77)
82	滞船	1926(大正15・昭和元)頃	油彩、キャンバス	53×65	横浜美術館	(76)
83	裸婦	1927(昭和2)頃	鉛筆、紙	27.8×22.7	個人	(138)
84	人物・動物スケッチ	1926年	インク、紙	17.5×27.5		

No.	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	所蔵者	(カタログ番号)【注記】
105	門の広告	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	58.8×81.3	個人	(94)
106	共同便所	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	72.4×59.8	大阪市立近代美術館建設準備室	(104)
107	広告塔	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	79.5×52.8	新潟県立近代美術館・万代島美術館	(84)
108	ラ・クロッシュ	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	52.5×64	静岡県立美術館	(98)
109	ガス灯と廣告	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	65.5×100	東京国立近代美術館	(99)
110	レストラン (オテル・デュ・マルシエ)	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	54.5×65.4	大阪市立近代美術館建設準備室	(102)
111	カフェ・レストラン	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	61×50.3	個人	(100)
112	工場	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	73.4×60.3	田辺市立美術館	(107)
113	工場	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	60×91	大阪市立近代美術館建設準備室	(109)
114	白い道	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	72×59	個人	(108)
115	サン・タンヌ教会	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	72.5×59.7	三重県立美術館	(105)
116	パンテオン寺院	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	65×53	新潟県立近代美術館・万代島美術館	(106)
117	モランの寺(サン・ジェルマン・ジエール・モラン)	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	60×73	東京国立近代美術館	(115)
118	モランの寺	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	59.8×72	大阪市立近代美術館建設準備室	(113)
119	モランの寺	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	60.3×73	大阪市立近代美術館建設準備室	(114)
120	街はずれの寺	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	60.3×72.1	大阪市立近代美術館建設準備室	(116)
121	モラン風景	1928(昭和3)	油彩、ボード	38×45	当館	(111)
122	モラン風景	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	59.6×91.8	大阪市立近代美術館建設準備室	(110)
123	村と丘	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	60.8×73	大阪市立近代美術館建設準備室	(117)
124	カフェ・レストラン	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	59.9×73	大阪市立近代美術館建設準備室	(112)
125	納屋	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	60.2×73.2	大阪市立近代美術館建設準備室	(118)
126	煉瓦焼	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	60.2×73.1	大阪市立近代美術館建設準備室	(119)
127	黄色いレストラン	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	73×60.8	大阪市立近代美術館建設準備室	(120)
128	ロシアの少女	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	65.3×53.5	大阪市立近代美術館建設準備室	(123)
129	郵便配達夫	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	80.8×65	大阪市立近代美術館建設準備室	(122)
130	扉	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	73.3×60.4	田辺市立美術館	(121)
131	自画像	1919(大正8)頃	インク、紙	29.3×19	当館	(126)【裏面に短文】

資料 ライフ・マスク 1921(大正11) プロンズ h.25 当館

資料 佐伯が渡欧に使った旅行用柳行李 48.5×82.5×34 新宿歴史博物館

資料 「一九三〇年協会第2回展招待券」 当館

資料 「一九三〇年協会第4回展招待状」 当館

資料 「一九三〇年協会第4回展優待券」 当館

資料 「一九三〇年協会第2回展絵はがき『風景』」 当館

資料 「一九三〇年協会第4回展絵はがき『皮膚病の広告ある壁』」 当館

資料 『一九三〇年叢書(一)画集佐伯祐三』一九三〇年協会、1929(昭和4)1月刊 当館

資料 『山本發次郎氏菟蔵佐伯祐三画集』座右宝刊行会、1937(昭和12)3月刊 当館

6. 美術百科「世界一周」の巻 コレクションによる全館展示

会 休 会 観 趣 印 刷 物 :

期 : 2006(平成18)年1月15日(日)~4月9日(日)【前期1月15日~2月19日、後期: 2月28日~4月9日】
 館 日 : 月曜日、展示替え期間(2月20日~2月27日)
 場 : 展示室A+B+C(全展示室)
 料 : 一般310(250)円 大学生210(160)円
 ()は20名以上の団体料金、なお、高校生以下、障害者の方、65歳以上の方、県内在学中の外国人留学生(就学生を含む)は無料
 旨 : 当館のコレクションをさまざまな視点から紹介するシリーズの第4弾。旅行ブームと言われて久しい一方、世界地理を知らない人も増えていると報じられるこの頃、各国から和歌山に集まった作品をたどって展示室で旅をする展覧会。観光地や留学先や想像で描かれた世界各地の風景、風物、人物を追って和歌山を出発し、作品による世界一周の旅を行った。
 物 : • ポスター(B2判)
 • 出品目録(前期: A6判4頁8種 計32頁、後期: A6判4頁9種 計32頁)
 • 案内はがき
 担当学芸員 : 奥村泰彦
 関連事業 : 1月15日(日)、2月11日(土・祝)、3月21日(火・祝)、4月9日(日) ミュージアム・トーク
 関連記事 : • 「美術百科 世界一周の巻」『わかやま新報』2006年1月6日、6面
 • 「紙上ミュージアム 美術百科 世界一周の巻 『FOU』『わかやま新報』2006年1月11日、2面
 • 「全館コレクション展 美術百科世界一周の巻」『わかやま新報』2006年1月12日、5面
 • 「作品たどり『世界一周』『毎日新聞』2006年1月14日、22面
 • 「作品見ながら世界一周」『ニュース和歌山』2006年1月18日、4面
 • 「世界各地にまつわる絵画や彫刻300点」『朝日新聞』2006年1月19日、25面
 • 「旅を表現 作品に親しみ」『日経ネット関西版』2006年2月2日
 • 「紙上ミュージアム 美術百科 世界一周の巻 高井貞二『エミグラン트の街』』『わかやま新報』2006年2月22日、2面
 • 「美術百科 世界一周の巻」『近くで、いい旅。電車&ウォーク』2006年3月号
 • 「美術百科 世界一周の巻」『RIPPLE』15、2005年12月15日、23頁
 • 「美術百科 世界一周の巻」『第二阪和 なんかニュース』6、2006年2月
 • 「カルチャー・インフォメーション 美術百科 世界一周の巻」『WACA-P』5、2006年1月、裏表紙

美術百科「世界一周」の巻



ポスター



出品目録

『美術百科「世界一周」の巻』出品リスト

No.	作者名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	備考【出品期間】
■和歌山から太平洋を南へ北へ						
□イントロダクション						
1 谷中 安規	詩画集『FOU』(佐藤春夫著)	1936(昭和11)	木版、紙(冊子)		15×25.7	
2 アックリング、ロジャー	潮岬	1996(平成8)	木、太陽光線	34.2×3.6×1.1		
3 川口 軌外	岩(潮岬にて)	1939(昭和14)	油彩、キャンバス	45.5×52.8		
4 川口 軌外	熊野灘	1940(昭和15)	油彩、キャンバス	130.4×162.3		
5 原 勝四郎	小湾	1940(昭和15)	油彩、ボール紙	58.4×70.4		
6 川端 龍子	白浜・円月島	1949(昭和24)	墨、顔料、紙	48.5×72	【前期】	
7 日高 昌克	ゆかし渴印象	1950(昭和25)	墨、紙	30.2×42.6	【前期】	
8 野長瀬 晚花	島の女	1916(大正5)	顔料、絹	145.1×51.7	【前期】	
9 前田 政雄	小笠原母島(東京府)『新日本百景』	1939(昭和14)	木版、紙	22.8×30.5	【前期】	
10 大亦 観風	紀州路行脚日記画巻 紀南巻	1934(昭和9)	墨、顔料、紙	24.2×1795	【後期】	
11 稲田一穂	幻想那智	1979(昭和54)	顔料、紙	212.4×169.7	【後期】	
12 前田 政雄	小笠原風景	1935(昭和10)	木版、紙	22.3×29.2	【後期】	
13 染木 瞽	メリ一島土人	1937(昭和12)	銅版、紙	12×9		
14 染木 瞽	[風景]	制作年不詳	銅版、紙	12×10		
15 染木 瞽	[婦人像]	制作年不詳	リトグラフ、紙	32.8×21.6	【後期】	
16 出原 司	南の海でゆっくり漂う1	1988(昭和63)	石版、紙	392×949		
17~19 マティス、アンリ	『ジャズ』より(3点)	1947(昭和22)	ステンシル、紙			
	17 ラグーン(40.8×64)、18 ラグーン(40.7×60.6)、19 ラグーン(42.1×64.4)【後期】					
□海の旅へのあこがれ						
20 川端 龍子	月夜のヨット	1916(大正5)	木版、紙	28.9×19	【前期】	
21 清原 啓子	海の男	1981(昭和56)	銅版、紙	38.1×44.8	【前期】	
22 畑野 織蔵	ゆめ	昭和初期	木版、紙	47×35.4	【後期】	
23 横尾 忠則	海の男	1969(昭和44)	シルクスクリーン・アクリル、紙	90.3×90.2	【後期】	
24 鳴 刚	無題F	1982(昭和57)	アクリル絵具、キャンバス	168.5×214.5		
25 有田 曜子	海II	1984(昭和59)	シルクスクリーン、アクリル、紙	72.8×102.9		
26 清塚 紀子	海へー航跡1984-A	1984(昭和59)	銅版ほか、紙	68×56.8		
□北の海へ	凍れる歩廊(ペーリング海峡)	1978(昭和53)	銅版、紙	49.4×74		
27 深沢 幸雄						
■北アメリカを横断						
□北アメリカの旅						
28 川上 澄生	アラスカの雪景『HANGA』3	1924(大正13)	木版、紙	12.2×17.6		
29 川上 澄生	異國雨の夕景	1925(大正14)	木版、紙	15.6×20.2		
30 杉本 博司	太平洋オレゴンI	1985(昭和60)	写真	42.1×54.4		
31 杉本、ヘンリー	カーメルハイランド海辺	1937(昭和12)	油彩、キャンバス	80.6×106		
32 ピアード、ピーター	サン・クエンティン 1972『ジョナス・メカスの映画美術館のためのポートフォリオ』	1982(昭和57)	写真	22.9×34.3		
33 宇佐美 圭司	路上の英雄No.2	1966(昭和41)	油彩、キャンバス	185×270		
34 柳原 瞳夫	褐釉金彩花瓶ーカリオルニアシャワー	1975(昭和50)	陶	38.4×56.8×22.7		
35~60 岡本 信治郎	『ベティ・ブープの国』より(26点)	1973(昭和48)				
	35 薄桃色の着陸(石版・手彩色、紙22.2×63.9)、36 ママからきいたベーブの話(石版、紙52.8×39.6)、					
	37 ポパイの手(石版、紙57.9×47)、38 階段のチャップリン(石版、紙42.8×64.6)、39 消えたマリリン(石版、紙36.5×59)、					
	40 グレーート・ストーン・フェイス(石版、紙36×59.5)、41 はつなつかぜ(石版、紙35×54.9)、					
	42 ベロドー島のインディアン観光(石版、紙47.4×65.8)、43 劇中劇・Sストリートのアイスクリーム戦争(石版、紙63×36)、					
	44 ドンキホーテのニューヨーク入城(石版、紙34.9×58.5)、45 大停電ー画家ジム・ダイൻ(石版、紙40.1×64.6)、					
	46 アンディの子守り唄(1) 眠れるアンディ・ウォーホル坊や(石版、紙46×57)【前期】					
	47 ベティ・ブープの国(シルクスクリーン、紙58.1×46.7)、48 ベトナムの黄金バット(石版、紙48.4×57.9)、					
	49 洪水・メルヴィルの海(シルクスクリーン、紙58.4×47.2)、50 荒馬と女(シルクスクリーン、紙42.6×64.7)、					
	51 私はセントルイスブルースの口笛を吹くのが好きだ(石版・手彩色、紙42.5×65.5)、52 真夜中のポパイ(石版、紙34.9×51)、					
	53 空から見たターザン(リトグラフ、紙44.1×63.5)、54 ベロドー島のインディアン観光(1本のマホーク)(シルクスクリーン、紙18.3×12.8)、					
	55 ベロドー島のインディアン観光(ぬりゑ)(シルクスクリーン、紙20.5×15.6)、56 子持ちのクニー(シルクスクリーン、紙58.1×46.3)、					
	57 制服のスフィンクス・スタインベルグの肖像(シルクスクリーン、紙46.6×8.2)、					
	58 大停電ー画家ジム・ダイൻ(透明人間)(シルクスクリーン、紙40.7×65.4)、					
	59 アンディの子守り唄(2) 8時間眠る男(シルクスクリーン、ホットスタンプ、紙46×57.2)【後期】					
	60 アンディの子守り唄(3) 眠れる玩具(木33.8×10×6)【前期・後期】					
61 ステラ、フランク	タラデガ III(サー・キット・シリーズ)	1982(昭和57)	銅版、紙	166×131.2		
62 杉本 博司	オハイオ・シアター、オハイオ	1980(昭和55)	写真	42×54.4		
63 山本 正道	モントーー岬にて	1979(昭和54)	ブロンド	15×162.5×59		
64~73 ウォーホル、アンディ	『キャンベル・スープ II』(10点)	1969(昭和44)	シルクスクリーン、紙	各90×59.5		
	64 Oyster Stew(With Grade AA Butter)、65 Cheddar Cheese、66 Golden Mushroom, Rich in Sliced Mushrooms、					
	67 Tomato-Beef Noodle O's、68 The Alphabet Soup, Vegetarian Vegetable【前期】					

No.	作者名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	備考【出品期間】
■中南米を周遊し大西洋へ						
□メキシコ						
97~102	シケイロス、ダウード・アルファロ	『メキシコ連作』より6点	制作年不詳	石版、紙	53.3×39.5	受託作品
103	タマヨ、ルフィーノ					
104	北川 民次	メキシコの女	1937(昭和12)	セルロイド凸版、紙	22.3×15	
105	北川 民次	タスコの裸婦	1941(昭和16)	木版、紙	24×41.8	
106	北川 民次	メキシコの浴み	1941(昭和16)	木版、紙	26×28.4	
107	利根山 光人	祝祭(コーラ族の祭り)	1984(昭和59)	石版、紙	76.6×61	
108	利根山 光人	消えた都市(B)	1983(昭和8)	石版、紙	96.3×67	
109	利根山 光人	雨神	1964(昭和39)	石版、紙	36.8×28.1	
110	深沢 幸雄	古い樂譜(青)	1965(昭和40)	銅版、紙	59.5×36.2	
111	深沢 幸雄	アシェンダの地下にて	1980(昭和55)	銅版、紙	74.5×50.6	
112	深沢 幸雄	ティオテワカンの原野(メキシコ市にて)	1963(昭和38)	銅版、紙	33.1×29.8	
113	野村 仁	哺乳類:犬	1994-96(平成6-8)	隕石、御影石、大理石	54×25×34	
114	野村 仁	ナスカの線画:犬	1996(平成8)	写真	41.9×44.8	
115	池垣 タダヒコ	カーペット掃除機「チチカカの女」	1996(平成8)	銅、半田、インク	82×28	
□ブラジル						
116	浜口 陽三	ブラジルの太陽	1971(昭和46)	石版、紙	27.5×45.5	
117	浜口 陽三	太陽	1971(昭和46)	油彩、キャンバス	38×54.6	
□コロンビア						
118~130	ガルシア・マクリーン、クララ	『百年以上の孤独』(13点組)	2002-04(平成14-16)	亜鉛版、紙	各38×28.5	
131	石垣 栄太郎	キーバ島の反乱	1933(昭和8)	油彩、キャンバス	181.5×139	

No. 作者名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	備考【出品期間】
---------	-----	-----	-------	---------	----------

- ジャマイカ
132 杉本 博司 カリブ海 ジャマイカ 1980 (昭和55) 写真 40.1×54.6
□大西洋へ
133~139 バラディーノ、ミンモ 『アトランティコ』(7点組) 1987 (昭和62) リノカット・コラグラフ、紙 各188.5×58.5

■ヨーロッパ到着
□ヨーロッパ到着
140~149 浜田 知明 『わたしのヨーロッパの印象記』(10点組) 1969-71 (昭和44-46) 銅版、紙
140 ロンドン塔 (18×20.6)、141 鏡 (25×14.1)、142 騎士と鏡と女 (17.3×18)、143 騎士たちは静かに眠る (18.2×21)、
144 地下牢 (23.7×16.4)、145 ドーバー海峡 (26.7×12.3)、146 パリの壁から (16.3×26.5)、147 グランプラス (23.8×16.3)、
148 フランドル伯城 (23.4×17.6)、149 ウィーン (13.3×26.6)

- アイルランド
150 ダイク、ウイラー、ヴァン アイルランド 1979 『ジョナス・メカスの 映画美術館のためのポートフォリオ』 1982 (昭和57) 写真 30.2×25
151 ミロ、ジョン 老アイルランド人 1969 (昭和44) 銅版、紙 106.5×70.4
152 クリスト 包まれた遊歩道/グプリンのプロジェクト 1983 (昭和58) リトグラフ・布・紙 71.1×111.9
153 フルトン、ハミッシュ ヒーピースタウン・ケルン 1986 (昭和61) 写真・テキスト 119.5×137.3
□イギリスへ
154~163 ダイン、ジム 『ドリアン・グレイの肖像』(10点組) 1968 (昭和43) 石版・銅版、紙
154 鮎のスカーフをつけたドリアン・グレイ (44.6×30.9)、155 ホース・ランプ (41×30.8)、156 黒い革のスーツをきたバジル (37×27.5)、
157 化粧室のシビル (25×24)、158 サテン・ハートのための赤いデザイン (38.2×15.3) 【前期】
159 極彩色の細長いビニール・ケープをつけたドリアン・グレイ (41×23)、160 赤いピアノ (44.1×31)、
161 ドリアン・グレイの指輪のための習作 (32.9×13.6)、162 阿片窟のドリアン・グレイ (32.9×13.6)、
163 ドリアン・グレイの胃の刻印 (42.7×28.3) 【後期】

- 164 木村 秀樹 BANK OF ENGLAND 1988 (昭和63) シルクスクリーン、紙 160.3×130
165 三木 辰夫 ギャンブリング 1930-33(昭和5-8) 銅版、紙 12.6×23.7
166 吉田 克朗 London 25 (Lower Grosvenor pl.) 1975 (昭和50) 銅版、紙 43.7×31.6
167 ホックニー、デヴィッド パンドン・ホール 1983 (昭和58) 写真 124.4×162.9
168 バターソン、サイモン 大熊座 1992 (平成4) リトグラフ、紙 109.3×134.7×5.2
169 アックリング、ロジャー ノーフォーク 1988 (昭和63) 木、太陽光線 69.2×5×3.9
170 アックリング、ロジャー ウェイボーン 1993 (平成5) 木、太陽光線 59.8×40.2×3.9
171 アックリング、ロジャー オークネイ諸島ハリス島 1994 (平成6) 木、太陽光線 26.5×17.7×2
172 フルトン、ハミッシュ プレコン・ビーコンズ 1987 (昭和62) 写真・テキスト 119.6×137.6×2

- フランスへ
173 フルトン、ハミッシュ ラガジャー 1987 (昭和62) 写真・テキスト 147×119.2×2.2
174 梅原 龍三郎 小川 (ブルターニュ風景) 1909 (明治42) 油彩、キャンバス 24.6×32.4
175 山本 鼎 ブルターニュの小湾 1913 (大正2) 木版、紙 15.2×21.7
176 山本 鼎 ブルターニュの入江 1918 (大正7) 木版、紙 24.3×31.9
177 間部 時雄 キャンペーン 1925 (大正14) 頃 銅版、紙 15.3×23.3
178 保田 龍門 宿の窓より (オンフルール風景) 1922 (大正11) 油彩、キャンバス 46×54
179 川口 軌外 巴里モンマルトル 1920 (大正9) 頃 油彩、板 33×23.8
180 永瀬 義郎 Paris 肖像 (エッフェル塔) 1930 (昭和5) 木版、紙 29×20.2
181 小野 忠重 パリの屋根 1964 (昭和39) 木版、紙 27×47.8
182 麻生 三郎 巴里風景 1938 (昭和13) 油彩、板 33×40.9
183 駒井 哲郎 肖像ジルドレ 1948 (昭和23) 銅版、紙 11.3×7.5
184 ブラック、ジョルジュ ヴァランジュヴィル 1956 (昭和31) 銅版、紙 25.6×64.3
185 児島 善三郎 「パリ風景」 1925-28 (大正14-昭和3) 頃 バステル、紙 20.7×27.1
186 島村 三七雄 カジノ・ド・パリの踊り子 1936 (昭和11) 油彩、キャンバス 80.5×65

- 187 ロートレック、アンリ・ド・ アリスティド・ブリュアン 1893 (明治26) リトグラフ、紙 139×99.8
188 ニコソーン、ウイリアム サラ・ベルナル『12人の肖像』より 1899 (明治32) 木版、紙 24.4×22.8
189 ミロ、ジョン ガルガンチュア 1978 (昭和53) 銅版、紙 159.5×120
190 高島 達四郎 巴里 1953 (昭和28) 油彩、キャンバス 46×54.7
191 ヴラマンク、モーリス・ド 制作年不詳 油彩、キャンバス 38.5×46.3
192 保田 龍門 教室 1920-23 (大正12) 頃 油彩、板 24×33
193 裕 伊之助 ブザンソン風景 1924 (大正13) 油彩、キャンバス 50.1×60.8
194 ロート、アンドレ ミルマンドの城壁 制作年不詳 油彩、キャンバス 33×24
195 木下 義謙 カーニュ風景 1929 (昭和4) 油彩、キャンバス 62×73.2
196 シニヤック、ポール [フランスの港] 1929-30 (昭和4-5) 頃 水彩、鉛筆、紙 28.7×44.3
197 裕 伊之助 南仏の田舎娘 1928 (昭和3) 頃 木版、紙 36.3×27.8
198 岡本 信治郎 ヴアン・ゴッホ像 1969 (昭和44) シルクスクリーン、紙 64.6×51.8
199 デュフィ、ラウル 窓辺 1926 (大正15-昭和元) 水彩、紙 55×42.9
200 木下 義謙 婦人半身像 1928 (昭和3) 鉛筆・水彩、紙 36.6×27
201 岡本 信治郎 耳のない肖像 1969 (昭和44) シルクスクリーン、紙 62.7×50

No. 作者名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	備考【出品期間】
---------	-----	-----	-------	---------	----------

- 202 村井 正誠 ゴルフジュアンの朝 1934 (昭和9) 油彩、キャンバス 145.3×112.1
203 マルケ、アルベール 青い霧 1943 (昭和18) 油彩、キャンバス 27×41
■ヨーロッパを巡る
□スペイン
204 野長瀬 晚花 スペインの田舎の子供 1924 (大正13) 顔料、寒冷紗 135.6×103.1
205~208 ゴヤ、フランシスコ 『タクロマキア〔闘牛技〕』より (4点) 1816 (文化13) 銅版、紙
205 槍や半月槍、パンデーリヤ、その他の武器で牡牛の膝を切ろうとする群衆 (21×31)、
206 マドリードでのホアニート・アビニャーニの機敏さと大胆さ (20.3×30.7)、
207 サラゴサの闘牛場でのマルティンチョの無謀 (20.4×31.2)、
208 マドリードの闘牛場の屋外席での恐ろしい出来事とレホーン市長の死 (21.0×31.8)
□オランダ
209 石井 柏亭 マラガにて 1912 (明治45) 鉛筆、紙 19×25.2
210 ピカソ、パブロ ミトロマシー 1935 (昭和10) 銅版、紙 49.5×69
211 関本 信治郎 ミトールの死 1975 (昭和50) シルクスクリーン、紙 44.4×36.3
212 石垣 栄太郎 人民戦線の人々 1937 (昭和12) 頃 油彩、キャンバス 148.5×207
213 カロ、アンソニー カタロニアのふぶき (カタロニア・シリーズ) 1987-88 (昭和62-63) 鉄 104.5×60×72
214~216 川西 英 版画集『南蛮曲 II』より (3点) 1928 (昭和3) 木版、紙
217 川西 英 カルメン 第四幕 1934 (昭和9) 木版、紙 24.7×38.5
218 利根山 光人 ドン・キホーテ 1985 (昭和60) 石版、紙 53.8×41.2
□オランダ
219 フアン・ゴッホ、フィンセント マラガにて 1885 (明治18) 石版、紙 26.5×31.9
220 泉 茂 さまよえるオランダ人 1954 (昭和29) 銅版、紙 36.3×29.9
221 フアンタン=ラトゥール、アンリ 幽靈船 (さまよえるオランダ人) 1886 (明治19) 石版、紙 21.9×15
□ラトビア
222 ロスコ、マーク 第三幕 天に召されるゼンタとオランダ人
□ドイツ
223 カロ、アンソニー 赤の上の黄褐色と黒 1957 (昭和32) 油彩、キャンバス 176.2×136.6
224 野田 哲也 ライン川流域 1986-87 (昭和61-62) ブロンズ、真鍮 100×88.5×37
225 リンク、サイモン 日記1980年9月6日 ガルムシュタットにて 1980 (昭和55) 木版・シルクスクリーン、紙 44.8×64.2
226 クリスト アート・コレクション1986年10月 1987 (昭和62) 油彩、キャンバス 182.8×182.8×3.2
227 恩地 孝四郎 梱包されたライヒスターク/
ベルリンのプロジェクト 1986 (昭和61) 鉛筆・木炭他、紙 147.9×166.7
228 旭 正秀 サーカス (ハーゲンベック・サーカスの印象) 1933 (昭和8) 木版、紙 44.3×34.1
チャーガルデンの秋 1933 (昭和8) 木版、紙 23.4×16.2
『旭正秀滞欧記念作品集』
□デンマーク
229 山本 容子 ハムレット 1996 (平成8) 銅版、紙 19.8×59.8
□ロシア (ソヴィエト)
230 小野 忠重 レニングラードの浮氷 1962 (昭和37) 木版、紙 45.2×60.2
231 小野 忠重 レニングラード早春 1961 (昭和36) 木版、紙 31×45
□ポーランド
232 スノッホ、マクシミリアン 眺め No.1 1983 (昭和58) リノカット、紙 64.7×49.5
233 スノッホ、マクシミリアン 眺め No.6 1992 (平成4) リノカット、紙 61.2×47.2
234 ヤウンドリシャック、イェルジー ヤノの家 1990 (平成2) リノカット、紙 48.8×63
□チエコ
235 クルハーネク、オルドジク 密告者の肖像 1990 (平成2) 石版、紙 65.2×49
236 クルハーネク、オルドジク 尋問 1990 (平成2) 石版、紙 65.9×50.6
237 クルハーネク、オルドジク 法廷 1990 (平成2) 石版、紙 66.1×50.7
238 クルハーネク、オルドジク リュージン刑務所321房 1990 (平成2) 石版、紙 66×50.8



「美術百科「世界一周」の巻」展示風景

No.	作者名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	備考【出品期間】
-----	-----	-----	-----	-------	--------	----------

□イタリア						
239	村井 正誠	ロンバルディア	1929(昭和4)頃	油彩、キャンバス	80.8×66	
240	村井 正誠	アカデミア・ベル・アルチ	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	81.2×130.2	
241	寺崎 武男	遼河	制作年不詳	銅版、紙	16.8×24.2	
242	川口 軌外	イタリヤの海	1920(大正9)頃	油彩、板	21.5×27	
243	関野 準一郎	フィレンツェの屋根	1959(昭和34)	木版、紙	81.2×55.7	【前期】
244	旭正 秀	ピサの斜塔春景『旭正秀滞欧記念作品集』	1933(昭和8)	木版、紙	22.5×16.2	【後期】
245	荒川 修作	意味の分裂	1970-71(昭和45-46)	シルクスクリーン、紙	101.6×76	【前期】
246	荒川 修作	最後の次に	1967-71(昭和42-46)	シルクスクリーン、紙	54.7×16	【後期】
247	玉置 正敏	「モナリザの微笑」という情報エントロピーの増加の不安をみて微笑するモナリザ	1977(昭和52)	油彩、コラージュ、紙	71×49.9	
248	保田 春彦	階段のある広場・SIRACUSA	1973(昭和48)	ステンレススチール	9×75×75	
249	保田 春彦	階段のある広場・TAORMINA	1973(昭和48)	ステンレススチール	11.5×75×75	
250	神中 糸子	風景	1878-80(明治11-13)	鉛筆、紙	15.5×23.4	【前期】
251	神中 糸子	風景(ローマ水道跡)	1878-80(明治11-13)	鉛筆、紙	12.5×23.5	【後期】
252	保田 龍門	ティツィアーノ《キュビドの教育》部分模写	1922(大正11)	油彩、キャンバス	99.3×99.3	
253	玉置 正敏	飛びだしたゼノンの矢	1979(昭和48)	油彩、キャンバス	125.9×326.5	
254	川口 軌外	ティツィアーノ《ヴィーナス》模写	1920(大正9)頃	油彩、キャンバス	93.5×138.4	
255	川口 軌外	少女と貝殻	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	167.3×267.2	

■中近東から東南アジアへ

□オリエント

256	村井 正誠	ポウトレ・アラブ	1930(昭和5)	油彩、キャンバス	72.6×60.8	
257	ニコルソン、ベン	トルコ風の形	1967(昭和42)	銅版、紙	37.9×25.5	
258	ニコルソン、ベン	2つのトルコ風の形のあいだのトルコ風の日時計	1967(昭和42)	銅版、紙	37.8×52.9	
259~265	ニコルソン、ウイリアム	『12人の肖像』より(7点)	1899(明治32)	木版、紙		
260		259 ヴィクトリア女王(25.1×22.8)、260 プリンス・オブ・ウェールズ(エドワード皇太子)(26.1×23.1)、				
261		261 W. E. グラッドストーン(26.1×23.1)、262 ビスマルク(25×23.2)【前期】				
262		263 セシル・ローズ(26.5×25)、264 ロバーツ卿(26.3×24.9)、265 ラドヤード・キpling(30.7×24.3)【後期】				
263	加納 光於、大岡 信	アララットの船あるいは空の蜜	1971-72(昭和46-47)	木、金属、ガラスほか	68×44.7×23.6	
264	□イスラエル					
265	野田 哲也	日記1985年12月24日	1985(昭和60)	木版・シルクスクリーン、紙	74×105	
266		イスラエル エルサレムにて				
267	岸田 効生	怒れるアダム『天地創造』	1914(大正3)[1975刷]	銅版、紙	12.6×12.6	
268	浜田 知明	りんご	1984(昭和59)	銅版、紙	20.3×23	【前期】
269	旭 正秀	マリヤ	1928(昭和3)	木版、紙	36.3×22	【前期】
270	旭 正秀	四人の使徒	1933(昭和8)	木版、紙	28.3×37.5	【前期】
271	旭 正秀	アダムとイブ	制作不詳	石版、紙	46.3×35.8	【後期】
272	桂 ユキ	[キリスト]	1934(昭和9)	木版、紙	20.6×16.5	【後期】
273	朝井 清	[羊を助ける図]	制作年不詳	木版、紙	21×12.5	【後期】
274	朝井 清					
275	□シラク、シリア					
276	川口 軌外	ティントレット《スザンナの水浴》模写	1920(大正9)頃	油彩、キャンバス	97×145.9	
277~281	ステラ、フランク	『シンジェルリ』のヴァリエーション(6点組)I, Ia, III [前期]、II, IIa, IV [後期]	1977(昭和52)	石版・シルクスクリーン、紙	各63.5×63.5	
282	ステラ、フランク	ラッカ III	1968(昭和43)	アクリル絵具、キャンバス	304×760	エントランスに展示
283	□エジプト					
284	永瀬 義郎	ピラミッド『東洋の旅』	1930(昭和5)	木版、紙	20.2×29.3	【前期】
285	武井 武雄	埃及(紀元前3000年頃)『アオイ書房十週年記念書窓版画帖十連聚其六 宇宙説』	1942(昭和17)	銅版、紙	14.1×11.8	【前期】
286	旭 正秀	常夏のピラミッド『旭正秀滞欧記念作品集』より	1933(昭和8)	木版、紙	22.9×16	【後期】
287	永瀬 義郎	スエズの日没『東洋の旅』より	1930(昭和5)	木版、紙	20×28.8	【後期】
288	玉置 正敏	盲人になったユーリップ氏	1978(昭和53)	油彩、キャンバス	162×260	
289	□アラビア					
290	村井 正誠	アラブの窓	1929(昭和4)	油彩、キャンバス	80.9×196.5	
291	□インド					
292	小野 忠重	空港の片隅 ニューデリー	1962(昭和37)	木版、紙	36×45.3	【前期】
293	永瀬 義郎	シバの踊り(インド回想)『東洋の旅』	1930(昭和5)	木版、紙	31.2×22.6	【後期】
294	横尾 忠則	『聖シャンバラ』より(6点)	1974(昭和49)	オフセット・リトグラフ・シルクスクリーン、紙	各86.2×57.5	
295		291 土其地、292 土其人、293 火其地【前期】				
296		294 火其天、295 水其地、296 空其天【後期】				

No.	作者名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	備考【出品期間】
-----	-----	-----	-----	-------	--------	----------

297	チャンドワドカー、窓-II	窓-II	1990(平成2)	リノエッティング、紙	238×137.5	
298	プラカーシュ	together again	1979(昭和48)	銅版、紙	55.9×26.2	【前期】
299	池田 良二	varanasi	1980(昭和55)	銅版、紙	53.5×25.9	【前期】
300	池田 良二	Scattered Seeds	1979(昭和54)	銅版、紙	79.1×56.2	【後期】
301	池田 良二	Ancestors	1980(昭和55)	銅版、紙	44.4×25.3	【後期】
302	宮永 理吉	天竺から	1987(昭和62)	磁	35×14×14	
303	イスラム、モニール	透明な心	1988(昭和63)	銅版、紙	64×97.5	
304	□タイ	コニウドンヴィット、タヴォン	儀式における象徴 22	シルクスクリーン・木版・コラージュ、紙	68×78.2	【前期】
305		コニウドンヴィット、タヴォン	儀式における象徴 1992/3	シルクスクリーン・木版・コラージュ、紙	78.7×80	【後期】
306	オラニウェズ、ニバン	1/1988	1988(昭和63)	銅版、紙	95.2×68	
307	アビチャート クリアンクライ	沈黙のゲーム 3	1988(昭和63)	銅版、紙	60.1×86.4	【前期】
308	ウジット	沈黙のゲーム 16	1990(平成2)	銅版・ペーパーブロック・手彩色、紙	62.7×91.7	【後期】
309	永瀬 義郎	マレー美人『東洋の旅』より	1930(昭和5)	木版、紙	31×22.2	【後期】
310	□マレーシア	マレー美人『東洋の旅』より	1930(昭和5)	木版、紙	31×22.2	【後期】
311	前田 常作	ボロブドール幻想(観想マンガラ図シリーズ)	1977-78(昭和52-53)	油彩、キャンバス	100×65.5	

■中国・韓国を巡る

311	□中国	海口・ヴェニスB	1941(昭和16)	銅版、紙	20.6×11.5	
312		香港夜景『東洋の旅』	1930(昭和5)	木版、紙	22×28.5	【前期】
313		支那婦人	1917(大正6)	木版、紙	30×24.5	【後期】
314		山本 鼎	台北東門(台湾)『新日本百景』	木版、紙	29.5×22.4	【前期】
315		恩地 孝四郎	1939(昭和14)	木版、紙	200.2×136.6	
316		中村 不折	白頭翁	油彩、キャンバス	155.5×195.5	
317		川口 軌外	地維	油彩、キャンバス	17.8×15.2	【前期】
318		山本 鼎	野鶴	油彩、キャンバス	24×30.8	【前期】
319		逸見 享	上海風景	木版、紙	23.9×30.2	【前期】
320		武藤 完一	蘇州風景</			

展覧会事業 常設展

2005(平成17)年度 常設展一覧

No.	作者名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	備考【出品期間】
■日本到着、和歌山までもう少し						
348	船崎 光治郎	海馬鳴(樺太)『新日本百景』	1940(昭和15)	木版、紙	30×22.3	【前期】
349	平塚 遼一	北海道のある海岸『HANGA』3	1924(大正13)	木版、紙	11.3×15.7	【後期】
350	杉本 博司	日本海 北海道 I	1988(昭和63)	写真	42.2×54.4	
351	池田 良二	Space of foggy ocean(海霧の空間)	1990(平成2)	銅版、紙	114.6×179.7	
352	柿原 俊男	横浜港(神奈川県)『新日本百景』	1939(昭和14)	木版、紙	22.5×30.2	【前期】
353	下澤 木鉢郎	朝富士(焼津)	制作年不詳	木版、紙	30.3×39.6	【前期】
354	諫訪 兼紀	帝国議事堂『新東京百景』	1932(昭和7)	木版、紙	25×17.3	【前期】
355	藤森 静雄	二月・濠端の残雪(麹町区) 『大東京十二景』	1933(昭和8)	木版、紙	24.6×32.3	【前期】
356	斎藤 清	京の壁	1960(昭和35)	木版、紙	48.6×78.8	【前期】
357	橋口 五葉	京都三条大橋	1920(大正9)	木版、紙	28.4×44.5	【前期】
358	龜井 玄兵衛	静まれる四条街頭	1935(昭和10)頃	木版、紙	17.6×24.2	【前期】
359	藤森 静雄	十一月・羽田の秋(東京飛行場) 『大東京十二景』	1932(昭和7)	木版、紙	24×31.7	【後期】
360	松永 茂	芦の初秋(神奈川県)『新日本百景』	1940(昭和15)	木版、紙	23×30.2	【後期】
361	深澤 索一	裏富士(山梨県)『新日本百景』	1939(昭和14)	木版、紙	22.7×30.6	【後期】
362	小泉 発巳男	新議事堂の影	1934(昭和9)	木版、紙	28.8×37.5	【後期】
363	旭 泰宏	三条大橋の雨(京都市)『新日本百景』	1939(昭和14)	木版、紙	22.8×30.2	【後期】
364	徳力 富吉郎	祇園町の夜更	1933(昭和8)年	木版、紙	30.8×42.7	【後期】
365	麻田 辨次	雪の疏水	制作年不明	木版、紙	21.4×28.4	【後期】
366	宮永 理吉	東山の僧堂	1983(昭和58)	陶	40.5×22.5×17	
367	八田 高容	八坂之雪	1922(大正11)	顔料、絹	169.2×69.5	【前期】
368	山口 八九子	橋立風景	1921(大正10)	顔料、絹	87×117	【後期】
369~373	泉 茂、澤野井信夫	詩画集『大阪』(小野十三郎詩)より(5点) 『神戸風景』より(3点)	1955(昭和30)	銅版、紙	24×31.7	【後期】
374	吉田 尚史	泉 茂 369 葦の地方(一)(13.7×17.2)、370 わがたてるところより(17.7×23.9)				
375	徳力 富吉郎	澤野井 信夫 371 貨物列車(17.2×21.4)、372 妖精の翅(14.7×19)、373 大怪魚ーどこもここも(17.7×23.9)				
376	林 武	ときめき・EST-1	1990(平成2)	ネコプリント、キャンバス	162.3×227.5	
377	川西 英	道頓堀の夜	制作年不詳	木版、紙	22.5×30	【前期】
378	川西 英	神戸風景	1924(大正13)	油彩、キャンバス	45.8×61	
379~381	春村 ただを	古道具屋 『神戸港(兵庫県)『新日本百景』 『神戸風景』より(3点)	1941(昭和16) 1940(昭和15) 1927(昭和2)	木版、紙 木版、紙	46.2×60 22.8×30	【前期】 【後期】
382	新田 穣	379 メリケン波止場(13.8×19.1)【前期】				
383	新田 穣	380 K造船所遠望(13.7×21.1)、381 神戸タワー(23×13.9)【後期】				
384	新田 穣	汐岬『創作木版 南紀風景』	1937(昭和12)	木版、紙	8.8×14	【前期】
385	新田 穣	勝浦港外風景	1932(昭和7)	木版、紙	12×13.4	【前期】
386	新田 穣	[熊野川風景]	1932(昭和7)頃	木版、紙	12×13.4	【前期】
387	新田 穣	那智『創作木版 南紀風景』	1937(昭和12)	木版、紙	9×14.2	【後期】
388	前田 藤四郎	勝浦風景	1932(昭和7)	木版、紙	15.5×22.9	【後期】
389	前川 千帆	忘帰洞	1932(昭和7)	木版、紙	11.4×14.5	【後期】
390	原 勝四郎	白濱(和歌山県)『新日本百景』	1940(昭和15)	木版、紙	25.3×32.7	【前期】
391	原 勝四郎	瀧八丁(和歌山懸)『新日本百景』	1938(昭和13)年	木版、紙	22.8×30.7	【後期】
392	川口 軌外	白良浜	制作年不詳	油彩、板	38×45.3	
393	川口 軌外	円月島	制作年不詳	油彩、板	43×52	
394~414	ヨーディシェ、ミモ	岩瀬峡 『wakayama』(21点組) wakayama	1934(昭和9) 1963(昭和38)頃 2004(平成16)	油彩、板 油彩、キャンバス 写真	27×40.8 46.2×53.4 各75×75	
415	村井 正誠	394 kansai international airport, 395 wakayama city, 396 wakayama city, 397 kumano, 398 kumano, 399 koyasan koya town, 400 koyasan koya town, 401 koyasan, 402 wakayama castle, 403 wakayama castle, 404 wakayama castle, 405 kumano, 406 koyasan, 407 koyasan, 408 kumano, 409 inami town, 410 koza town, 411 mihami town, 412 mihami town, 413 shirahama town, 414 whale ship museum 紀州	1993(平成5)	油彩、キャンバス	193.9×258.8	
416	北堅 吉彦	山並-senkoushu(鮮光朱)	1999(平成11)	油彩、キャンバス	170×1020	
417	北堅 吉彦	熊野-moegi(萌黄)(3点組)	1999(平成11)	油彩、キャンバス	階段踊り場に展示、作家の好意により保存 各270×320×320	
					エントランスホールに展示、作家の好意により保存	

観覧料：一般310円(250)円、大学生210円(160)円

()は20名以上の団体料金、高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生(外国人就学生を含む)は無料

1. 『コレクション展 2005-春』出品リスト

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
1	宮崎 豊治	身辺モルデー類似化一	1984(昭和59)	鉄・漆着色	85×55×50	
2	北畠 吉彦	巣-tanpopoipo (蒲公英色)	1995(平成7)	油彩、キャンバス	365×115×8.9	
3	北畠 吉彦	絵画浴-kuro (黒)	1995(平成7)	油彩、キャンバス	260×210×6.5	
4	池垣 タダヒコ	カーペット掃除機「チカカの女」	1990(平成2)	銅・半田・インク	82×28×28	個人蔵
5	原田 要	絵画の庭-平遠 II	2002(平成14)	檸・顔料・他	82×95×232	個人蔵
6	中川 佳宣	monogram 98008	1988-99(平成10-11)	アクリル絵具・木・綿・他 (牛革・糸)	95×33×45	個人蔵
7	河崎 ひろみ	あらゆるものと小さなひとつのために 94-8	1994(平成6)	油彩、キャンバス	194×162	個人蔵
8	曾我 孝司	重力質-柱	1984(昭和59)	ブリキ・真鶴・塩化ビニールパイプ	230×45×1575	
9	孫 雅由	記憶の痕跡 P84-31	1984(昭和59)	フロックージュ・鉛筆、藁半紙	145.5×112	新収蔵作品
10	孫 雅由	記憶の痕跡 P84-33	1984(昭和59)	フロックージュ・鉛筆、藁半紙	145.5×112	新収蔵作品
11	孫 雅由	空間の間合い AC96-07	1996(平成8)	木炭・顔料・アクリルメディウム、綿布	194×391.5	新収蔵作品
12	野村 仁	午前のアナレンマ '90	1990(平成2)	Cプリント	90.6×90	
13	野村 仁	正午のアナレンマ '90	1990(平成2)	Cプリント	111.1×90	
14	野村 仁	午後のアナレンマ '90	1990(平成2)	Cプリント	90.5×90	
15	川島 慶樹	三色	1989(平成元)	顔料・アクリル絵具、木・鉄	210×260×50	
16	北辻 良央	WORK(Nature morte au panier)1	1976(昭和51)	エッチング、紙	39.6×49.4	
17	北辻 良央	WORK(Nature morte au panier)2	1976(昭和51)	エッチング、紙	39.7×49.4	
18	北辻 良央	WORK(Gogh)I	1978(昭和53)	エッチング、紙	19.9×15.5	
19	北辻 良央	WORK(Gogh)II	1978(昭和53)	エッチング、紙	19.7×15.5	
20	北辻 良央	WORK(Cézanne)I	1978(昭和53)	エッチング、紙	19.2×15.1	
21	北辻 良央	WORK(Cézanne)II	1978(昭和53)	エッチング、紙	19.1×15.6	
22	木村 秀樹	Pencil 2-1	1974(昭和49)	シルクスクリーン、紙	26.3×35.4	
23	木村 秀樹	Pencil 2-2	1974(昭和49)	シルクスクリーン、紙	26.3×28.3	
24	木村 秀樹	Pencil 2-3	1974(昭和49)	シルクスクリーン、紙	26.5×23.9	
25	森口 宏一	ポッティシェルリ・ヴィナスの誕生・より	1986(昭和61)	シルクスクリーン、アクリル・ステンレス	87.9×134.4×10.5	
26	森村 泰昌	美術史の娘、王女A	1990(平成2)	Cプリント	210×160	
27	福岡 道雄	石をおとす (2)	1977(昭和52)	黒色強化ポリエスチル・木	95×60×45	
28	向井 修二	作品	1965(昭和40)	油彩、キャンバス	183×137	
29	白髪 一雄	地察星 青眼虎	1961(昭和36)	油彩、キャンバス	194×130.6	
30	前川 強	作品	1963(昭和38)	油彩、麻布・キャンバス	162.5×130.5	
31	元永 定正	作品	1964(昭和39)	アクリル・小石・キャンバス	281×181.2	
32	松谷 武判	WORK-63-9	1963(昭和38)	ビニール接着剤・油彩・水彩、キャンバス	187×192	
33	大野 傲嵩	作品	1961(昭和36)	顔料・麻布・綿布	151.3×169.5	
34	三上 誠	荒地	1960(昭和35)	インク・蠟・顔料、紙	152×121.5	
35	三上 誠	環・経絡	1967(昭和42)	顔料、紙	120.9×179.1	
36	野村 耕	生成	1959(昭和34)	墨・彩色、紙	150.2×77.8	
37	野村 耕	律	1964(昭和39)	カシュー・油彩・紙型・板	151.5×90.7	
38	下村 良之介	夜の曲	1951(昭和26)	顔料、紙	121×121	
39	星野 眞吾	寢中の作品 A	1965(昭和40)	顔料、紙	180.6×89.5	



「コレクション2005-春」展示風景

■関西の戦後美術

1	宮崎 豊治	身辺モルデー類似化一	1984(昭和59)	鉄・漆着色	85×55×50	
2	北畠 吉彦	巣-tanpopoipo (蒲公英色)	1995(平成7)	油彩、キャンバス	365×115×8.9	
3	北畠 吉彦	絵画浴-kuro (黒)	1995(平成7)	油彩、キャンバス	260×210×6.5	
4	池垣 タダヒコ	カーペット掃除機「チカカの女」	1990(平成2)	銅・半田・インク	82×28×28	個人蔵
5	原田 要	絵画の庭-平遠 II	2002(平成14)	檸・顔料・他	82×95×232	個人蔵
6	中川 佳宣	monogram 98008	1988-99(平成10-11)	アクリル絵具・木・綿・他 (牛革・糸)	95×33×45	個人蔵
7	河崎 ひろみ	あらゆるものと小さなひとつのために 94-8	1994(平成6)	油彩、キャンバス	194×162	個人蔵
8	曾我 孝司	重力質-柱	1984(昭和59)	ブリキ・真鶴・塩化ビニールパイプ	230×45×1575	
9	孫 雅由	記憶の痕跡 P84-31	1984(昭和59)	フロックージュ・鉛筆、藁半紙	145.5×112	新収蔵作品
10	孫 雅由	記憶の痕跡 P84-33	1984(昭和59)	フロックージュ・鉛筆、藁半紙	145.5×112	新収蔵作品
11	孫 雅由	空間の間合い AC96-07	1996(平成8)	木炭・顔料・アクリルメディウム、綿布	194×391.5	新収蔵作品
12	野村 仁	午前のアナレンマ '90	1990(平成2)	Cプリント	90.6×90	
13	野村 仁	正午のアナレンマ '90	1990(平成2)	Cプリント	111.1×90	
14	野村 仁	午後のアナレンマ '90	1990(平成2)	Cプリント	90.5×90	
15	川島 慶樹	三色	1989(平成元)	顔料・アクリル絵具、木・鉄	210×260×50	
16	北辻 良央	WORK(Nature morte au panier)1	1976(昭和51)	エッチング、紙	39.6×49.4	
17	北辻 良央	WORK(Nature morte au panier)2	1976(昭和51)	エッチング、紙	39.7×49.4	
18	北辻 良央	WORK(Gogh)I	1978(昭和53)	エッチング、紙	19.9×15.5	
19	北辻 良央	WORK(Gogh)II	1978(昭和53)	エッチング、紙	19.7×15.5	
20	北辻 良央	WORK(Cézanne)I	1978(昭和53)	エッチング、紙	19.2×15.1	
21	北辻 良央	WORK(Cézanne)II	1978(昭和53)	エッチング、紙	19.1×15.6	
22	木村 秀樹	Pencil 2-1	1974(昭和49)	シルクスクリーン、紙	26.3×35.4	
23	木村 秀樹	Pencil 2-2	1974(昭和49)	シルクスクリーン、紙	26.3×28.3	
24	木村 秀樹	Pencil 2-3	1974(昭和49)	シルクスクリーン、紙	26.5×23.9	
25	森口 宏一	ポッティシェルリ・ヴィナスの誕生・より	1986(昭和61)	シルクスクリーン、アクリル・ステンレス	87.9×134.4×10.5	
26	森村 泰昌	美術史の娘、王女A	1990(平成2)	Cプリント	210×160	
27	福岡 道雄	石をおとす (2)	1977(昭和52)	黒色強化ポリエスチル・木	95×60×45	
28	向井 修二	作品	1965(昭和40)	油彩、キャンバス	183×137	
29	白髪 一雄	地察星 青眼虎	1961(昭和36)	油彩、キャンバス	194×130.6	
30	前川 強	作品	1963(昭和38)	油彩、麻布・キャンバス	162.5×130.5	
31	元永 定正	作品	1964(昭和39)	アクリル・小石・キャンバス	281×181.2	
32	松谷 武判	WORK-63-9	1963(昭和38)	ビニール接着剤・油彩・水彩、キャンバス	187×192	
33	大野 傲嵩	作品	1961(昭和36)	顔料・麻布・綿布	151.3×169.5	
34	三上 誠	荒地	1960(昭和35)	インク・蠟・顔料、紙	152×121.5	
35	三上 誠	環・経絡	1967(昭和42)	顔料、紙	120.9×179.1	
36	野村 耕	生成	1959(昭和34)	墨・彩色、紙	150.2×77.8	
37	野村 耕	律	1964(昭和39)	カシュー・油彩・紙型・板	151.5×90.7	
38	下村 良之介	夜の曲	1951(昭和26)	顔料、紙	121×121	
39	星野 真吾	寢中の作品 A	1965(昭和40)	顔料、紙	180.6×89.5	

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
40~43	泉 茂、澤野井 信夫	詩画集『大阪』(小野 十三郎詩)より (4点)	1955(昭和30)	エッチング、紙		
40	泉 茂	葦の地方 (一)	(13.7×17.2)	リトグラフ、紙	37.1×52	
41	泉 茂	わがたてるところより (17.7×23.9)		油彩、板	129.9×91	
42	澤野井 信夫	貨物列車 (17.3×21.4)		石版、紙	40.5×29	
43	澤野井 信夫	大怪魚 (14.3×22.6)		水彩・コンテ、紙	65.9×50.6	
44	瑛 九	自転車	1956(昭和31)	油彩、キャンバス	50×60.8	

2. 『コレクション展2005-夏』出品リスト

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
■和歌山をめぐって						
100~106	テウニッセン, ベルト	『wakayama』より (7点) 02、05、13、19、21、22、24	2004 (平成16)	Cプリント	各50×64	新収蔵作品
■展示室外の作品						
128	野村 仁 アクリング, ロジャー	自転と重力 潮岬	1982-84(昭和57-59)	Cプリント 太陽光線、木	178×119.6 29.2×17.4×1	
129	アクリング, ロジャー	潮岬	1996 (平成8)	太陽光線、木	12×7.8×4	
130	アクリング, ロジャー	潮岬	1996 (平成8)	太陽光線、木	34.2×3.6×1.1	
131	アクリング, ロジャー	潮岬	1996 (平成8)	太陽光線、木		
■和歌山ゆかりの作家と日本の近代美術—明治末から大正へ						
1	柳原 義達	道標・鳩	1973 (昭和48)	ブロンズ	43×52×28	
2	ファンダンニラトゥール, アンリ	〔女性の肖像〕	19世紀末頃	油彩、キャンバス	61.5×74.3	個人蔵
3	神中 糸子	海岸風景	1888-92 (明治21-25)	油彩、キャンバス	38.0×80.4	
4	中村 不折	白頭翁	1907 (明治40)	油彩、キャンバス	200.2×136.6	受託作品
5	鹿子木 孟郎	パイプを持つ男	1906 (明治39)	油彩、キャンバス	79.6×64	
6	香山 小鳥	風景	1911 (明治44)	油彩、板	22.7×14.6	
7	恩地 孝四郎	海の女	1912(明治45・大正元)	油彩、キャンバス	45×33.3	
8	田中 恭吉	あるお雛妓	制作年不詳	油彩、板	32.8×23.4	
9	久本 信男	和服婦人	制作年不詳	油彩、キャンバス	41.4×27.7	
10	川口 軌外	イタリヤの海	1920 (大正9) 頃	油彩、板	21.5×27	
11	保田 龍門	少年	1912 (明治45・大正元)	油彩、キャンバス	45.8×60.6	
12	岸田 劇生	黒き帽子の自画像	1914 (大正3)	油彩、板	51.3×39.2	受託作品
13	萬 繁五郎	湘南風景	1922 (大正11) 頃	油彩、キャンバス	33.3×46	受託作品
14	山下 新太郎	臥婦	1910年代	油彩、キャンバス	79.5×140.7	受託作品
15	古賀 春江	海水浴	1922 (大正11)	油彩、キャンバス	91.3×117	
16	石垣 栄太郎	拳闘	1925 (大正14)	油彩、キャンバス	75.4×91.2	
17	川口 軌外	座する女	1927 (昭和2)	油彩、キャンバス	117×73	
18	川口 軌外	シルク	1927-29 (昭和2-4)	油彩、キャンバス	116.5×80.4	
19	米良 道博	無題	1935 (昭和10)	油彩、キャンバス	162.3×111.8	
20	川口 軌外	静物	1930 (昭和5)	油彩、キャンバス	91.1×116.6	
21	村井 正誠	ポウトレ・アラブ	1930 (昭和5)	油彩、キャンバス	72.6×60.8	
22	村井 正誠	姉妹	1930 (昭和5)	油彩、キャンバス	100.1×81.1	
23	村井 正誠	アカデミア・ベル・アルチ	1934 (昭和9)	油彩、キャンバス	72.7×90.9	
24	村井 正誠	パンチュール (赤い帽子)	1930 (昭和5) 頃	油彩、キャンバス	145.3×112.1	
25	村井 正誠	ゴルフジュアンの朝	1934 (昭和9)	油彩、キャンバス	91.0×116	
26	建島 大夢	百畳廊	1937-38 (昭和12-13)	油彩、キャンバス	89.4×145.8	
27	建島 大夢	形象 A	1939 (昭和14)	油彩、板	45.3×12.5×20	
28	高井 貞二	魔法使いの女	1923 (大正12)	ブロンズ	36×20×22	
29	鳥海 青児	恩師の顔	1939 (昭和14)	ブロンズ	112.5×145.8	
30	建島 大夢	想ひを	1935 (昭和10)	油彩、キャンバス	88×145.3	受託作品
31	川口 軌外	蘇州風景	1939 (昭和14)	油彩、キャンバス	168.5×45.5×40	
32	高井 貞二	夢	1939 (昭和14)	ブロンズ	165.7×267	
33	原 勝四郎	夏の海	1940 (昭和15)	油彩、キャンバス	129.4×158.7	
34	松本 純介	エミグラン트の街	1940 (昭和15)	油彩、キャンバス	90.3×73.2	
35	保田 龍門	道化	1941 (昭和16)	油彩、ボール紙	162.2×112.5	受託作品
36	野長瀬 晚花	三人	1943 (昭和18)	油彩、キャンバス	43×11.8×10.4	
37	吹田 草牧	裸婦立像	1939 (昭和14)	ブロンズ	154.5×51	
38	山口 八九子	さみたれのころ	1920 (大正9)	顔料、絹	127×42.1	
39	日高 昌克	南国之初夏	1919 (大正8) 頃	顔料、絹	138.8×49.9	
40	伊藤 草白	海近き畑	1920 (大正9)	顔料、絹	39.4×44.8	
41	狩野 光雅	草	1923 (大正12)	顔料、絹	41.9×51.4	
42	稗田 一穂	葡萄之図	1925 (大正14)	顔料、絹	175×229.1	
		雨後	1936 (昭和11)	顔料、絹	148.7×125.2	
		昼の波止場	1942 (昭和17)	顔料、紙		



「コレクション2005-夏」展示風景

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
■和歌山をめぐって						
100~106	テウニッセン, ベルト	『wakayama』より (7点) 02、05、13、19、21、22、24	2004 (平成16)	Cプリント	各50×64	新収蔵作品
107~127	ヨーディエ, ミンモ	『wakayama』(21点組) 107 kansai international airport, 108 Kansai international airport, 109 wakayama city, 110 wakayama city, 111 kumano, 112 kumano, 113 koyasan koya town, 114 koyasan koya town, 115 koyasan, 116 wakayama castle, 117 wakayama castle, 118 wakayama castle, 119 kumano, 120 koyasan, 121 koyasan, 122 kumano, 123 inami town, 124 koza town, 125 mihamo town, 126 mihamo town, 127 shirahama town, 128 whale ship museum	2004 (平成16)	写真	各75×75	新収蔵作品
128	野村 仁 アクリング, ロジャー	自転と重力 潮岬	1982-84(昭和57-59)	Cプリント 太陽光線、木	178×119.6 29.2×17.4×1	
129	アクリング, ロジャー	潮岬	1996 (平成8)	太陽光線、木	12×7.8×4	
130	アクリング, ロジャー	潮岬	1996 (平成8)	太陽光線、木	34.2×3.6×1.1	
131	アクリング, ロジャー	潮岬	1996 (平成8)	太陽光線、木	34.2×3.6×1.1	
■展示室外の作品						
132	フラナガン, バリー	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兔	1989 (平成元)	ブロンズ	230×187×128.5	
133	グレコ, エミオ	病人を看護する	1963 (昭和38)	ブロンズ	157×186.5×12	
134	クルーガー, バーバラ	無題 (私を覚えていて)	1988 (昭和63)	シルクスクリーン、ビニール	378.7×268.1×5	
135	スネルソン, ケネス	着地	1969 (昭和44)	ステンレス	250×1000×360	
136	ステラ, フランク	ラック III	1968 (昭和43)	アクリル、キャンバス	304×760	
137	井上 雅之	T-9216	1992 (平成4)	陶	216×246×179	
138	小河 朋司	COLOR TINT -RED AND BLUE-	1996 (平成8)	木、アクリル絵具、ミックスホワイト	240×25×20	
139	金子 潤	DANGO	1985 (昭和60)	陶	57×72×53	
140	ノグチ, イサム	空虚	1971-79 (昭和46-54)	ブロンズ	116×86×66	
141	保田 春彦	聚落を囲う壁 II	1994-95 (平成6-7)	鉄	60×127.5×45.2	
142	保田 春彦	球を覆う幕舎	1994 (平成6)	ステンレススチール	208×335×305	
143	北堅 吉彦	熊野-moegi (萌黄) (3点組)	1999 (平成11)	油彩、キャンバス	各270×320×320	作家の好むは娘
144	北堅 吉彦	山並-senkoushu (鮮光朱)	1999 (平成11)	油彩	170×1020	作家の好むは娘
145	秋山 陽	META-VOID	2004 (平成16)	陶	130×125×136	新収蔵作品
146	山口 牧生	かたむくかたち (A)	1984 (昭和59)	黒御影石、ベンガラ	180×76×51	
147	濱谷 明夫	翔 (2点組)	1998 (平成10)	レーヨン糸	各190×360×160	受託作品
148	建島 覚造	MANJI	1982 (昭和57)	ステンレススチール	270×170×75	

2. 『コレクション展2005-秋』出品リスト

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
43	シーガル, ジョージ	煉瓦の壁ぞいに歩く男	1988(昭和63)	石膏、木、アクリル絵具、他	264.6×359.9×270.4	
44	ソト, ヘススニアファエル	黄の縁とT	1985(昭和60)	木、金属、絵具	103.5×103.5×16.5	
45	ウェッセルマン, トム	写真のある寝室のプロンドのいたずら書き	1988(昭和63)	シルクスクリーン、ボード	146.2×170.5	
46	ボイル, マーク	黒いふち石の研究	1980-81(昭和55-56)	彩色、ファイバーグラス	182.4×183.2×11	
47	ロスコ, マーク	赤の上の黄褐色と黒	1957(昭和32)	油彩、キャンバス	176.2×136.6	
48	植木 茂	モードス	1949(昭和24)	木	57×27×20	
49	難波田 龍起	郊外	1951(昭和26)	油彩、キャンバス	53.2×45.8	
50	難波田 龍起	緑の空間	1960(昭和35)	油彩、キャンバス	91.4×117.2	
51	玉置 正敏	喪失する室内	1952(昭和27)	油彩、キャンバス	97×130	
52	建畠 覚造	地層(作品Aの23)	1951(昭和26)	ポリエステル	130×90×70	
53	村井 正誠	母子像	1954(昭和29)	油彩、キャンバス	146×113	
54	村井 正誠	座っている人	1958(昭和33)	油彩、キャンバス	162.6×131	
55	川口 軌外	集団	1956(昭和31)	油彩、キャンバス	160.6×112.3	
56	池田 龍雄	規格品	1956(昭和31)	油彩、キャンバス	145.8×111.4	
57	佐野 繁次郎	仲間3	1956(昭和31)	油彩、キャンバス	65.3×53	
58	オノサトトシノブ	A-11	1957(昭和32)	油彩、キャンバス	116×91.2	
59	山口 長男	速	1965(昭和40)	油彩、板	182.2×364.3	
60	杉全 直	きつこう	1962(昭和37)	油彩、キャンバス	161.4×130.5	
61	保田 春彦	36cm立方体	1951(昭和26)	ステンレス	38.5×36×36	
62	建畠 覚造	核	1956(昭和31)	セメント、鉄	63×53×43	
63	建畠 覚造	ORGAN	1962(昭和37)	セメント、石	95×123×23.8	
64	吉田 政次	New Star No.1	1956(昭和31)	木版、紙	60.6×48	
65	吉田 政次	空間No.17	1962(昭和37)	木版、紙	51.6×52	
66	浅野 弥衛	無題	1967(昭和42)	油彩、キャンバス	72.5×90.8	
67	麻生 三郎	ゆかひと	1977(昭和52)	油彩、キャンバス	130.3×162	受託作品
68	雜賀 紀光	和歌の浦	制作年不詳	油彩、キャンバス	45.3×53.3	受託作品
69	村井 正誠	自画像(太い線)	1974(昭和49)	油彩、キャンバス	162.2×130.6	
70	村井 正誠	黒い線	1962(昭和37)	油彩、キャンバス	193.8×259.3	
71	村井 正誠	風の中の除幕式	1968(昭和43)	油彩、キャンバス	194.5×259.8	
72	土谷 武	平たい虫	1978(昭和53)	鉄	50×120×140	
73	堀内 正和	人差指	1965(昭和40)	ブロンズ	50.2×15.8×15	
74	小野木 学	風景F	1970(昭和45)	油彩、キャンバス	129.8×130.4	
75	木村 賢太郎	[トルソ]	1963-70(昭和38-45)頃	石	74.8×46×43.9	
76	村井 正誠	強そうな人	1989(平成元)	油彩、キャンバス	227.4×182	
77	村井 正誠	紀州	1993(平成5)	油彩、キャンバス	193.9×258.8	
78	村井 正誠	黒い人II	1998(平成10)	油彩、キャンバス	227.8×182.2	
79	フランガン, バリー	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兎	1988(平成元)	ブロンズ	230×187×128.5	
80	グレコ, エミリオ	病人を看護する	1963(昭和38)	ブロンズ	157×186.5×12	
81	クルーガー, バーバラ	無題(私を覚えていて)	1988(昭和63)	シルクスクリーン、ビニール	378.7×268.1	
82	スネルソン, ケネス	着地	1969(昭和44)	ステンレス	250×1000×360	
83	ステラ, フランク	ラッカ III	1968(昭和43)	アクリル、キャンバス	304×760	
84	井上 雅之	T-9216	1992(平成4)	陶	216×246×179	
85	小河 朋司	COLOR TINT -RED AND BLUE-	1996(平成8)	アクリル絵具、ミックスホワイト・木	240×25×20	
86	金子 潤	DANGO	1985(昭和60)	陶	57×72×53	
87	建畠 覚造	MANJI	1982(昭和57)	ステンレススチール	270×170×75	
88	ノグチ, イサム	空虚	1971-79(昭和46-54)	ブロンズ	116×86×66	
89	濱谷 明夫	翔(2点組)	1998(平成10)	レーヨン糸	各190×360×160	
90	保田 春彦	聚落を閉う壁 II	1994-95(平成6-7)	鉄	60×127.5×451.2	
91	保田 春彦	球を覆う幕舎	1994(平成6)	ステンレススチール	208×335×305	
92	山口 牧生	かたむくかたち A	1984(昭和59)	黒御影石、ベンガラ	180×76×51	
93	北堅 吉彦	熊野-moegi(萌黄)(3点組)	1999(平成11)	油彩、キャンバス	各270×320×320 作家の好意により保存	
94	北堅 吉彦	山並-senkoushu(鮮光朱)	1999(平成11)	油彩、キャンバス	170×1020 作家の好意により保存	
95	秋山 陽	META-VOID	2004(平成16)	陶	130×125×136	



「コレクション2005-秋」展示風景

■エントランス周辺の作品—イントロダクション

1	フランガン, バリー	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兎	1989(平成元)	ブロンズ	230×187×128.5
2	小河 朋司	COLOR TINT -RED AND BLUE-	1996(平成8)	木、アクリル絵具、ミックスホワイト	240×25×20
3	北堅 吉彦	熊野-moegi(萌黄)(3点組)	1999(平成11)	油彩、キャンバス	各270×320×320 作家の好意により保存
4	北堅 吉彦	山並-senkoushu(鮮光朱)	1999(平成11)	油彩、キャンバス	170×1020 作家の好意により保存
5	グレコ, エミリオ	病人を看護する	1963(昭和38)	ブロンズ	157×186.5×12
6	クルーガー, バーバラ	無題(私を覚えていて)	1988(昭和63)	シルクスクリーン、ビニール	378.7×268.1
7	ステラ, フランク	ラッカ III	1968(昭和43)	アクリル、キャンバス	304×760
8	秋山 陽	META-VOID	2004(平成16)	陶	130×125×136
9	ノグチ, イサム	空虚	1971-79(昭和46-54)	ブロンズ	116×86×66

■和歌山ゆかりの作家と近代日本の美術—風景画と人物画を中心に

10	神中 糸子	海岸風景	1888-92(明治21-25)	油彩、キャンバス	38×80.4
11	国枝 金三	紀州風景	1919(大正8)	油彩、キャンバス	45.6×53.6
12	萬 鐵五郎	湘南風景	1922(大正11)頃	油彩、キャンバス	33.3×46
13	保田 龍門	風景	1918(大正7)	油彩、キャンバス	46×60.8
14	林 武	神戸風景	1924(大正13)	油彩、キャンバス	45.8×61
15	梅原 龍三郎	静浦(口野)風景	1929(昭和4)	油彩、キャンバス	60.8×50.1
16	鳥海 青児	蘇州風景	1939(昭和14)	油彩、キャンバス	88×145.3
17	須田 国太郎	風景	1950(昭和25)	油彩、キャンバス	49.8×60.5
18	石垣 栄太郎	街	1925(大正14)	油彩、キャンバス	126×91
19	保田 龍門	自画像	1913-14(大正2-3)頃	油彩、キャンバス	45.6×38.2
20	岸田 劇生	黒き帽子の自画像	1914(大正3)	油彩、板	51.3×39.2
21	高須 光治	自画像	1915(大正4)	油彩、板	45.4×37.7
22	高井 貞二	感情の遊離	1932(昭和7)	油彩、キャンバス	150.7×91
23	松本 端介	三人	1943(昭和18)	油彩、キャンバス	162.2×112.5
24	保田 龍門	少女	1925(大正14)	ブロンズ	173.5×67×43
25	下村 観山	白描 魔障団	1910(明治43)	墨、絹	67.2×164.6
26	下村 観山	西行上人望富士山図	制作年不詳	墨、顔料、絹	126.5×49.5
27	川端 龍子	芭蕉翁	1923(大正12)	顔料、紙	71.9×84.3
28	野長瀬 晚花	被布着たる少女	1911(明治44)	顔料、絹	114.1×134.8
29	野長瀬 晚花	暮の山	1920(大正9)	顔料、絹	40×51.3
30	山口 八九子	月見草と少女	1912(明治45・大正元)頃	顔料、紙	171.8×65.6
31	村上 華岳	仲秋月明之図	1937(昭和12)	顔料、紙	33.4×63.7
32	日高 昌克	秋山空明図	1957(昭和32)	墨、顔料、紙	42×45.8
33	稗田 一穂	東北の秋	1946(昭和21)	顔料、紙	179.7×124.8
34	稗田 一穂	小漣	1970(昭和45)	顔料、紙	142×242.2
35	稗田 一穂	夏去る	1980(昭和55)	顔料、紙	194.1×172.3
36	稗田 一穂	歸り路	1981(昭和56)	顔料、紙	193.8×166

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
41	村井 正誠	顔	1978(昭和53)	リトグラフ、紙	61.9×45.1	
42	難波田 龍起	緑の空間	1960(昭和35)	油彩、キャンバス	91.4×117.2	
43	難波田 龍起	黒の交錯	1970(昭和45)	油彩、キャンバス	80.5×100	
44	ネヴェルスン、ルイーズ	スカイ・ザグ II	1974(昭和49)	木	95×136×22	
45	アルバース、ジョーゼフ	正方形贊歌 I-SJ	1973(昭和48)	シルクスクリーン、紙	63.5×64	
46	アルバース、ジョーゼフ	正方形贊歌 I-SK	1973(昭和48)	シルクスクリーン、紙	63.5×63.5	
47	ロスコ、マーク	赤の上の黄褐色と黒	1957(昭和32)	油彩、キャンバス	176.2×136.6	
48	ヴァザレリ、ヴィクトル	ビソール	1978(昭和53)	アクリル、キャンバス	141×112.2	
49	グリーン、アラン	深紅色にかこまれた白	1982(昭和57)	油彩、キャンバス	201.3×200.5×4.8	
50	ジャッド、ドナルド	無題	1988(昭和63)	アルミニウム	30×210.4×30	
51	シーガル、ジョージ	煉瓦の壁ぞいに歩く男	1988(昭和63)	石膏、木、アクリル絵具、他	264.6×359.9×270.4	
52	クロス、チャック	フィル	1982(昭和57)	紙	130.4×105.8	
■パリに惹かれた芸術家たち						
53	マティス、アンリ	「マティスリトリトグラフエッティングー展」ポスター(ギャルリーADRIEN MAEGHT、開催年不詳)	制作年不詳	[オフセットリトグラフ]、紙	68.1×52.1	
54	ブラック、ジョルジュ	「ショルジ・ブラックー最近作展」ポスター(ギャルリーMAEGHT、パリ、1967)	1967(昭和42)	[オフセットリトグラフ]、紙	71.2×42.1	
55	ピカソ、パブロ	「ピカソの陶芸作品—ヴァロリース展」ポスター(リヨン美術館、1950)	1950(昭和25)	[オフセットリトグラフ]、紙	62.0×48	
56	ピカソ、パブロ	「ピカソー1900~1953—展」ポスター(リヨン美術館、1953)	1953(昭和28)	[オフセットリトグラフ]、紙	68.6×52.4	
57	シャガール、マルク	「シャガールの陶芸作品展」ポスター(ギャルリーMADOURA、カンヌ、1962)	1962(昭和37)	[オフセットリトグラフ]、紙	65.4×48.3	
58	レジェ、フェルナン	「労働—絵画による我々の時代の証言—展」ポスター(パリ市立美術館、1951)	1951(昭和26)	[オフセットリトグラフ]、紙	77×52.1	
59	ビュッフェ、ベルナール	「ベルナール・ビュッフェ展」ポスター(ギャルリー65、パリ、1960)	1960(昭和35)	[オフセットリトグラフ]、紙	77.4×53.4	
60	ポリアコフ、セルジュー	「セルジュー・ポリアコフ—絵画とグラッシュ展」ポスター(ギャルリーCAVAERO、カンヌ、1974)	1974(昭和49)	アクリチント、紙	76.3×50.6	
61	ルオー、ジョルジュ	「サーカスの娘」	1937(昭和12)	油彩、キャンバス	9.2×9.3	
62	デュフィ、ラウル	「コンボティエのある静物」	1940(昭和15)	油彩、キャンバス	65.2×81.2	
63	ヴラマンク、モーリス・ド・	花	制作年不詳	油彩、キャンバス	55.4×38.3	受託作品
64	ヴラマンク、モーリス・ド・	風景	制作年不詳	油彩、キャンバス	38.5×46.3	受託作品
65	ヴァン・ドンゲン、キース	黒い服の婦人	1910年代から	油彩、キャンバス	144.5×113	
66	ピカソ、パブロ	泣く女	1937(昭和12)	鋼版、紙	69×49.2	
67	ドラン、アンドレ	【戸外での食事】	制作年不詳	油彩、キャンバス	27.1×24.2	受託作品
68	ロート、アンドレ	ミルマンドの城壁	制作年不詳	油彩、キャンバス	33×24	
69	中村 不折	白頭翁	1907(明治40)	油彩、キャンバス	200.2×136.6	受託作品
70	鹿子木 孟郎	パイプを持つ男	1906(明治39)	油彩、キャンバス	79.6×64	
71	山下 新太郎	臥婦	1910年代	油彩、キャンバス	79.5×140.7	受託作品
72	梅原 龍三郎	小川(ブルターニュ風景)	1909(明治42)	油彩、キャンバス	24.6×32.4	受託作品
73	東郷 青児	静物	1924(大正13)	油彩、キャンバス	46×38	
74	藤田 善治	【少女】	制作年不詳	油彩、キャンバス	21.8×16	受託作品
75	原 勝四郎	画工像	1932(昭和7)	油彩、ボール紙	65×52.8	
76	青山 熊治	高原の牧場(あるいは、雪の馬)	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	201.2×362.5	受託作品
77	柳原 義達	道標・鳩	1973(昭和48)	ブロンズ	43×52×28	
78	永瀬 義郎	Paris序曲〈ノートルダム〉	1930(昭和5)	木版、紙	20.5×29.6	
79	旭 正秀	冬のエッフェル塔	1933(昭和8)	木版、紙	24×16.1	
80	裕 伊之助	版画集『旭正秀滞欧記念作品集』	1930(昭和5)	木版、紙	23.5×30	
81	川口 軌外	ヴァンサンヌ公園	1930(大正9)頃	木版、紙	33×23.8	
82	川口 軌外	巴里モンマルトル	1920(大正9)頃	油彩、板	65.5×80.5	
83	川口 軌外	風景	1924(大正13)頃	油彩、キャンバス	73.5×116.7	
84	川口 軌外	車のある風景	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	79×64	受託作品
85	川口 軌外	キャフェにて	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	91.1×73	
86	川口 軌外	バナナのある静物	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	59.8×73.4	
87	野長瀬 晚花	黄壁	1927-29(昭和2-4)	油彩、キャンバス	85.5×46.3	
88	野長瀬 晚花	少年像	1922(大正11)	油彩、キャンバス	20×11.8	
		婦人像	1922(大正11)頃	鉛筆・水彩、紙		

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
89	保田 龍門	アンドレ像	1921(大正11)	油彩、キャンバス	54.7×45.8	
90	保田 龍門	アンドレの首	1922(大正11)	ブロンズ	20.3×20×20	
91	木下 孝則	マダム・オコノエ	1921-23(大正10-12)	油彩、キャンバス	41×32	
92	木下 義謙	静物	1931(昭和6)	油彩、キャンバス	73×91.6	
93	木下 雅子	玉葱の静物	1930(昭和5)	油彩、キャンバス	60×73.5	
94	青山 義雄	K夫人肖像(木下雅子像)	1930(昭和5)頃	油彩、キャンバス	80.6×61	
95	木下 孝則	赤衣の女	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	72.9×53.2	
96	島村 三七雄	カジノ・ド・パリの踊り子	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	80.5×65	
97	麻生 三郎	巴里風景	1938(昭和13)	油彩、板	33×40.9	受託作品
98	保田 春彦	伝説	1957(昭和32)	木	99.5×36.5×39.2	
99	川口 軌外	港	1957(昭和32)	油彩、キャンバス	117×80.4	
100	山口 長男	連	1965(昭和40)	油彩、板	182.2×364.3	
101	岡田 謙三	入江	1959(昭和34)	油彩、キャンバス	189×155.5	
102	建島 寛造	かほ	1953(昭和28)	木	69.5×21.5×30.2	
103	建島 寛造	はには	1953(昭和28)	木	83.5×36×18.8	
104	建島 寛造	垂直の展開	1954(昭和29)	木	118×24×19.5	
105	建島 寛造	展開	1954(昭和29)	木	79×41.2×18.5	
106	菅井 涩	雷神	1958(昭和33)	油彩、キャンバス	162.6×130.7	
107	今井 俊満	蝕	1962(昭和37)	油彩、キャンバス	130.8×191.5	
108	堂本 尚郎	二元的なアンサンブル	1962(昭和37)	油彩、キャンバス	162×122	
109	田淵 安一	作品	1961(昭和36)	油彩、キャンバス	130.5×162	
110	アレシングスキー、ピエール	プリズム	1988(昭和63)	エッ칭ング・アクアチント、紙	179.8×89.2	
111	アレシングスキー、ピエール	沈黙の返答	1988(昭和63)	エッ칭ング・アクアチント、紙	174.7×86.7	
112	アレシングスキー、ピエール	あなたは何処に	1988(昭和63)	エッ칭ング・アクアチント、紙	177×89	
113	デュシャン、マルセル	横顔の自画像	1958(昭和33)	紙	33.3×25.3	
114	アルマン	黄色のチューブ	1960(昭和35)	絵具、チューブ、合成樹脂	44.7×25×6	
115	クリスト	梱包されたポン・ヌフ/パリのプロジェクト	1985(昭和60)	鉛筆・木炭・パステル他、紙	150×245.3	
116	泉 茂	FS2008	1967(昭和42)	油彩、キャンバス	154×249.5	受託作品
117	松谷 武判	繁殖-M-B	1967(昭和42)	銅版、紙	50×32	
118	松谷 武判	繁殖-5	1967(昭和42)	銅版、紙	49.5×64.5	
119	井田 照一	Paper and Paper	1968(昭和43)	石版・孔版、紙	66.1×52	
120	井田 照一	Blue Sofa	1970(昭和45)	石版、紙	63.5×52	
121	荒木 哲夫	版画集『昼との対話』(10点組)	1974(昭和49)	銅版、紙		
122		156 スタジオZ(22.6×27.5)、157 動物園(22.6×27.6)、158 三つの扉(27.8×22.6)、159 削れた鏡(22.7×27.6)、160 悲しみの窓ガラス(27.7×22.5)、161 誰もいない画廊(22.6×27.7)、162 雨の日曜日(22.6×27.7)、163 白い部屋(22.6×27.8)、164 M街のアトリエ(28×22.8)、165 昼顔(22.6×27.6)、版画集『夜との対話』(10点組)				
123		166 モンパルナスのリュリュ(23.7×28.5)、167 土星の唄(22.7×27.7)、168 北ホテル(22.6×27.6)、169 砂時計(27.8×22.6)、170 小劇場(22.6×27.5)、171 夕顔(22.7×27.4)、172 小猫のキキ(27.8×22.4)、173 シャンソニエ(22.6×27.6)、174 青い浴槽(27.9×22.3)、175 Qという名のレストラン(22.6×27.6)				
124		モニュメント4	1986-90(昭和61-平成2)	写真、電球、他	207.7×70.2	
125		未来と過去の間での遺伝染色体による綾取り	1979(昭和54)年	ミクストメディア	45.5×45×15	
126		177 工藤 哲巳	円 2000-1	ビニ		

普及事業

■広報活動

1. 美術館の概要や展覧会の内容、スケジュール等の理解、活用のためにカレンダー、機関誌等を発行し、関係諸機関及び来館者等に提供した。
2. 県発行の公報誌『県民の友』に、毎月事業案内を掲載した。
3. 展覧会ごとに、ポスター、ちらし、案内はがき等を作成し、全国関係諸機関、県下各市町村及び小中高校、大学、教育機関など約1500ヵ所に配布した。
4. 県内外の新聞社、放送局、出版社等約275ヵ所に事業案内を送付し、報道、掲載を依頼。また取材等の要請に応じて情報を提供した。
5. 展覧会ごとに県記者クラブにて記者発表を行い、県内の新聞社、放送局に事業案内の報道、掲載を依頼した。
6. 教育放送に企画を提供し、番組を作成した。
(テレビ和歌山制作・放送「はばたくきのくに 県立近代美術館 佐伯祐三ー芸術家への道ー」2005年11月20日放送)
7. ホームページで美術館の概要や展覧会の内容、スケジュールなどの情報を提供した。

■講演会などの開催

各展覧会に際して、講演会やミュージアム・トーク、ワークショップなどを開催した。(各展覧会報告の項を参照)

■刊行物の発行

1. 2005年度展覧会カレンダー(変型A4判8頁4つ折り)



2. 展覧会図録、リーフレット、ポスター、ちらし、案内状、案内はがき、出品目録等(各展覧会報告の項を参照)

3. 機関誌「NEWS」(付記のない執筆者は当館学芸員)

・No.45 [2005(平成17)年7月29日]



宮本久宣「ファン・ゴッホの『馬鈴薯を食べる人々』とティソの『庭園のベンチ』」「世界の版画名品展」見書き
浜田拓志「地図とリアリティー 夏休み わかやま美術探偵団」
奥村一郎「和歌山に音を点てる 鈴木昭男 点音 in 和歌山」
奥村泰彦「小特集・生誕100年村井正誠と同時代の美術 コレクション展 2005-夏」
「鑑賞講座に協力しています」
「Museum Calendar」
「友の会より 版画プレゼント 今年度は集治千晶さん」

・No.46 [2005(平成17)年11月10日]



井上芳子「『版画家たちの表情』展のための覚え書き 象徴主義、ドビュッシー、そして版画と挿絵と」
寺口淳治「夢中になったことがありますか? 佐伯祐三ー芸術家への道ー展・案内」
井上芳子「修復のしごと 佐伯祐三展の前に」
奥村泰彦「コレクション展2005-秋」
奥村泰彦「クリエの仕事 チャック・クロース作品とアメリカに行く」
「本の表紙になったコレクション」
「Museum Calendar」
「友の会より」

・No.47 [2005(平成17)年11月10日]



井上芳子「2006年度の展覧会 ご案内」
奥村泰彦「美術百科「世界一周」の巻」
植野比佐見「《アラブの窓》を開けたら《ロンバルディア》ー村井正誠の抽象絵画ことはじめ 研究ノートから」
宮本久宣「松五郎の青春 研究ノートから」
「友の会より」
寺口淳治「佐伯祐三が歩いた道をたずねて」

・No.48 [2006(平成18)年3月31日]



奥村泰彦「小特集・追悼建畠覚造+新収蔵品 コレクション展2006-春」
「夏休み わかやま美術探偵団」報告書
鈴木昭男 点音 in 和歌山」記録集+CDができました」
「花と銃ーインドシナ・モダンの半世紀 ベトナム近代絵画展」
奥村一郎「ベトナム近代絵画展への覚書」
植野比佐見「《アラブの窓》から長者丸の窓へー村井正誠と長谷川三郎の抽象表現 研究ノートから」
「Museum Calendar」
「友の会より」

■学校・団体鑑賞の受け入れ

内容:施設利用の浸透を図り、団体での来館の際には事前に担当者・教員との打ち合わせを行うなど、特に学校教育と連携した活動を行った。学校教育における鑑賞教育の重視に併せて、教員の研修も行われた。

受入: 63件 2797名

教 員(2件 257名)
一 般(4件 50名)
大 学(6件 89名)
高等学校(17件 502名)
中 学 校(15件 429名)
小 学 校(11件 796名)
幼 稚 園(4件 540名)
その他の養護学校、絵画教室など(4件 134名)

■学校教育活動への協力

内容:諸学校の教員と連携し、教育課程の中で美術館を活用できるよう方策を講じ、インター研修、職場体験学習、地域学習などを受け入れた。

受入: 9件 83名 13日(延人数97名)

大 学(3件 57名 3日: 40名 1日、15名 1日、2名 1日)
高等學校(1件 3名 3日)
中 学 校(4件 17名 6日: 6名 2日、6名 1日、3名 1日、2名 2日)
小 学 校(1件 6名 1日)

■博物館実習生の受け入れ

内容:大学での博物館学芸員資格取得のために必要な履修科目である博物館実習の実習生を受け入れた。

期間:2005(平成17)年8月2日(火)~8月7日(日)(6日間)

受入: 7大学 9名

愛知県立芸術大学 1名
京都造形芸術大学 1名
成安造形大学 1名
摂南大学 1名
帝京大学 1名

立命館大学 1名
和歌山大学 3名

■ボランティア活動受け入れ

和歌山県生涯学習ボランティアセンターに登録されたグループ「虹」の会員および個人会員、計10名により、図書資料の整理などが行われた。

受入：「虹」の会員 7名 個人会員 3名 活動のべ100人 [2006(平成18)年3月31日現在]

■友の会活動

楽しみながら美術に親しむ会として「和歌山県立近代美術館友の会」を組織し、美術を愛する人々が集い、当館の活動を支援するとともに、美術作品を鑑賞し、語り合う場を設けることに協力した。

1. 会員の現状 [2006(平成18)年3月31日現在]

一般会員288名、学生会員19名、賛助会員8名、名誉会員7名 計 322名

2. 会員への助成事業

会員が美術館事業に理解を持ち、常に美術作品に親しみを持つことができるよう、常設展及び特別展の観覧並びに図録の購入に対して助成を行った。

・展覧会入場者 延人数507名

(常設展31名、泉茂展82名、世界の版画名品選展62名、夏休み わかやま美術探偵団81名、版画家たちの表情展70名、佐伯祐三展119人、美術百科展62名)

・図録購入補助36冊

3. 主催事業

・版画プレゼント

集治千晶《胸に咲く花 朝》《胸に咲く花 午后》《胸に咲く花 夕》《胸に咲く花 宵》各125枚 計500枚

・アーティストトーク

講師：集治千晶氏

日時：2005(平成17)年9月25日(日) 近代美術館2階ホールにて、約80名参加

4. オープニングレセプション

・「泉茂展」オープニングレセプション：2005(平成17)年4月23日(土)15:00より応接室にて、約90名参加

・「佐伯祐三展」オープニングレセプション：2005(平成17)年11月2日(水)16:00より応接室にて、100名参加

5. ミュージアムコンサート

演者：波木基子氏(マリンバ)

日時：2005(平成17)年8月6日(土)18:30より近代美術館1階展示室にて、90名参加

6. 美術鑑賞ツアーの開催

滋賀県立近代美術館にて「近代日本洋画への道—山岡コレクションを中心に—」展を鑑賞し、佐川美術館へ。

日時：2005(平成17)年11月6日(日) 93名参加

7. 展覧会関連事業「佐伯祐三 ゆかりの地に 時空を超えて！」

佐伯祐三展関連事業として、橋爪節也氏(大阪市立近代美術館建設準備室主任学芸員)の案内により、佐伯祐三の生家・光徳寺をはじめとするゆかりの場所を訪ね、大阪市立近代美術館(仮称)心斎橋展示室にて「旅する『エキゾチズム』」展を鑑賞した。

日時：2005(平成17)年11月18日(金)13:00より約3時間、11名参加

8. 館広報誌、その他の情報提供

美術館が発行するミュージアムカレンダー、美術館ニュース、特別展招待状などを配布

9. 共催事業

バックヤードツアー

美術館の仕事への理解を深めることを目的に、美術館の裏側を紹介するツアーを開催

第1回 2005(平成17)年9月3日(土)10:30~11:30 5名参加

第2回 同日14:00~15:00 2名参加

■和歌山のアート・コーナー

内容：1階ホールの無料スペースで展示活動を行った。

1. 鈴木昭男 作品+資料展示

会期：2005(平成17)年9月6日(火)～9月25日(日)

内容：「夏休み わかやま美術探偵団」展終了後、引き続き現地制作した作品および資料の展示により、鈴木昭男氏のこれまでの活動を紹介した。

2. 第59回県展受賞作から

会期：2006(平成18)年1月15日～3月12日

- ・1月15日(日)～1月29日(日)：「書」・「工芸」
- ・1月31日(火)～2月12日(日)：「日本画」
- ・2月14日(火)～2月26日(日)：「写真」・「彫塑」
- ・2月28日(火)～3月12日(日)：「洋画」

内容：第59回和歌山県美術展覧会(県展)の特選(知事賞、教育委員会賞、毎日新聞社賞、県美術家協会賞)および無鑑査特別賞(県議会議長賞、県文化振興財団賞)30点を紹介した。

・「書」部門

知事賞	中村 東世 (和歌山市)	送李長源
県教育委員会賞	瓦間 寿舟 (那賀郡)	あきのたの
毎日新聞社賞	磯西 順華 (和歌山市)	夏目漱石詩
県美術家協会賞	志茂 珠香 (和歌山市)	中運使寄酒 明日到以詩謝之
県議会議長賞	木村 肇山 (和歌山市)	良寛詩
県文化振興財団賞	柳 藤苑 (海南市)	秋きぬと

・「工芸」部門

知事賞	寺西 豪 (和歌山市)	希望の流
県教育委員会賞	武本サダ子 (和歌山市)	創作刺繍「旅の思い出」
毎日新聞社賞	田中 聰 (大阪府)	灰釉大鉢
県美術家協会賞	森口 剛次 (日高郡)	波紋位相
県議会議長賞	岡本 里美 (田辺市)	現身

・「日本画」部門

知事賞	久保 札子 (大阪府)	約束
県教育委員会賞	中井 裕子 (和歌山市)	旅愁
毎日新聞社賞	吉田 君子 (有田市)	半夏生
県美術家協会賞	春木 史 (和歌山市)	ブルージュの午後
県議会議長賞	森 泰三 (田辺市)	船どまり

・「写真」部門

知事賞	岡 正澄 (御坊市)	瞳
県教育委員会賞	谷田 茂夫 (海草郡)	赤い舟
毎日新聞社賞	落合 和哉 (橋本市)	朝
県美術家協会賞	水本美智子 (和歌山市)	光彩
県議会議長賞	神田真奈美 (海南市)	チャンピオン

・「彫塑」部門

知事賞	竹中 康 (西牟婁郡)	雨
県教育委員会賞	西川ひとみ (西牟婁郡)	萌し
毎日新聞社賞	田ノ岡亜由奈 (田辺市)	浜風

・「洋画」部門

知事賞	土井 久幸 (和歌山市)	刻のカケラ 最終話
県教育委員会賞	栗本 邦男 (和歌山市)	「虚空遠望」葛城仙人抄
毎日新聞社賞	松野とき子 (有田郡)	アロエのある風景
県美術家協会賞	山根 卿嘉 (那賀郡)	刻 I
県議会議長賞	中野 和夫 (和歌山市)	規紗子HOPE
県文化振興財団賞	貴志 純美 (和歌山)	ある風景

展覧会協力

■その他、施設利用など

- ・「県警たそがれコンサート」2005(平成17)年6月10日(金)、6月24日(金)、7月8日(金)、7月22日(金)、8月12日(金)、8月26日(金)
主催：和歌山県警察音楽隊
- ・「ウォータージェットスクリーン映画会」2005(平成17)年7月22日(金) 主催：NPO紀州ふるさと塾
- ・「名月に舞う」2005(平成17)年9月18日(金) 主催：和歌山文化協会「名月に舞う」実行委員会
- ・「秋のシャンソンカーニバル」2005(平成17)年10月9日(日) 主催：和歌山シャンソン友の会
- ・「広東実験中学校合唱団コンサート」2005(平成17)年8月2日(火) 主催：和歌山県立近代美術館
- ・「ヴァイオリン&チェロ デュオのタペ」2005(平成17)年9月24日(土)
主催：文化遺産課
- ・「文化遺産塾」2005(平成17)年10月15日(土)、12月17日(土)、2006(平成18)年1月21日(土)、2月18日(土) 主催：文化遺産課

目的および内容：美術館をはじめとする種々の研究機関の活動に寄与し、当館所蔵作品鑑賞の機会を増やす目的のため、作品調査に協力するとともに作品及び資料の貸付をした。

1. 「楽しい版画」展 2005(平成17)年7月13日～10月31日

- 会期：2005(平成17)年7月23日～9月4日 笠岡市立竹喬美術館
2005(平成17)年9月10日～10月23日 稲沢市荻須記念美術館
主催：笠岡市立竹喬美術館、稲沢市荻須記念美術館
- | 作者名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | 寸法(cm) |
|--------|------------------------|-------------------|------------------|--------------|
| 磯辺行久 | ワッペン | 1964(昭和39) | 空押・紙 | 30.5×19.2 |
| 磯辺行久 | ワッペン | 1965(昭和40) | リトグラフ、紙 | 47.5×36.3 |
| 井田照一 | Stone, Paper and Stone | 1976(昭和51) | リトグラフ、紙 | 65.5×50.5 |
| 海老原喜之助 | 父と娘 | 1956(昭和31) | リトグラフ、紙 | 55×40 |
| 織田一磨 | 駿河臺『東京風景』 | 1916(大正5) | リトグラフ、紙 | 39.4×28.9 |
| 小野忠重 | 死を回る人々 | 1933(昭和8) | 木版、紙 | 49.8×63 |
| 小野木学 | 風景 706 | 1968(昭和43) | シルクスクリーン・空押、紙 | 57×57 |
| 恩地孝四郎 | 抒情 I | 1914(大正3) | 木版、紙 | 13.5×11 |
| 恩地孝四郎 | 抒情『あかるい時』(公刊『月映』V) | 1915(大正4) | 木版、紙 | 13.6×9.8 |
| 恩地孝四郎 | あるヴァイオリニストの印象(諏訪根自子像) | 1948(昭和23) | 木版、紙 | 40.6×32.7 |
| 加納光於 | 星・反芻学 | 1962(昭和37) | インクアリオ、雁皮・紙 | 33×67.6 |
| 岸田劉生 | 欲望『天地創造』 | 1914(大正3)[1975年刷] | 銅版、紙 | 12.6×12.6 |
| 木村光佑 | 現在位置－存在(A) | 1970(昭和45) | 石版・シルクスクリーン、紙 | 73.8×103 |
| 黒崎彰 | 時の軌跡 | 1981(昭和56) | 木版、紙 | 79.7×55.1 |
| 上阪雅人 | 本堂 | 1952(昭和27) | 木版、紙 | 52.8×71 |
| 関野準一郎 | フィレンツェの屋根 | 1959(昭和34) | 木版、紙 | 81.2×55.7 |
| 田中恭吉 | 太陽と花(私輯『月映』II [同版]) | 1914(大正3) | 木版、紙 | 17.8×11.7 |
| 田中恭吉 | ひそめるもの。 | 1914(大正3) | 木版、紙 | 20.5×15.2 |
| 谷中安規 | 花は花 | 1933(昭和8) | 木版、紙 | 16.1×23.3 |
| 戸張孤雁 | 女学生 | 1920(大正9) | 木版、紙 | 37.9×25 |
| 永瀬義郎 | 抱擁 | 1915(大正4) | 木版、紙 | 25.5×16 |
| 浜口陽三 | 2つのさくらんば | 1958(昭和33) | カラーメゾチント、紙 | 19.4×19.3 |
| 浜口陽三 | 暗い背景のぶどう | 1961(昭和36) | カラーメゾチント、紙 | 34.5×29.5 |
| 浜口陽三 | 蝶 | 1967(昭和42) | カラーメゾチント、紙 | 11.5×11.5 |
| 浜口陽三 | 西瓜 | 1981(昭和56) | カラーメゾチント、紙 | 23×54 |
| 浜田知明 | 初年兵哀歌(歩哨) | 1954(昭和29) | エッチング・アクアチント、紙 | 23.3×15.7 |
| 深沢幸雄 | 繫縛 | 1959(昭和34) | エッティング・アクアチント他、紙 | 36.2×36.2 |
| 深沢幸雄 | アシェンドの地下にて | 1980(昭和55) | エッティング・アクアチント他、紙 | 74.5×50.6 |
| 藤森静雄 | かけ | 1914(大正3) | 木版、紙 | 23.4×16.1 |
| 藤森静雄 | 夜のピアノ | 1914(大正3) | 木版、紙 | 14.8×15 |
| 山口進 | 静物 | 1926(大正15／昭和元) | 木版、紙 | 23.8×16.3 |
| 山本鼎 | ブルターニュの入江 | 1918(大正7) | 木版、紙 | 24.3×31.9 |
| 横尾忠則 | 葬列 II | 1969(昭和44) | シルクスクリーン、アクリル板 | 74.7×114×9.5 |
| 若林奮 | UNDERWOOD 1/9 | 1989(平成元) | リトグラフ、紙 | 99.2×75.6 |
| 脇田和 | 少年と鳥 | 1960(昭和35) | リトグラフ、紙 | 37.5×50.5 |

作品貸付

- ・橋口五葉 髪梳ける女 1920(大正9) 木版、紙 44×32.7
- ・ブラック、ジョルジュ コンポジション(静物 I) 1911(明治44) エッチング、紙 34.7×21.8
- ・フランシス、サム 足跡 1960(昭和35) リトグラフ、紙 63.5×90.5
- ・クレー、パウル 情熱の園 1913(大正2) エッチング、紙 9.3×14.2
- ・リキテンシュタイン、ロイ クラック! 1964(昭和39) オフセッティトグラフ、紙 47.7×69
- ・ミロ、ジョアン 岩壁の軌跡 III 1968(昭和43) 銅版、紙 58.4×92.5
- ・ミロ、ジョアン 権力のある思想家 1969(昭和44) エッチング・アクアチント・カーボランダム、紙 105.3×66.8
- ・ムンク、エドヴァルト 病める子 1896(明治29) リトグラフ、紙 42×52
- ・ラウシェンバーグ、ロバート 空の庭 1969(昭和44) リトグラフ、シルクスクリーン、紙 225.2×106.9

2. 小企画展「川口軌外の作品を中心に」 2005(平成17)年9月6日～12月6日

会期：2005(平成17)年9月17日～11月27日

主催：田辺市立美術館

作者名 作品名 制作年 技法・材質 寸法(cm)

- ・川口軌外 風景 1918(大正7) 油彩、板 23.1×32.4
- ・川口軌外 テーブルの上の野菜 1920(大正9)頃 油彩、キャンバス 40.5×53
- ・川口軌外 テーブルの上の食物 1920(大正9)頃 油彩、キャンバス 37.6×60.5
- ・川口軌外 果物とワイン 1920(大正9)頃 油彩、キャンバス 37.4×60.6
- ・川口軌外 六個の果物 1920(大正9)頃 油彩、キャンバス 36.8×60.8
- ・川口軌外 レモン、花とワインと瓶 1920(大正9)頃 油彩、キャンバス 37.5×45.5
- ・川口軌外 青色の花 1920(大正9)頃 油彩、キャンバス 45.6×54.5
- ・川口軌外 ノートルダム教会 1920(大正9)頃 油彩、キャンバス 45.7×54.5
- ・川口軌外 女の彫像 1920(大正9)頃 油彩、キャンバス 54×45.6
- ・川口軌外 セーヌ川 1920(大正9)頃 油彩、キャンバス 46×55
- ・川口軌外 ベニスの舟とドーム 1920(大正9)頃 油彩、キャンバス 45.7×54.5
- ・川口軌外 ベニスの舟 1920(大正9)頃 油彩、キャンバス 45.3×55.2
- ・川口軌外 本を読む女 1920(大正9)頃 油彩、キャンバス 38×60
- ・川口軌外 つる下がる雉 1923(大正12)頃 油彩、キャンバス 54.5×45.5
- ・川口軌外 婦人像(受託) 1920-23(大正9-12) 油彩、キャンバス 59.8×49
- ・川口軌外 窓辺の静物 1924-26(大正13-15・昭和元) 油彩、キャンバス 80.4×65.4
- ・川口軌外 水差しのある静物 1925(大正14) 油彩、キャンバス 80×65.7
- ・川口軌外 風景 1925(大正14)頃 油彩、キャンバス 65×81.2
- ・川口軌外 裸婦群像 1925(大正14)頃 油彩、キャンバス 88.2×94.1
- ・川口軌外 寺院 1928(昭和3) 油彩、ボード 54.7×45.5
- ・川口軌外 ポヘミアン 1928(昭和3) 油彩、キャンバス 117.0×80.7
- ・川口軌外 地維 1932(昭和7) 油彩、キャンバス 155.5×195.5
- ・川口軌外 花 1932(昭和7) 油彩、キャンバス 116.8×90.8
- ・川口軌外 少女と貝殻 1934(昭和9) 油彩、キャンバス 167.3×267.2
- ・川口軌外 貝殻 1936(昭和11) 油彩、キャンバス 80.4×115.2
- ・川口軌外 日傘と人 1953(昭和28) 油彩、キャンバス 117×91
- ・川口軌外 人体 1957(昭和32) 油彩、キャンバス 130×89.6
- ・木下義謙 カーニュ風景 1929(昭和4) 油彩、キャンバス 62×73.2

目的および内容：美術館をはじめとする種々の研究機関の活動に寄与し、当館所蔵作品鑑賞の機会を増やす目的のため、作品及び資料の貸付をした。

1. 福井良之助孔版画 2005(平成17)年3月1日～7月25日

貸付先：佐倉市立美術館、高崎市美術館、岩手県立美術館

作者名 作品名 制作年 技法・材質 寸法(cm)

- ・福井良之助 《静物》 1955(昭和30) 書写版、紙 27.4×30.1
- ・福井良之助 《カレイ》 1962(昭和37) 書写版、紙 16.6×35.4
- ・福井良之助 《二匹の魚》 制作年不詳 書写版、紙 22.1×34.5
- ・福井良之助 《葡萄》 制作年不詳 書写版、紙 21×33.9
- ・福井良之助 《裸婦1》 制作年不詳 書写版、紙 35.9×26
- ・福井良之助 《裸婦2》 制作年不詳 書写版、紙 43.3×27.4
- ・福井良之助 《作品》 制作年不詳 書写版、紙 13.3×10

2. チャック・クロース展 [Chuck Close : Self-Portraits 1968-2005] 2005(平成17)年6月1日～2006(平成18)年11月30日

貸付先：ウォーカー・アートセンター(ミネアポリス)、サンフランシスコ近代美術館、ハイ・ミュージアム(アトランタ)、オルブライトノックス・アート・ギャラリー(バッファロー)

作者名 作品名 制作年 技法・材質 寸法(cm)

- ・クロース、チャック 自画像 1983(昭和58) ペーパーパルプ、キャンバス 136.8×101.9

3. 現代美術のABC アートはあなたのそばにある 2005(平成17)年7月9日～2006(平成18)年1月29日

貸付先：福井市美術館、福井市美術館、福井市美術館、周南市美術博物館

作者名 作品名 制作年 技法・材質 寸法(cm)

- ・野村仁 午前のアナレンマ '90 1990(平成2) Cプリント 90.6×90
- ・野村仁 正午のアナレンマ '90 1990(平成2) Cプリント 111.1×90
- ・野村仁 午後のアナレンマ '90 1990(平成2) Cプリント 90.6×90

4. 前衛の女性 1950-1975 2005(平成17)年7月24日～9月25日

貸付先：栃木県立美術館

作者名 作品名 制作年 技法・材質 寸法(cm)

- ・内間俊子 スーベニール 1954(昭和29) 油彩、キャンバス 49.9×72.5
- ・内間俊子 彩のある風景 1954(昭和29) 油彩、キャンバス 72.7×50
- ・内海柳子 陽気な仕事場 1958(昭和33) ドライポイント・エッ칭・アクアチント、紙 17.4×22.9
- ・内海柳子 埠の中の蝶 1957(昭和32) エッ칭・アクアチント、紙 17.3×24.6
- ・森泰 作品 1957(昭和32) 木版、紙 46.3×60
- ・森泰 作品 制作年不詳 木版、紙 29×19
- ・森泰 作品 1957(昭和32) 木版、紙 37.5×27.5
- ・森泰 森泰木版画展ポスター 1957(昭和32) 木版・バステル、紙 75×51.2
- ・荒木高子 無精卵 1973(昭和48)頃 茶陶 38×48×36
- ・荒木高子 無精卵 1975(昭和50) 陶 48×57×46

5. コレクション+αで楽しむシリーズ：音楽「色、線、形、そして音」 2005(平成17)年9月17日～11月19日

貸付先：徳島県立近代美術館

作者名 作品名 制作年 技法・材質 寸法(cm)

- ・クレー、パウル 小さな世界 1914(大正3) 銅版、紙 14.5×9.7

調査・研究・発表活動および対外協力活動

- ・ケージ、ジョン Déreau #9 1982(昭和57) 銅版、紙 46.2×63.1
- ・ケージ、ジョン Déreau #13 1982(昭和57) 銅版、紙 46.6×63.1
- ・ケージ、ジョン Déreau #16 1982(昭和57) 銅版、紙 46×63.2

6. 東京ベルリン/ベルリン東京 2006(平成17)年1月14日~10月24日

貸付先：森美術館、ベルリン国立博物館群ベルリン新国立美術館

作者名 作品名 制作年 技法・材質 寸法(cm)

■森美術館 会期：2005(平成17)年12月10日~2006(平成18)年6月5日

- ・恩地孝四郎 一つの貌 1914(大正3)頃 木版、紙 15.2×11.2
- ・恩地孝四郎 抒情 II(公刊『月映』II) 1914(大正3) 木版、紙 20.5×14.2
- ・恩地孝四郎 死によりてあげらるる生 1915(大正4) 木版、紙 12.5×10.5
- ・恩地孝四郎 おさむるものと地の哀傷(公刊『月映』IV) 1915(大正4) 木版、紙 14.4×12.5
- ・恩地孝四郎 抒情 躍る(公刊『月映』VI) 1915(大正4) 木版、紙 13.2×9.7
- ・恩地孝四郎 抒情五種ーわかれとのぞみとーより(公刊『月映』VII) 1915(大正4) 木版、紙 13.6×9.8

■ベルリン国立博物館群ベルリン新国立美術館 会期：2006(平成18)年5月7日~10月31日

- ・恩地孝四郎 公刊『月映』IIポスター 1914(大正3) 木版、紙 29.6×18.6
- ・恩地孝四郎 公刊『月映』IVポスター 1915(大正4) 木版、紙 22.4×19
- ・恩地孝四郎 公刊『月映』VIポスター 1915(大正4) 木版、紙 35.7×26
- ・恩地孝四郎 抒情 I 1914(大正3) 木版、紙 13.5×11
- ・恩地孝四郎 抒情 VIII われいかる(公刊『月映』II) 1914(大正3) 木版、紙 19.4×13.6
- ・恩地孝四郎 裸形のくるしみ III(公刊『月映』III) 1914(大正3) 木版、紙 20×7.9
- ・恩地孝四郎 そらよりくだるかけ(公刊『月映』IV) 1915(大正4) 木版、紙 12.4×10.7
- ・恩地孝四郎 抒情 いとなみ祝福せらる 1915(大正4) 木版、紙 13.6×9.7
- ・恩地孝四郎 抒情 慈に泪す(公刊『月映』VI) 1915(大正4) 木版、紙 13.8×9.5

■両会場 2005年12月10日~10月31日

・資料「DER STURM 木版画展覧会」目録 1914(大正3) 冊子 18.9×12.8×0.1

7. 日本陶芸100年の精華 2006(平成18)年1月21日~3月21日

貸付先：茨城県陶芸美術館

作者名 作品名 制作年 技法・材質 寸法(cm)

- ・バーナード・リーチ『白樺』第4年12月号表紙 1913(大正2) 印刷、紙 22.2×15.2
- ・バーナード・リーチ『白樺』第8年11月号表紙 1917(大正6) 印刷、紙 22.4×16.1
- ・富本憲吉『とりで』第2号(表紙木版) 1912(明治45・大正元) 冊子 22.1×14.8×1.1
- ・林康夫 ホットケーキ 1971(昭和46) 18×33×32
- ・山田光 二つの塔 1959(昭和34) 陶 18×33×32
- ・林秀行 あいさつ 1976(昭和51) 磁 75×20×11/81×21×9
- ・三島喜美代 パッケージ 1974(昭和49) 陶 26×36.5×27
- ・荒木高子 頽廻の聖書 1983(昭和58) 磁土 14.5×22.3×20.3

8. 国吉康雄展 2006(平成18)年2月24日~5月21日

貸付先：岡山県立美術館

作者名 作品名 制作年 技法・材質 寸法(cm)

- ・国吉康雄 乳しづり 1921(大正10) 油彩、キャンバス 61×50.5

浜田拓志

- ・『夏休み わかやま美術探偵団』展担当、リーフレット「A. 保田龍門の旅行トランクー海を渡った芸術家の夢」「C. 川口軌外が残したパリ時代の写真から」「D. 「稻むらの火」と浜口陽三の《パリの屋根》」作成
- ・『夏休み わかやま美術探偵団展』報告書編集、執筆「夏休み わかやま美術探偵団展の構想と展開」(8-9頁)、「保田龍門の旅行トランクー海を渡った芸術家の夢」の構成について」(16-19頁)、「川口軌外が残したパリ時代の写真から」構成について」(34-38頁)、「稻むらの火」と浜口陽三の《パリの屋根》の構成について」(42-46頁)
- ・「地図とアリティー 夏休み わかやま美術探偵団』『和歌山県立近代美術館ニュース』45(2005年7月29日、3-4頁)執筆
- ・「未来の世代のために文化的蓄積を継続するという美術館の公共性ー指定管理者制度におけるその担保の可能性を探ってー」『全国美術館会議 平成16年度 第20回学芸員研修会報告書 指定管理者制度』(全国美術館会議、2006年3月1日)執筆
- ・全国美術館会議ホームページ開設・運営研究部会幹事
- ・独立行政法人国立美術館 国立国際美術館美術作品購入評価委員
- ・高知県立美術館資料収集審査会委員
- ・田辺市立美術館協議会委員
- ・田辺市立美術館作品選定委員会委員

寺口淳治

- ・『佐伯祐三ー芸術家への道ー』展担当、図録にエッセイ「《扉》について」執筆、「年譜」「文献目録補遺および採録」編集
- ・「夢中になったことがありますか？ 佐伯祐三ー芸術家への道ー展・案内」『和歌山県立近代美術館ニュース』46(2005年11月10日、3-4頁)執筆
- ・「佐伯祐三が歩いた道をたずねて」『和歌山県立近代美術館ニュース』47(2006年2月16日、裏表紙)執筆
- ・「2005年県展」彫刻部審査員(2005年8月3日、兵庫県立美術館別館原田の森ギャラリー)

奥村泰彦

- ・『没後10年 遺業・泉茂』展担当、パンフレット執筆、ミュージアムトーク
- ・『コレクション展2005-夏』担当、ミュージアムトーク
- ・『コレクション展2005-秋』担当、ミュージアムトーク
- ・『美術百科「世界一周」の巻』担当、パンフレット執筆、ミュージアムトーク
- ・「小特集・生誕100年村井正誠と同時代の美術 コレクション展2005-夏」『和歌山県立近代美術館ニュース』45(2005年7月29日、6頁)
- ・「コレクション展2005-秋」「クーリエの仕事 チャック・クロース作品とアメリカに行く」『和歌山県立近代美術館ニュース』46(2005年11月10日、6頁)
- ・「美術百科「世界一周」の巻」『和歌山県立近代美術館ニュース』47(2005年11月10日、3-4頁)
- ・「小特集・追悼建畠覚造+新収蔵品 コレクション展2006-春」『和歌山県立近代美術館ニュース』48(2006年3月31日、1-2頁)
- ・「美術館へのアンケートから」『RIPPLE』15(有限会社プラントグラフィックス、2005年12月15日、9-10頁)執筆

・「美術館の探検 第6回 和歌山県立近代美術館の巻」『RIPPLE』15(有限会社プラントグラフィックス、2005年12月15日、21-23頁)

- ・「人と作品 川口軌外ー探求と変貌の歩みー」『紫明』18(紫明の会、2006年3月20日、44-51頁)
- ・講義「博物館実習」講座(近畿大学、2005年5月9日)
- ・講演「川口軌外が学んだ西洋美術」(吉備町教育委員会主催、きびドーム、2005年6月22日)

- ・日本・タイ国際版画展パネルディスカッション(京都造形芸術大学、2005年9月28日)
- ・「第2回「架空通信」泉茂・津高和一没後10年記念シンポジウム」に参加(西宮市大谷記念美術館、2005年11月6日)
- ・卓話「一点の作品としつこくつきあう」(御坊商工会議所、御坊ロータリークラブ主催、2006年1月20日)

その他

- ・財團法人堀江オルゴール博物館理事(2003年4月~)

井上芳子

- ・「版画家たちの表情」展担当
- ・「版画家たちの表情」展のための覚え書き 象徴主義、ドビュッシー、そして版画と挿絵と」「修復のしごと 佐伯祐三展の前に」『和歌山県立近代美術館ニュース』46(2005年11月10日、1-2頁、5頁)執筆
- ・講演会講師「和歌山県の版画家ー和歌山県立近代美術館所蔵の作品を中心に」(2005年6月11日、有田市医師会決算総会)
- ・「『CHOCOLATE』時代の山名文夫」『研究紀要おいでるみん』18、資生堂企画文化部、2005年6月(2004年11月18日ギャラリートーク採録)

植野比佐見

- ・村井正誠記念美術館「村井正誠の素描」展(2005年3月5日~2006年12月4日)企画、「光の庭ー村井正誠の素描」『村井正誠の素描展パンフレット』執筆
- ・『夏休み わかやま美術探偵団展』『K. 村井正誠の終わらない留学ー旅を抱いて』担当、リーフレット作成
- ・『夏休み わかやま美術探偵団展』報告書編集、執筆「K. 村井正誠の終わらない留学ー旅を抱いて」(92-97頁)執筆
- ・『アラブの窓』を開けたら『ロンバルディア』ー村井正誠の抽象絵画ことははじめ 研究ノートから』『和歌山県立近代美術館ニュース』47(2005年11月10日、5-6頁)
- ・『アラブの窓』から長者丸の窓へー村井正誠と長谷川三郎の抽象表現 研究ノートから』『和歌山県立近代美術館ニュース』48(2006年3月31日、5-6頁)執筆

奥村一郎

- ・『コレクション展 2005-春』を担当
- ・『夏休み わかやま美術探偵団展』を担当、リーフレット「I. 津荷小学校でみつけた浜地清松とアメリカ」「J. 歩こう。明治・大正の和歌山のまち 大亦新治郎の描いたわたしたちの知らない和歌山」作成。関連企画『鈴木昭男 点音 in 和歌山』を担当、「点音ガイドマップ」を作成。
- ・『夏休み わかやま美術探偵団展』報告書編集、執筆「津荷小学校でみつけた浜地清松とアメリカの構成について」(76-78頁)、「歩こう。

収集事業

明治・大正の和歌山のまち 大亦新治郎の描いたわたしたちの知らない和歌山の構成について(84-85頁)、「ワークショップ ドキドキ少年撮影隊 まちなか編 大亦新治郎君と歩く」(86-88頁)、「鈴木昭男 点音 in 和歌山」(98-100頁)

- 『鈴木昭男 点音 in 和歌山』記録集編集、「開かれる風景—聴覚の和歌山ー」(46-49頁)を執筆
- 「鈴木昭男 点音 in 和歌山 和歌山に音を点てる」『和歌山県立近代美術館ニュース』45(2005年7月29日、5頁)執筆
- 「ペトナム近代絵画展への覚書」『和歌山県立近代美術館ニュース』48(2006年3月31日、4頁)執筆

宮本久宣

- 『世界の版画名品選』展を担当、パンフレット執筆
- 「ピノッキオ その誕生から現代まで」展図録掲載論文で「2004年国録奨励賞」受賞(美術館連絡協議会、読売新聞社、2005年5月)
- 「ファン・ゴッホの『馬鈴薯を食べる人々』とティソの『庭園のベンチ』『世界の版画名品選』展覧書」『和歌山県立近代美術館ニュース』45(2005年7月29日、1-2頁)執筆
- 「松五郎の青春」『和歌山県立近代美術館ニュース』47(2006年2月16日、6頁)執筆

和歌山県立近代美術館美術作品収集方針

- | | |
|-----|---|
| 日本画 | 1. 下村觀山、川端龍子を軸とする院展の作家たち |
| | 2. 野長瀬晩花を軸とする国画創作協会の作家たち |
| 洋画 | 3. 川口軌外を軸とする1930年協会、初期独立美術協会の作家たち |
| | 4. 村井正誠を軸とする自由美術家協会、モダンアート協会の作家たち |
| 版画 | 5. 石垣栄太郎、ヘンリー杉本、高井貞二を軸とするアメリカで学んだ作家たち |
| 彫刻 | 6. 本県にゆかりのある恩地孝四郎、田中恭吉、逸見享、吉田政次、浜口陽三らを軸とする近現代版画 |
| | 7. 本県にゆかりのある建畠寛造、保田春彦を軸とする現代彫刻 |
| その他 | 8. 戦後美術 |
| | ア パンリアル美術協会 |
| | イ 走泥社 |
| | ウ デモクラート美術家協会 |
| | エ 具体美術協会 |
| | 9. 現代の美術 |
| | 10. 海外の美術 |

和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会委員名簿

氏名	職業
酒井 哲朗	福島県立美術館館長
村田 慶之輔	川崎市岡本太郎美術館館長
保田 春彦	彫刻家

第25回美術作品選定委員会

2005(平成17)年3月10日(金)開催

2005(平成17)年度 収蔵作品点数

購入作品 2作家 2件 (2点)
受贈作品 10作家 24件 (47点)
受贈資料 2作家 19件 (19点)
所蔵品総点数 8871点 [2006(平成18)年3月31日現在]

2005(平成17)年度 購入作品

作家名アルファベット順→制作年の順に配列



1. 中川 佳宣 NAKAGAWA Yoshinobu
monogram 98008
1998-99(平成10-11)
牛革・綿・糸・木・アクリル絵具・他 95×33×45



2. 宇佐美 圭司 USAMI Keiji
還元 No.6
1963(昭和38)
油彩、キャンバス 135×184.8

2005(平成17)年度 受贈作品

作家名アルファベット順→制作年の順に配列

1. ダリ、サルヴァドール
DALI, Salvador
『ソロモンの歌』
1971(昭和46)



1-1. [口絵]
1971(昭和46)
ドライポイント・手彩色、紙
39.5×24.5



1-2. [ねがはしきは彼その口の接吻を]
1971(昭和46)
ドライポイント・手彩色、紙
40×24.8



1-3. [われ色くろきが故に]
1971(昭和46)
ドライポイント・手彩色、紙
40×24.8



2-3. ピラル・テルネーラ
亜鉛版・ガンブリンオイル、
ラナロイヤル紙
38×28.5



2-4. レベカ
亜鉛版・ガンブリンオイル、
ラナロイヤル紙
38×28.5



2-5. レメディオス・モスコーテ
亜鉛版・ガンブリンオイル、
ラナロイヤル紙
38×28.5



2-6. サンタ・ソフィア・デ・ラ・ピエダ
亜鉛版・ガンブリンオイル、
ラナロイヤル紙
38×28.5



1-4. [わが愛する者よ]
1971(昭和46)
ドライポイント・手彩色、紙
40×24.8



1-5. [ああ美はしきかな]
1971(昭和46)
ドライポイント・手彩色、紙
40×24.8



1-6. [わが愛する者の声きこゆ]
1971(昭和46)
ドライポイント・手彩色、紙
40×24.8



1-7. [こはソロモンの乗輿にして]
1971(昭和46)
ドライポイント・手彩色、紙
40×25



2-7. レメディオス・ラ・ベラ
亜鉛版・ガンブリンオイル、
ラナロイヤル紙
38×28.5



2-8. アマランタ II
亜鉛版・ガンブリンオイル、
ラナロイヤル紙
38×28.5



2-9. フエルナンダ・デル・カルビオ
亜鉛版・ガンブリンオイル、
ラナロイヤル紙
38×28.5



2-10. ペトラ・コテス
亜鉛版・ガンブリンオイル、
ラナロイヤル紙
38×28.5



1-8. [わが愛する者は]
1971(昭和46)
ドライポイント・手彩色、紙
40×24.8



1-9. [汝こそは美はし]
1971(昭和46)
ドライポイント・手彩色、紙
40×24.8



1-10. [我はわが愛する者につき]
1971(昭和46)
ドライポイント・手彩色、紙
40×25



1-11. [われ胡桃の園にくだりゆき]
1971(昭和46)
ドライポイント・手彩色、紙
40×25



2-11. メメ I
2002-04(平成14-16)
亜鉛版・ガンブリンオイル、
ラナロイヤル紙
38×28.5



2-12. メメ II
2002-04(平成14-16)
亜鉛版・ガンブリンオイル、
ラナロイヤル紙
38×28.5



2-13. アマランタ ウルスラ
亜鉛版・ガンブリンオイル、
ラナロイヤル紙
38×28.5



3. 川口 軌外
KAWAGUCHI Kigai
女の影像
1920(大正9)頃
油彩、キャンバス
54×45.6
原由美氏寄贈
(中村竹之助氏旧蔵)



1-12. [帰れ帰れシュラミの婦よ]
1971(昭和46)
ドライポイント、手彩色、紙
40×25



2. ガルシア・マクリーン、クララ
GARCIA MCLEAN, Clara
『百年以上の孤独』
2002-04(平成14-16)
作者寄贈



2-1. ウルスラ
亜鉛版・ガンブリンオイル、
ラナロイヤル紙
38×28.5



2-2. アマランタ I
亜鉛版・ガンブリンオイル、
ラナロイヤル紙
38×28.5



4. 川口 軌外
KAWAGUCHI Kigai
ノートルダム教会
1920(大正9)頃
油彩、キャンバス
46×55
原由美氏寄贈
(中村竹之助氏旧蔵)



5. 川口 軌外
KAWAGUCHI Kigai
ベニスの舟とドーム
1920(大正9)頃
油彩、キャンバス
45.7×54.5
原由美氏寄贈
(中村竹之助氏旧蔵)



6. 川口 軌外
KAWAGUCHI Kigai
ベニスの舟
1920(大正9)頃
油彩、キャンバス
45.3×55.2
原由美氏寄贈
(中村竹之助氏旧蔵)



7. 川口 軌外
KAWAGUCHI Kigai
ベニスの舟
1920(大正9)頃
油彩、キャンバス
45.3×55.2
原由美氏寄贈
(中村竹之助氏旧蔵)



8. 川口 勲外
KAWAGUCHI Kigai
つる下がる雉
1923(大正12)頃
油彩、キャンバス
54.5×45.5
原由美氏寄贈
(中村竹之助氏旧蔵)



9. 川口 勲外
KAWAGUCHI Kigai
本を読む女
1920(大正9)頃
油彩、キャンバス
38×60
原由美氏寄贈
(中村竹之助氏旧蔵)



10. 川口 勲外
KAWAGUCHI Kigai
レモン、花とワイン瓶
1920(大正9)頃
油彩、キャンバス
37.5×45.5
原由美氏寄贈
(中村竹之助氏旧蔵)



11. 川口 勲外
KAWAGUCHI Kigai
六個の果物
1920(大正9)頃
油彩、キャンバス
36.8×60.8
原由美氏寄贈
(中村竹之助氏旧蔵)



24. 作者不詳
南欧海景
1920(大正9)頃
油彩、キャンバス 33×53.3
原由美氏寄贈(中村竹之助氏旧蔵)



12. 川口 勲外
KAWAGUCHI Kigai
テーブルの上の野菜
1920(大正9)頃
油彩、キャンバス
40.5×53
原由美氏寄贈
(中村竹之助氏旧蔵)



13. 川口 勲外
KAWAGUCHI Kigai
果物とワイン
1920(大正9)頃
油彩、キャンバス
37.4×60.6
原由美氏寄贈
(中村竹之助氏旧蔵)



14. 川口 勲外
KAWAGUCHI Kigai
青色の花
1920(大正9)頃
油彩、キャンバス
45.6×54.5
原由美氏寄贈
(中村竹之助氏旧蔵)



15. 川口 勲外
KAWAGUCHI Kigai
テーブルの上の食物
1920(大正9)頃
油彩、キャンバス
37.6×60.5
原由美氏寄贈
(中村竹之助氏旧蔵)



49. 橋口 五葉
HASHIGUCHI Goyo
着物をたたむ女
1920(大正9)下絵、
1950-52(昭和25-27)頃、影・描
木版、紙 24×33.2
橋口幸子氏寄贈



50. 橋口 五葉
HASHIGUCHI Goyo
〔鳥のいる風景〕
制作年不詳
木版、紙 34.5×27.2
橋口幸子氏寄贈



51. 橋口 五葉 監修
HASHIGUCHI Goyo
〔七人の図〕復刻
制作年不詳
木版、紙 39×26
橋口幸子氏寄贈



52. 喜多川歌麿「婦人相学十跡
浮氣之相」復刻
制作年不詳
木版、紙 39×26
橋口幸子氏寄贈



16. 香山 小鳥
KAYAMA Kotori
恩地孝四郎あて絵葉書
(大正元年10月18日消印)
黒インク・水彩、紙
14.4×9.4
恩地展子氏寄贈



17. 郭 德俊
KWAK, Duck Jun
フォードと郭(A)
1974(昭和49)
石版、紙
63.5×89.7
作者寄贈



18. 宮坂 勝
MIYASAKA Masaru
静物
1926(大正15)頃
油彩、キャンバス
27×34.7
原由美氏寄贈
(中村竹之助氏旧蔵)



19. 中村 善種
NAKAMURA Yoshitane
余呉の廃船
1988(昭和63)
油彩、キャンバス
194×259



53. 喜多川歌麿「婦女人相十品
煙草の煙を吹く女」復刻
制作年不詳
木版、紙 38.2×25.5
橋口幸子氏寄贈



54. 喜多川歌麿「婦人手業操鏡
機織」復刻
制作年不詳
木版、紙 38.3×24.9
橋口幸子氏寄贈



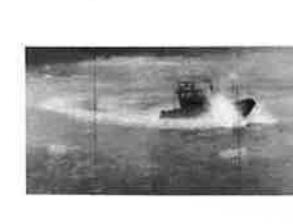
55. 喜多川歌麿「玉屋内若梅」復刻
制作年不詳
木版、紙 37.1×25.1
橋口幸子氏寄贈



56. 喜多川歌麿「五人美人愛競
兵庫屋花妻」復刻
制作年不詳
木版、紙 38.3×26
橋口幸子氏寄贈



20. 中西 學
NAKANISHI Manabu
THUNDER
1988(昭和63)
発泡スチロール、アクリル樹脂、
他
138×181×16
南口友厚氏寄贈



21. 清水 達三
SHIMIZU Tatsuzo
枯木灘
2001(平成13)
顔料、麻紙
172.5×332
作者寄贈



22. 建畠 大夢
TATEHATA Taimu
恩師の顔
1939(昭和14)
ブロンズ
h. 35
田村義尚氏寄贈



23. 作者不詳
南欧風景
1920(大正9)頃
油彩、キャンバス
38×45.8
原由美氏寄贈
(中村竹之助氏旧蔵)



57. 喜多川歌麿「手紙を見る女」復刻
制作年不詳
木版、紙 36.9×23.6
橋口幸子氏寄贈



58. 喜多川歌麿「當時三美人」復刻
制作年不詳
木版、紙 38.2×25.3
橋口幸子氏寄贈



59. 喜多川歌麿「青楼仁和嘉女芸者
之部 茶せん壳 さいもん」復刻
制作年不詳
木版、紙 37.2×24.8
橋口幸子氏寄贈



60. 喜多川歌麿「艶中八仙 琴高」
復刻
制作年不詳
木版、紙 38.8×25.5
橋口幸子氏寄贈

保存事業



61. 喜多川歌麿「錦織歌麿新模様
白うちかけ」復刻
制作年不詳
木版、紙
38.2×24.8
橋口幸子氏寄贈



62. 歌川広重「東都名所 両国夕すゞ
み」復刻
制作年不詳
木版、紙
35.2×63
橋口幸子氏寄贈



63. 葛飾北斎「花を持つ女」復刻
制作年不詳
木版、紙
37.3×25
橋口幸子氏寄贈



64. 細田栄昌「団扇を持つ女」復刻
制作年不詳
木版、紙
37.5×24.8
橋口幸子氏寄贈



65. 細田栄之「青楼美人六花仙」復刻
制作年不詳
木版、紙
36.8×24.8
橋口幸子氏寄贈



66. 齋俊満「きせるを持つ女二人」
復刻
制作年不詳
木版、紙
36.8×25
橋口幸子氏寄贈



67. 保田 龍門
YASUDA Ryumon
故秋月中尉遺影
1938(昭和13)頃
油彩、カンヴァス
53×45.4
秋月功氏寄贈

2005(平成17)年度 図書資料収集

平成17年度新収蔵図書資料 92冊

■購入

一般雑誌(定期刊行物) 12タイトル 87冊

(内訳)

1 アサヒカメラ	12冊	7 デザインの現場	6 冊
2 イラストレーション	6 冊	8 DOME	6 冊
3 インターコミュニケーション	4 冊	9 版画芸術	4 冊
4 季刊銀花	4 冊	10 美術手帖	13 冊
5 芸術新潮	12 冊	11 Prints21	4 冊
6 新建築	12 冊	12 炎芸術	4 冊

単行本 1タイトル 5 冊

『近代日本アート・カタログ・コレクション』52~56 ゆまに書房 2003年

1. 所蔵作品の状態調査

展示、貸出の機会にあわせて継続的に所蔵品の状態を調査し、保存上の対策を必要とする作品については、紙本作品のマットと額裏板の改良・交換を中心に処置を進めた。特殊な知識・技術を要する作品については、館外の専門家に依頼した。

2. 所蔵作品の保存修復

状態調査の結果、修復が必要と判断された作品のうち、展示に耐えないと特に危険な状態の作品を優先し、館外の専門家に委託し、保存修復処置を行った。またマウントのない作品のうち、展示予定の作品を優先して館外の専門家に委託し、マットおよび額を装備した。

修復作品リスト：油彩画26点、紙本作品19点

作家名 作品名 技法、材質 寸法(cm)：主な処置

- 1 川口軌外 ノートルダム教会 1920(大正9)頃 油彩、キャンバス 45.7×54.5 修復研究所21
：洗浄、変形修正、支持体張り直し、充填整形、防カビ・殺菌、補彩、ワニス塗布ほか
- 2 川口軌外 つる下がる雉 1923(大正12)頃 油彩、キャンバス 54.5×45.5 修復研究所21
：浮き上がり接着、洗浄、変形修正、支持体張り直し、充填整形、防カビ・殺菌、補彩、ワニス塗布ほか
- 3 川口軌外 テーブルの上の野菜 1920(大正9)頃 油彩、キャンバス 40.5×53 修復研究所21
：洗浄、変形修正、支持体張り直し、充填整形、防カビ・殺菌、補彩、ワニス塗布ほか
- 4 川口軌外 女の肖像 1920(大正9)頃 油彩、キャンバス 54×45.6 修復研究所21
：洗浄、変形修正、支持体張り直し、充填整形、防カビ・殺菌、補彩、ワニス塗布ほか
- 5 川口軌外 レモン、花とワイン瓶 1920(大正9)頃 油彩、キャンバス 37.5×45.5 修復研究所21
：洗浄、支持体張り直し、充填整形、防カビ・殺菌、補彩、ワニス塗布、旧処置除去、ほか
- 6 川口軌外 セーヌ川 1920(大正9)頃 油彩、キャンバス 46×55 修復研究所21
：洗浄、変形修正、支持体張り直し、充填整形、防カビ・殺菌、補彩、ワニス塗布ほか
- 7 川口軌外 ベニスの舟とドーム 1920(大正9)頃 油彩、キャンバス 45.7×54.5 修復研究所21
：洗浄、変形修正、支持体張り直し、充填整形、防カビ・殺菌、補彩、ワニス塗布、ほか
- 8 川口軌外 ベニスの舟 1920(大正9)頃 油彩、キャンバス 45.3×55.2 修復研究所21
：浮き上がり接着、洗浄、変形修正、支持体張り直し、充填整形、防カビ・殺菌、補彩、ワニス塗布ほか
- 9 川口軌外 青色の花 1920(大正9)頃 油彩、キャンバス 45.6×54.5 修復研究所21
：洗浄、変形修正、支持体張り直し、充填整形、防カビ・殺菌、ワニス塗布、ほか
- 10 川口軌外 本を読む女 1920(大正9)頃 油彩、キャンバス 38×60 修復研究所21
：浮き上がり接着、洗浄、変形修正、支持体張り直し、充填整形、防カビ・殺菌、ワニス塗布ほか
- 11 川口軌外 テーブルの上の食物 1920(大正9)頃 油彩、キャンバス 37.6×60.5 修復研究所21
：浮き上がり接着、洗浄、支持体張り直し、充填整形、防カビ・殺菌、補彩、ワニス塗布ほか
- 12 川口軌外 果物とワイン 1920(大正9)頃 油彩、キャンバス 37.4×60.6 修復研究所21
：洗浄、変形修正、破損部接着、支持体張り直し、充填整形、防カビ・殺菌、補彩、ワニス塗布ほか
- 13 川口軌外 六個の果実 1920(大正9)頃 油彩、キャンバス 36.8×60.8 修復研究所21
：浮き上がり接着、洗浄、変形修正、支持体張り直し、充填整形、防カビ・殺菌、補彩、ワニス塗布ほか
- 14 宮阪 勝 静物 1926(大正15)頃 油彩、キャンバス 27×34.7 修復研究所21
：浮き上がり接着、洗浄、変形修正、破損部接着、支持体張り直し、充填整形、防カビ・殺菌、補彩、ワニス塗布ほか
- 15 作者不詳 南欧海景 1920(大正9)頃 油彩、キャンバス 38×45.8 修復研究所21
：浮き上がり接着、洗浄、変形修正、破損部接着、支持体張り直し、充填整形、防カビ・殺菌、補彩、ワニス塗布ほか

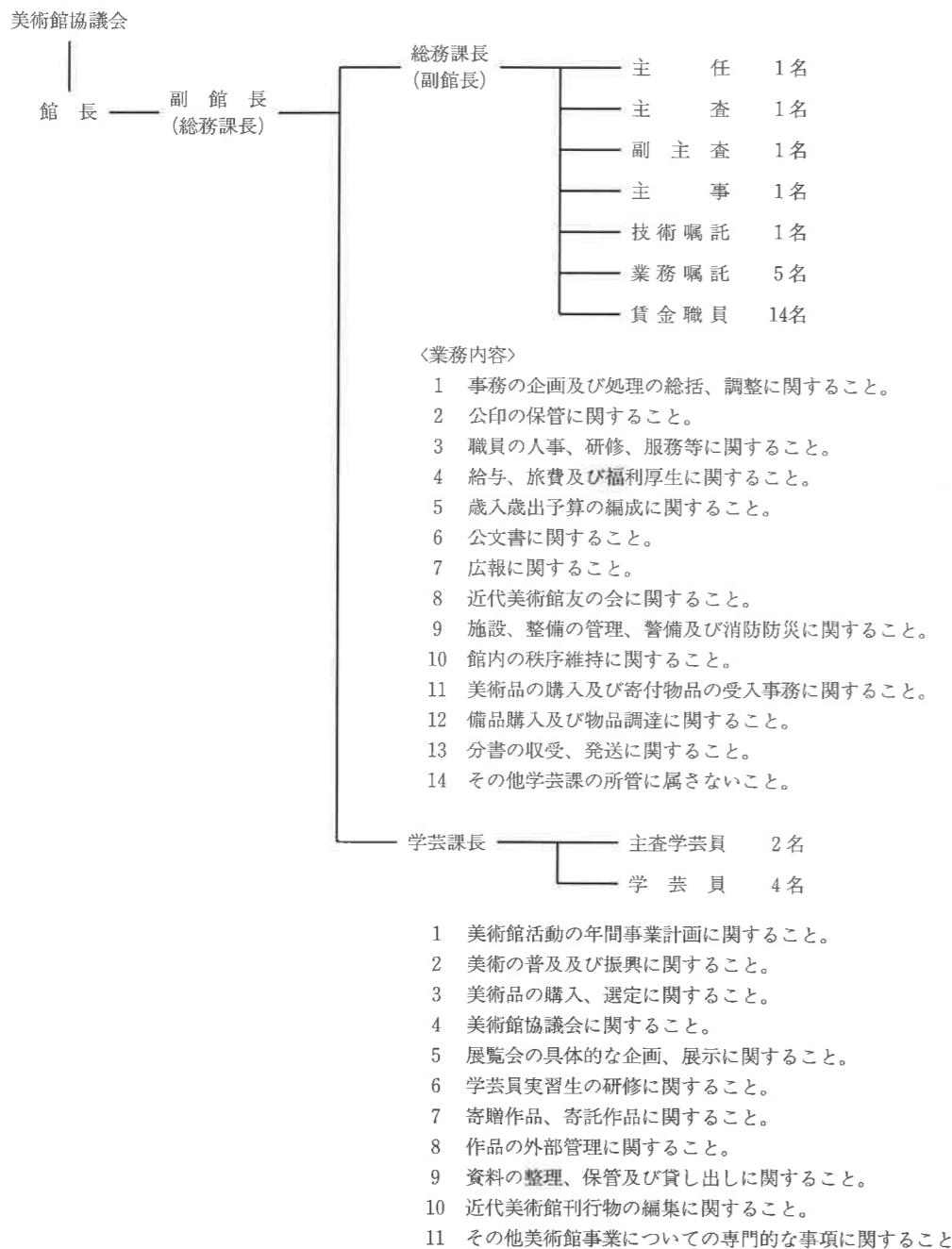
- 16 作者不詳 南欧風景 1920(大正9)頃 油彩、キャンバス 33×53.3 修復研究所21
：洗浄、支持体張り直し、充填整形、防カビ・殺菌、補彩、ワニス塗布ほか
- 17 木下義謙 カーニュ風景 1929(昭和4) 油彩、キャンバス 62×73.2 修復研究所21
：洗浄、防カビ・殺菌ほか
- 18 佐伯祐三 帽子をかぶる自画像 1922(大正11) 油彩、キャンバス 73.3×53.9 修復研究所21
：浮き上がり接着、洗浄、充填整形、防カビ・殺菌、補彩ほか
- 19 佐伯祐三 ベッドに座る裸婦 1923(大正12) 油彩、キャンバス 91.1×65.5 修復研究所21
：浮き上がり接着、洗浄、充填整形、防カビ・殺菌、補彩ほか
- 20 佐伯祐三 広告のある門 1925(大正14) 油彩、キャンバス 60×73.3 修復研究所21
：浮き上がり接着、洗浄、充填整形、防カビ・殺菌、補彩ほか
- 21 佐伯祐三 レ・ジュ・ド・ノエル 1925(大正14) 油彩、キャンバス 72.3×60.8 修復研究所21
：変形修正、浮き上がり接着、洗浄、充填整形、防カビ・殺菌、補彩ほか
- 22 佐伯祐三 リュ・デュ・シャトーの歩道 1925(大正14) 油彩、キャンバス 60×73.1 修復研究所21
：洗浄、充填整形、防カビ・殺菌、補彩ほか
- 23 佐伯祐三 ポスターとロウソク立て 1925(大正14) 油彩、キャンバス 45.5×53.6 修復研究所21
：浮き上がり接着、洗浄、充填整形、防カビ・殺菌、補彩ほか
- 24 佐伯祐三 下落合風景 1926(大正15・昭和元)頃 油彩、キャンバス 50×60.5 修復研究所21
：充填整形、防カビ・殺菌、補彩ほか
- 25 佐伯祐三 男の顔(K氏の像) 1927(昭和2) 油彩、板 33×23.8 修復研究所21
：洗浄、充填整形、防カビ・殺菌、補彩ほか
- 26 佐伯祐三 オプセルヴァトワール附近 1927(昭和2) 油彩、キャンバス 73×92 修復研究所21
：浮き上がり接着、洗浄、充填整形、防カビ・殺菌、補彩ほか
- 27 磯辺行久 ワッペン 1965(昭和40) 石版、紙 47.5×36.3 谷村博美
：ドライクリーニング、洗い・脱酸、漂白、サイズ、フラットニング
- 28 恩地孝四郎 公刊『月映』ポスター 1914(大正3) 木版、紙 34.7×33.7 谷村博美
：ドライクリーニング、糊で皺補強、フラットニング
- 29 萬代恒志 庭の一隅/裸婦 制作年不詳 水彩・鉛筆、紙 51.5×35.1 谷村博美
：汚れ除去、ピンホール補強、加湿後フラットニング
- 30 山本 鼎 ブルターニュの小湾 1912(明治45・大正元) 木版、和紙 15.2×21.7 谷村博美
：窓マットへマウントされていたのを除去、和紙に置く
- 31 山本 鼎 高原の路 1918(大正7) 石版・木版、紙 20.3×30.1 谷村博美
：洗い・脱酸、染み抜き部分のみ、サイズ、フラットニング
- 32 山本 鼎 高原の道 1919(大正8) 石版、和紙 26.2×34 谷村博美
：ドライクリーニング、洗い・脱酸、汚れ除去、サイズ、フラットニング
- 33 吉原英雄 水族館 1956(昭和31) リトグラフ、紙 51×38 谷村博美
：ドライクリーニング、洗い・脱酸、欠損部補強、サイズ、フラットニング
- 34 吉原英雄 トランペット 1957(昭和32) リトグラフ、紙 27.7×39.7 谷村博美
：ドライクリーニング、洗い・脱酸、漂白部分のみ、接着剤を物理的に除去、サイズ、フラットニング
- 35 吉原英雄 水の中の鳥 1957(昭和32) リトグラフ、紙 37.5×27.5 谷村博美
：ドライクリーニング、洗い・脱酸、接着剤除去、剥離部の補強、フラットニング
- 36 吉原英雄 鳥人 1957(昭和32) リトグラフ、紙 49.5×38.8 谷村博美
：ドライクリーニング、洗い・脱酸10時間、漂白余白部分のみ、サイズ、フラットニング
- 37 吉原英雄 火の鳥 1957(昭和32) リトグラフ、紙 55.5×45.3 谷村博美
：ドライクリーニング、洗い・脱酸10時間、欠損・破れ補強、サイズ、フラットニング
- 38 ロート、アンドレ 風景 制作年不詳 水彩、紙 35.4×53.8 谷村博美
：二次的補強として裏面全体に貼られている紙を除去(左下に割れが生じた)、洗い・脱酸、漂白全体12時間、補強、サイズ、フラットニング
- 39 ホックニー、デヴィッド ふたつの椅子の光景 リトグラフ、紙 48.2×56 谷村博美
：裏面の接着剤除去、補修、フラットニング
- 40 田中恭吉 死に面接する心『密室』 1913(大正2) 青インク、紙 11.2×6.1
：平成12年展覧会開催時の台紙交換
- 41 田中恭吉 とび去るまへ『密室』 1914(大正3) 黒インク・顔料、紙 16×8.7
：平成12年展覧会開催時の台紙交換
- 42 田中恭吉 白昼のなまけもの『密室』 1914(大正3) 黒インク・顔料、紙 10.2×9
：平成12年展覧会開催時の台紙交換
- 43 田中恭吉 ある日の恐れ『密室』 1914(大正3) 黒インク、紙 16.4×8.2
：平成12年展覧会開催時の台紙交換
- 44 田中恭吉 たけの花『密室』 所収作品 1914(大正3) 黒インク・顔料・水彩、紙 9.9×13.4
：平成12年展覧会開催時の台紙交換
- 45 田中恭吉 スパアク『密室』 所収作品 1914(大正3) 黒インク・水彩、紙 19.3×8.3
：平成12年展覧会開催時の台紙交換

3. 保存環境の整備

総合虫害管理システムにより、外部の専門家に委託してモニタリングを年4回実施(平成17年5月、8月、11月、平成18年3月)
学芸員室、受付控室、監視員控室、荷解室、作業室のブンガノン燻蒸(平成17年5月)

管理運営

組織と業務



機構及び職員配置図

館長：山田 康 副館長：篠原 隆

課名	課長名	所属職員(職) 氏名
総務課	篠原 隆	主任：木村 智、主査：直川悦子、副主査：岡本文宏 主事：石原礼子、電気技師：細谷廣近 嘱託：橋詰友理、栗生恵里、小向由梨、小出紫織、木下紗世子
学芸課	浜田拓志	主査学芸員：寺口淳治、奥村泰彦 学芸員：井上芳子、植野比佐見、奥村一郎、宮本久宣

和歌山県立近代美術館協議会委員 (◎=会長)

任期2年：2004(平成16)年11月3日～2006(平成18)年11月2日

氏名	役職	備考
榎本 長治	会社社長	
木下 純子	医師(元和歌山市保健所所長)	
酒井 哲朗	福島県立美術館館長	
島 正博	会社社長	
島村 安彦	会社社長	
神人 煉	歯科医院長	
◎角谷 昭一	病院院長	
谷 奈々	財和歌山社会経済研究所研究員	
中井 由純	県美術家協会会长	2005(平成17)年6月14日新任
三國 和美	紀の川市社会教育委員長	2006(平成18)年2月21日新任
村田慶之輔	川崎市岡本太郎美術館館長	
保田 春彦	彫刻家	
吉原 英雄	画家	

氏名五十音順

職員現況調

2006(平成18)年3月31日現在 委員13名

区分	事務	学芸	技術	嘱託	計	備考
館長	1	—	—	—	1	
副館長	1	—	—	—	1	
総務課	4	—	1	5	10	電気技師1名
学芸課	—	7	—	—	7	
計	6	7	1	5	19	

第47回和歌山県立近代美術館協議会

2006(平成18)年3月10日15時より開催。2005(平成17)年度事業報告、2006(平成18)年度事業計画など、当館の運営について協議が行われた。

関係法規

2005(平成17)年度 展覧会入館者数

			企画展							常設展				
			美術百科「前年度より」	没後10年遺業・泉茂	世界の版画名品選	夏休みわかやま美術探偵団	版画家たちの表情	佐伯祐三展	美術百科世界一周の巻	合計	コレクション展 春	コレクション展 夏	コレクション展 秋	合計
有料	個人	一般	290	821	904	1631	747	4317	2520	11230	4月19日～6月26日	7月5日～9月25日	10月4日～12月25日	合計
		団体	0	77	20	0	0	121	144	362	60	71	72	203
		紀陽	0	0	0	161	0	408	0	569	1317	2223	4482	8022
		友の会	11	82	62	81	70	119	62	487	77	0	144	221
		一般	12	76	45	85	44	106	164	532	0	156	340	496
	大学生	団体	0	25	0	0	0	0	0	25	76	105	110	291
		紀陽	0	0	1	6	2	3	0	12	89	165	143	397
		小計	313	1081	1032	1964	863	5074	2890	13217	25	0	0	25
		合計	313	1081	1032	1964	863	5074	2890	13217	1	8	9	18
	小計	313	1081	1032	1964	863	5074	2890	13217	1585	2657	5228	9470	
無料	高齢者	高齢者	111	344	336	361	242	1818	917	4129	476	528	1582	2586
		障害者	15	60	66	115	65	220	212	753	90	148	232	470
		その他	74	373	425	599	364	1938	769	4540	476	699	1563	2738
		県内留学生	0	0	0	0	20	5	4	29	0	0	5	5
		高校生	17	32	49	179	31	160	148	616	56	200	162	418
		中学生	11	23	53	2303	70	79	72	2611	45	2340	168	2553
		小学生	16	73	61	428	41	202	110	931	109	414	205	728
		幼児	8	38	35	131	27	115	373	727	49	133	116	298
		団体	74	903	134	532	525	763	164	3095	933	608	1577	3118
	小計	326	1846	1159	4646	1385	5300	2769	17431	2234	5070	5610	12914	
	合計	639	2927	2191	6610	2248	10374	5659	30648	3819	7727	10838	22384	
日数	有料										和歌山県立近代美術館管理規則			
	個人				大学生				合計				昭和45年10月22日 教育委員会規則第20号	
一般	団体	紀陽	友の会	一般	団体	紀陽	小計							
441	19252	583	1065	778	929	50	30	22687						
無料										合計	和歌山県立近代美術館管理規則			
高齢者	障害者	その他	県内留学生	高校生	中学生	小学生	幼児	団体	小計	53032	(目的)			
6715	1223	7278	34	1034	5164	1659	1025	6213	30345		第1条 この規則は、和歌山県立近代美術館設置及び管理条例(昭和45年和歌山県条例第64号。以下「条例」という。)第5条の規定に基づき、和歌山県立近代美術館(以下「近代美術館」という。)の管理に関し法令、条例及び他の規則に定めのあるものを除くほか、必要な事項を定めることを目的とする。			
紀陽=紀陽文化財団の助成による入館者、その他=招待券、招待状、優待券による入館者											(開館時間)			
第2条 近代美術館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までと											する。			

○和歌山県立近代美術館設置及び管理条例

昭和45年10月6日
条例第64号

和歌山県立近代美術館設置および管理条例をここに公布する。

和歌山県立近代美術館設置及び管理条例

(平6条例18・改称)

(設置)

第1条 近代美術に関する資料を収集し、保管し、又は展示して一般公衆の観覧に供するとともに、美術に関する資料の調査、研究等を行い、もって美術文化の向上に資するため、和歌山県立近代美術館(以下「近代美術館」という。)を設置する。

(平6条例18・一部改正)

(位置)

第2条 近代美術館は、和歌山市吹上一丁目4番14号に置く。

(平6条例18・一部改正)

(事業)

第3条 近代美術館は、第1条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

(1) 近代美術に関する作品その他の近代美術に関する資料を収集し、保管し、又は展示して一般公衆の利用に供すること。

(2) 美術に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。

(3) 美術に関する展覧会、研究会、講習会等の開催及び資料の刊行

(平6条例18・一部改正)

(使用料)

第4条 近代美術館を使用する者は、和歌山県使用料及び手数料条例(昭和22年和歌山県条例第28号)の定めるところにより、使用料を納めなければならない。

(委任)

第5条 近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

付 則

この条例は、昭和45年11月2日から施行する。

附 則(平成6年3月30日条例第18号)

この条例は、平成6年4月1日から施行する。

○和歌山県立近代美術館管理規則

昭和45年10月22日
教育委員会規則第20号

和歌山県立近代美術館管理規則を次のように定める。

和歌山県立近代美術館管理規則

(目的)

第1条 この規則は、和歌山県立近代美術館設置及び管理条例(昭和45年和歌山県条例第64号。以下「条例」という。)第5条の規定に基づき、和歌山県立近代美術館(以下「近代美術館」という。)の管理に関し法令、条例及び他の規則に定めのあるものを除くほか、必要な事項を定めることを目的とする。

(開館時間)

第2条 近代美術館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までと

- 館長は、特別の事情がある場合においては、前項の開館時間を変更することができる。この場合においては、館長は、その旨を教育長に報告するものとする。
- (休館日)

第3条 近代美術館の休館日は、次のとおりとする。

- 毎週月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い土曜日、日曜日又は休日でない日)
- 年始(1月1日から同月3日まで)
- 年末(12月29日から同月31日まで)
- 前3号に定めるもののほか、特別の事情により館長が臨時に休館を必要と認め、教育長の承認を得た日
- 館長は、必要があると認めるとき、その他特別の事情があるときは、前項第1号から第3号までに掲げる休館日を変更することができる。この場合においては、館長は、その旨を教育長に報告するものとする。
- 非常災害その他急迫の事情があるときは、館長は、臨時に休館することができる。この場合においては、館長は、次に掲げる事項を直ちに教育長に報告するものとする。
- 休館の期間
- 非常災害その他急迫の事情の概要
- その他必要と認める事項
- (職員)

第4条 近代美術館に、館長のほか必要な職員を置く。

(課の設置及び所掌事務)

第5条 近代美術館に、次の課を置く。

- 総務課
- 学芸課
- 総務課においては、次の事務をつかさどる。
 - 館長印、館印その他公印の管守に関すること。
 - 職員の身分、服務その他人事に関すること。
 - 文書の収受、発送、編さん及び保存に関すること。
 - 予算、決算及び会計に関すること。
 - 近代美術館の施設、設備及び物品の管理に関すること。
 - その他学芸課の主管に属しないこと。
- 学芸課においては、次の事務をつかさどる。
 - 美術に関する展覧会、講演会、研究会等の開催についての年間計画の樹立並びにその具体的な企画及び実施に関すること。
 - 近代美術に関する作品その他の資料の収集、保管及び展示に関すること。
 - 美術の普及及び振興に関すること。
 - 近代美術に関する調査、研究及び資料の刊行に関すること。
 - 近代美術館協議会に関すること。

(入館の拒絶、制限及び退館命令)

- 館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を拒絶し、又は退館を命ぜることができる。
 - 紀陽=紀陽文化財団の助成による入館者、その他=招待券、招待状、優待券による入館者

- (1) 伝染性疾患のある者
- (2) 陳列品を汚損し、又は近代美術館の施設及び設備をき損するおそれのある物品を所持している者
- (3) 館内の秩序を乱すと認められる者
- (4) その他館長において近代美術館の管理上入館を不適当と認めた者
- 2 館長は、近代美術館の管理上必要があると認めるときは、入館に制限を加えることができる。
(損害賠償の義務)
- 第7条 入館者は、その責めに帰すべき事由により陳列品を汚損し、近代美術館の施設及び設備をき損し、又は滅失したときは、その損害の賠償をしなければならない。
- (委任)

第8条 この規則に定めるものほか、近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

付 則

この規則は、昭和45年11月2日から施行する。

附 則(昭和53年4月1日教育委員会規則第12号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(昭和56年5月28日教育委員会規則第7号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(昭和63年3月31日教育委員会規則第13号)

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則(平成元年3月31日教育委員会規則第7号)

この規則は、平成元年4月1日から施行する。

附 則(平成6年3月31日教育委員会規則第8号)

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則(平成13年3月30日教育委員会規則第11号)

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則(平成17年2月25日教育委員会規則第2号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

○和歌山県博物館協議会条例

昭和57年3月29日

条例第11号

和歌山県博物館協議会条例をここに公布する。

和歌山県博物館協議会条例

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第20条の規定に基づき、次の表の左欄に掲げる博物館にそれぞれ当該下欄に掲げる博物館協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

博物館の名称	協議会の名称
和歌山県立近代美術館	和歌山県立近代美術館協議会
和歌山県立博物館	和歌山県立博物館協議会
和歌山県立紀伊風土記の丘	和歌山県立紀伊風土記の丘協議会
和歌山県立自然博物館	和歌山県立自然博物館協議会

(委員の定数)

第2条 協議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、15人以内とする。

(任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長等)

第4条 協議会に、会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(小委員会及び部会)

第6条 協議会は、小委員会又は部会を置くことができる。

2 小委員会に委員長を、部会に部会長を置く。

3 委員長及び部会長は、委員のうちから会長が指名する。

4 小委員会又は部会に属する委員は、会長が指名する。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、当該博物館において処理する。

(委任)

第8条 この条例に定めるものほか、協議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この条例は、昭和57年4月1日から施行する。

○和歌山県立近代美術館美術品貸付規則

昭和46年10月12日

教育委員会規則第26号

和歌山県立近代美術館美術品貸付規則を次のように定める。

和歌山県立近代美術館美術品貸付規則

(目的)

第1条 この規則は、和歌山県立近代美術館が所蔵する美術品(以下「美術品」という。)の貸付けに関し必要な事項を定めることを目的とする。

(貸付)

第2条 和歌山県立近代美術館長(以下「館長」という。)は、その目的が公の性質をもち、かつ、美術文化の普及上適当と認めた場合に、次項に規定する者に対して美術品を貸し付けることができるものとする。

2 美術品の貸付けを受けることのできる者は、国並びに地方公共団体及び公益法人その他これらに準ずる団体とする。

(申請手続)

第3条 美術品の貸付けを受けようとする者は、次に掲げる事項を記載した借受申請書を館長に提出しなければならない。

(1) 申請者の氏名又は名称及び住所

(2) 借り受けようとする美術品の名称及び数量

(3) 使用目的

(4) 陳列等のための施設の名称及びその場所並びに施設の概要

(5) 借受期間

(6) 借受期間中における保管及び管理の方法

(7) その他参考となる事項

(貸付承認)

第4条 館長は、美術品の貸付けを承認したときは、美術品貸付承認通知書(別記様式)を申請者に交付する。

(貸付期間)

第5条 美術品の貸付期間は、通常2月以内(以下「1期間」という。)とする。ただし、館長が必要と認めたときは、貸付期間を更新し、又は延長することができる。

(借受書等)

第6条 美術品の貸付承認を受けた者は、次に掲げる事項を記載した借受書を館長に提出しなければならない。

(1) 借り受ける美術品の名称及び数量

(2) 借受期間

(3) 返納期日

(4) 返納場所

(5) 貸付条件に従う旨

2 貸付承認をした美術品の引渡しは、前項の借受書の提出があったとき、これを行う。

3 館長は、美術品が返還されたときは、これと引換に返還を受けた旨の受領書を交付するものとする。

(遵守事項等)

第7条 貸付承認をした美術品の荷造り及び輸送並びに保管、返納等に要する費用は、借受人の負担とする。

2 貸付期間中の美術品の保管及び管理は、借受人の責任とし、亡失、汚損又は損傷のあったときは、賠償の責めを負うものとする。

3 美術品の借受人は、当該美術品を借り受けた目的以外に使用してはならない。

(貸付料)

第8条 美術品の貸付料は、1点につき1期間3,090円とし、第5条ただし書の貸付期間の延長の場合にあっては、1月以内の延长期間にについて1,540円とし、1月を超える延長期間については1,000円とする。

2 特別の事情がある場合においては、貸付料を増減し、又は免除することがある。

3 既納の貸付料は、これを返還しない。

(貸付けの取消し)

第9条 館長は、美術品の貸付けを受けた者が、この規則及び貸付条件を守らないときは、その承認を取り消し、当該美術品の返還を求めることができる。

(補則)

第10条 この規則に定めるもののほか、美術品の貸付けに関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

付 則

1 この規則は、公布の日から施行する。

2 和歌山県立美術館美術品貸付規程(昭和42年和歌山県教育委員会規則第22号)は、廃止する。

附 則(昭和56年8月29日教育委員会規則第15号)

この規則は、昭和56年9月1日から施行する。

附 則(平成元年3月31日教育委員会規則第8号)

この規則は、平成元年4月1日から施行する。

別記様式(第4条関係)

番号	年 月 日	
美術品貸付承認書		
殿	和歌山県立近代美術館 館長	
年 月 日 付けで承認申請のあった当館所蔵の美術品の貸付けについては、下記によって承認する。		
記		
1 貸 付 品 種 別	作 者 名	題 名
材 質	形 狀	製 作 年
2 貸 付 期 間	年 月 日 か ら	年 月 日 ま で
3 貸 付 料 金	円	
上記貸付料は、美術品借り受けのとき、又はその日までに県指定金融機関へ払い込むこと。		
4 美術品の輸送の際の取扱い及び保管管理については、館長の指示に従い、十分注意するとともに、貸付中のいっさいの責任を借受者において負うものとする。		
5 美術品は、当館係員立合いのうえ借受書と引換に引き渡すものとする。		
6 その他和歌山県立近代美術館美術品貸付規則の各条項を遵守するとともに館長の指示に従うこと。		

備考 この承認書には、和歌山県立近代美術館美術品貸付規則を添付すること。

○和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程

昭和46年10月12日

教育委員会告示第12号

和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程を次のように定める。

和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程

(趣旨)

第1条 この規程は、和歌山県立近代美術館(以下「美術館」という。)における美術作品の寄託に関し必要な事項を定めるものとする。

(受託)

第2条 美術作品の所有者(以下「所有者」という。)が展示保存又は調

建築概要

所在地	和歌山市吹上一丁目1番
敷地面積	23,356.78m ²
監理	和歌山県土木部営繕課
設計監理	株式会社黒川紀章建築都市設計事務所
施工	竹中・清水・戸田特定建築工事共同企業体 きんでん・伊藤電気特定電気設備工事共同企業体 日立プラント・長谷川冷機特定機械設備工事共同企業体
総工費	137億8086万円 〔総事業費 192億633万1千円（用地費含む）〕
工事期間	1991年10月～1994年3月

建物概要

構造	RC造（鉄筋コンクリート構造） 地上2階地下1階建
建築面積	7,087.17m ² (美術館部分 4,500.62m ² 博物館部分 2,586.55m ²)
延床面積	18,704.50m ² (駐車場3,460m ² を含む) (美術館部分 11,837.90m ² 博物館部分 6,866.60m ²)
仕上	外装 外壁 磁器質タイル、アルミパネルアルマイト仕上、 アルミカーテンウォール 屋上 アスファルト防水の上コンクリート押え 庇 フッ素ステンレス鋼板、アルミパネル アルマイト仕上

設備概要

電気設備	
受電設備	3φ 3W 6600V 60Hz
変圧器	1φ 600KVA (うち美術館300KVA 博物館300KVA) 3φ 1550KVA (うち美術館900KVA 博物館650KVA)
自家発電設備	ディーゼル機関 4サイクル 440PS 1800rpm 3φ 3W 6600V 375KVA
蓄電池設備	キューピカル式直流電源装置 容量 300AH
空調設備	
熱源設備	空気熱源熱回収型スクリュー式ヒートポンプ冷凍機 165RT+110RT 蓄熱槽 1560m ³
排煙設備	自然排煙+機械排煙 6系統 (うち美術館 4系統 博物館 2系統)
衛生設備	
給水設備	受水槽 上水10m ³ 、雑用水29m ³ 受水方式 加圧給水ポンプ方式
排水設備	汚水、雨水分流式 (公共下水道へ放流)
消火設備	ハロンガス消火 (収蔵部門各室・展示部門各室・書庫) ／屋内消火栓／スプリンクラー／消火器／泡消火 (駐車場)
自動火災報知設備	(館内守衛室にて集中管理) 煙感知器 光電スポット型 美術館224台 博物館155台 熱感知機 差動スポット型 美術館105台 博物館 74台 定温スポット型 美術館 14台 博物館 13台
防災・防犯設備	(館内守衛室にて集中管理) 受信盤 複合GR型 504回線 ITV監視装置、防災アンプ (360W) 監視カメラ 美術館33台 (うち展示室14台) 博物館19台 (うち展示室 8台) 防犯センサー

展示・保存環境

展示部門	展示室 A ケース L 13,706×D 1,200×H 3,372 + L 31,070×D 1,200×H 3,372 (mm)	面積	床材	天井高
		1,057.0m ²	ナラフローリング	5m
展示部門	展示室 B ケース L 25,211×D 1,200×H 3,372 (mm)	486.1m ²	同上	4m
	展示室 C ケース L 13,706×D 1,200×H 3,372 (mm)	1,038.6m ²	同上	5m
収蔵部門	1F 展示資材倉庫 2F 展示資材倉庫	136.2m ² 121.5m ²	ビニアスタイル 同上	4m
	収蔵庫 1 (立体) 収蔵庫 2 (平面)	342.5m ² 385.6m ²	耐水合板下地 同上	4m
展示照明	前室 一時保管室 作業室 荷解室 搬出入口	61.4m ² 81.0m ² 82.0m ² 130.0m ² 108.4m ²	モザイクパーケット ビニアスタイル モルタル金ゴテ エポキシ系塗床 同上	4m 4m 5.8m 5.8m 4.8m
	ハロゲンダウンライト／蛍光灯 (着脱式) / スポットライト (着脱式) すべて紫外線防止、高演色タイプ、無段階調光可能			
空調	展示室 収蔵庫 展示室 収蔵庫	2系統 2系統 設定温度 夏期25°C / 冬期22°C 設定湿度 通年55% 設定温度 通年22°C 設定温度 通年55%		
	作品専用昇降機	油圧式・30m/min・最大積載量3.0トン H 3,000×W 5,000×D 2,500 (mm)		

案 内

利用案内

開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)
休館日 毎週月曜日(祝日のときはその翌日)
年末年始(12月29日～1月3日)
展示替え期間
駐車場 有料(90台収容)

交通案内

JR和歌山駅又は南海電鉄和歌山市駅からバスで約10分、「県庁前」下車、徒歩2分(和歌山城向かい)



2005(平成17)年度 和歌山県立近代美術館年報

編集・発行 和歌山県立近代美術館 ©2006
〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上1-4-14
TEL 073-436-8690 FAX 073-436-1337
2007(平成19)年3月31日発行
印 刷 中和印刷紙器株式会社



THE MUSEUM OF MODERN ART, WMAA